遠隔監視システム

フルゾス CS-D9

通報装置

ICカード取扱説明書

第2版

（ICカード（A）V3.0以降）

■はじめに

この度は、本製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
本品をご使用にあたっては、本説明書を熟読していただき、十分ご理解のうえご使用ください。

本製品の構成品一覧表

No	名　称	数 量	記 事
1	CS・D9 ICカード	1	
2	ICカード取扱説明書	1	本品
3	システムデータ設定表	1	

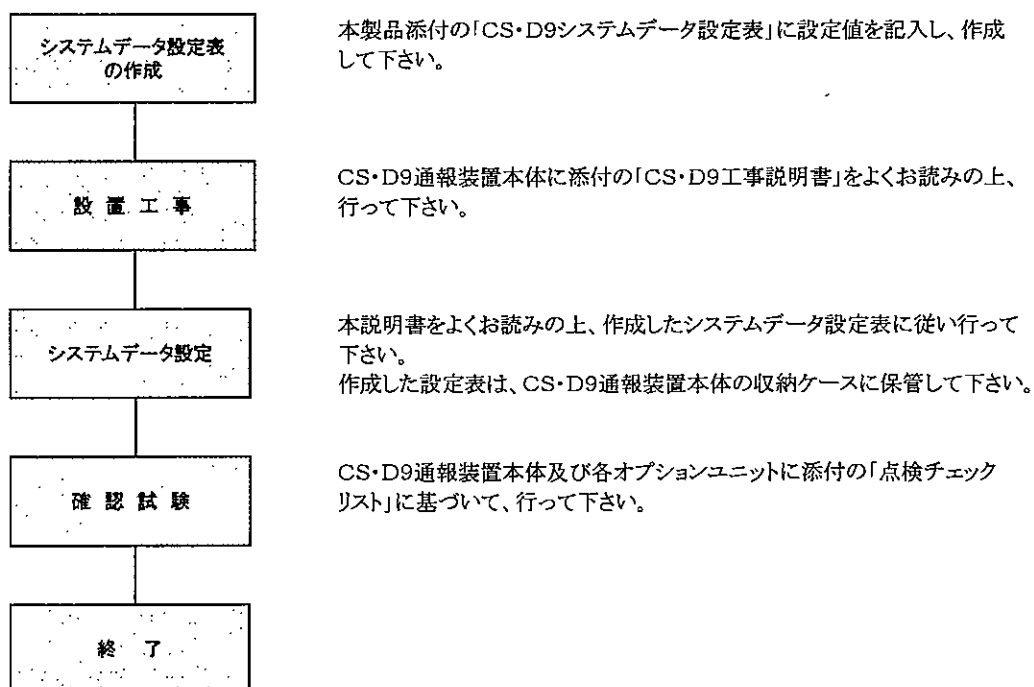
CS・D9通報装置本体に、ICカード（本製品）及びオプションセット（別売）を実装することにより各機能を実行できるようになります。
ただし、実行するにあたっては、各機能についてシステムデータの設定を行う必要があります。

新設時または既設のシステム変更時にシステムデータの設定または変更を行う場合は、必ず以下のフローチャートに従って行って下さい。

本製品添付の「CS・D9システムデータ設定表」に設定値を記入し、作成して下さい。

CS・D9通報装置本体に添付の「CS・D9工事説明書」をよくお読みの上、行って下さい。

本説明書をよくお読みの上、作成したシステムデータ設定表に従い行って下さい。
作成した設定表は、CS・D9通報装置本体の収納ケースに保管して下さい。

CS・D9通報装置本体及び各オプションユニットに添付の「点検チェックリスト」に基づいて、行って下さい。

目　次

■ はじめに

■ キーボードメンテナンス機能(保守機能) …… 1
◆新設時のシステムデータ設定について …… 1
◆キーボードメンテナンスで使用するキーの働き …… 2
◆キーボードメンテナンスの基本操作手順 …… 2
1. メッセージを録音する方法 …… 3
2. システムデータを設定する方法 …… 4
◇システムデータの設定方式 …… 4
◇システムデータ設定(通報先)の考え方 …… 5
◇システムデータ設定例 …… 6
2−1. ノーマル設定でシステムデータを設定する方法 …… 8
2−2. ダイレクト設定でシステムデータを設定する方法 …… 10
2−3. システムデータを保存する方法 …… 12
2−4. 変更前のシステムデータを読込む方法 …… 14
2−5. システムデータを初期化する方法 …… 15
3. 日時を設定する方法 …… 16
4. 各端子の現在状態をLCDに表示する方法 …… 18
5. 通報履歴等をLCDに表示する方法 …… 19
6. システムデータ等をプリントアウトする方法 …… 20
7. 簡易オンラインメンテナンスを行う方法 …… 21
8. システムバージョンをLCDに表示する方法 …… 21
9. ユニットバージョンをLCDに表示する方法 …… 22
10. 履歴をクリアする方法 …… 22
11. 積算値をクリアする方法 …… 23
12. システムをオールリセットする方法 …… 23

■ システムデータ設定内容 …… 24

システム機能
種別01:IDコード …… 25
種別02:メッセージ録音条件 …… 26
種別03:回線断検出機能 …… 27
回線機能
種別10:NCU機能 …… 28
種別11:アンサ信号 …… 29
種別12:エンド信号 …… 30
種別13:DTMFデータ …… 31
自動応答機能
種別20:自動応答 …… 32
種別21:暗証番号 …… 33
種別22:テレコントロール …… 34
種別23:オンラインメンテナンス …… 35

目　次

通報機能
種別30：通報先 …… 36
種別31：通報グループ …… 38
種別32：通報モード切替 …… 40
種別33：通報動作設定 …… 41
種別34：集音マイク …… 42
種別35：出力接点 …… 43
種別36：センサ入力 …… 44
種別37：アナログ入力 …… 46
種別38：ｱﾅﾛｸﾞ入力定時記録・印刷 …… 49
種別40：AND通報 …… 50
種別41：定時通報 …… 52
種別42：定時状態通報 …… 53
種別43：停電・復電通報 …… 54
種別44：ローバッテリー通報 …… 55
種別45：蓄電池交換通報 …… 56
種別46：タンパー通報 …… 57
種別47：モード切替通報 …… 58

ガイドホン機能
種別50：通報先Aグループ …… 59
種別51：通報先Bグループ …… 61
種別52：呼出モード切替 …… 63
種別53：Aグループタイマ …… 64
種別54：Bグループタイマ …… 65
種別55：ガイドホン通話監視 …… 66
種別56：インターホン機能 …… 67
種別57：屋内電話機 …… 68
種別58：屋外電話機 …… 69
種別59：屋外電話機その他 …… 70

エレベータホン機能
種別60：通報先Aグループ …… 71
種別61：通報先Bグループ …… 72
種別62：呼出モード切替 …… 73
種別63：Aグループタイマ …… 74
種別64：Bグループタイマ …… 75
種別65：通報方式 …… 76
種別66：通話方式 …… 77
種別67：子機設定 …… 78

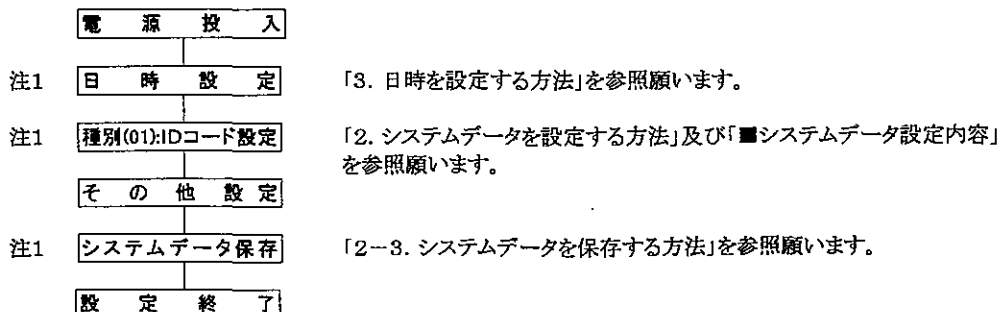
■ 参考資料
◆ノーマル設定一覧表
◆ダイレクト設定一覧表
◆固定通報メッセージ
◆固定通報DTMFデータ
◆機能概要表
◆テレコントロール機能
◆オンラインメンテナンス機能（保守機能）
◆音声通報タイミングチャート

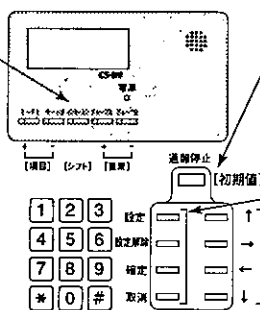
■キーボードメンテナンス機能(保守機能)

注意:保守機能を実行する場合は、入力及び出力端子が動作していないことを確認してから行って下さい。
動作している場合は、以下のような動作になります。
出力端子(出力接点等)が動作している場合は、保守機能実行時に接点等が待機状態(設定)に戻ります。
入力端子(センサやアナログ)が動作している場合は、保守機能終了時に再通報します。
また、保守機能の実行中は異常通報等ができません。保守機能実行中は、通常の監視機能が作動しませんので必ず保守機能が終了するまで監視先の状態に注意して下さい。特にオンラインメンテナンスは時間がかかる場合がありますので、監視先に人が立ち会うなどして十分注意して下さい。
キーボードメンテナンスで実行できる機能は下表の通りです。
キーボードメンテナンスの基本操作手順は、次ページを参照願います。
各機能を実行するにあたっては、参照ページをよく読み十分ご理解のうえ行って下さい。

No	機能名	機能概要	参照ページ
1	メッセージの録音	本装置の内蔵マイク等よりメッセージを録音します。	3
2	システムデータ設定		4~7
	ノーマル設定	通常必要な基本的なシステムデータを順番に設定します。	8~9
	ダイレクト設定	必要な種別No等を入力してシステムデータを設定します。	10~11
	システムデータ保存	システムデータを保存します。	12~13
	システムデータ読込	設定途中で変更前のシステムデータに戻します。	14
	システムデータ初期化	システムデータを初期化(出荷時設定状態)します。	15
3	日時設定	日付、曜日、時刻を設定します。	16~17
4	端子状態	センサ、アナログの現在状態を表示します。	18
5	履歴表示	記録されている履歴を表示します。	19
6	プリントアウト	履歴、システムデータを外付プリンタに印刷します。	20
7	オンラインメンテナンス	簡易オンラインメンテナンス待ち状態にします。	21
8	システムバージョン	本装置のICカードのバージョンを表示します。	21
9	ユニットバージョン	本装置のオプションユニットのバージョン及び状態を表示します。	22
10	履歴クリア	記録されている履歴をクリアします。	22
11	積算値クリア	センサ、アナログ端子に記録されている積算値をクリアします。	23
12	システムオールリセット	本装置のシステムデータ及び録音メッセージを全て初期化します。	23

◆新設時のシステムデータ設定について

新設時は、電源投入すると日時設定待ちとなります。必ず下記の手順で行って下さい。

注1. 新設時については、「日時設定」「システムデータ設定の種別(01):IDコード設定」及び「システムデータ保存」を行わないと「設定解除」キーを押してもキーボードメンテナンス終了画面になりません。

◆キーボードメンテナンスで使用するキーの働き

◆キーボードメンテナンスの基本操作手順

キーボードメンテナンスを実行するにあたっては、必ず以下の操作手順にしたがって行って下さい。

操作	表示
1. 本装置が右のような状態であることを確認して下さい。 尚、「モード1」「インターホン」は、実装されているオプションセットや設定により異なります。 通報動作等により、本装置が起動中はキーボードメンテナンス状態になりません。	01—01　MON　12:30 モード゛1　　インターホン 01—01　MON　12:30 リレキ:XXXX モード゛1　　インターホン ■01—01　MON　12:30 カイセン イシ゛ョウ
2. 待機状態より「設定」キーを3秒間押すと キーボードメンテナンス状態となりメインメニューを表示します。	メインメニュー キーボ゛ード゛ メンテナンス →メッセージ゛　ロクオン システムデ゛ータ
3. 各機能を実行できます。 各機能の実行方法は、各機能のページを参照願います。	メインメニュー キーボ゛ード゛ メンテナンス →メッセージ゛　ロクオン システムデ゛ータ
4. メインメニューより「設定解除」キーを押すと キーボードメンテナンス終了画面となります。 ただし、システムデータを設定または変更した場合、「システムデータ保存」を行っていないと警告画面が表示されます。 警告画面が表示された時の操作方法は、「2-3.システムデータを保存する方法」のページを参照願います。	終了画面 シュウリョウ　シマスカ? カクテイ:YES　トリケシ:NO または 警告画面 システムデ゛ータ ヲ ホゾ゛ン　シテイマセン シュウリョウ　シマスカ? カクテイ:YES　トリケシ:NO
5. 「確定」キーを押すと待機状態に戻ります。	待機状態 01—01　MON　12:30 モード゛1　　インターホン

1. メッセージを録音する方法

注意：メッセージを録音する前に

メッセージを録音する前には、必ず以下のシステムデータ設定を確認して下さい。尚、設定変更する場合は、「2－2. ダイレクト設定でシステムデータを設定する方法」の手順にしたがって設定して下さい。

「種別(02)：メッセージ録音条件／項目(01)：サンプリングレート」

サンプリングレート	録音時間	音質
8Kbps	約131秒(2分11秒)	下
12Kbps	約 86秒(1分26秒)	中
16Kbps(初期値)	約 65秒(1分 5秒)	上

本装置の内蔵マイクまたは外部入力よりメッセージを録音します。録音フレーズは、フレーズNo. 00～63です。
また、既に録音されているメッセージを再生またはクリアすることもできます。

---

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

```
キーボード メンテナンス

→メッセージ ロクオン
 システムデータ
```

---

2. 「確定」キー押します。

No. 00録音画面（←サンプリングレート）

```
ロクオンサレテイマセン [16K]
フレーズ No：00
*：ロクオン
              ノコリ：65
```

（←録音可能な残り時間(秒)）

---

3. 「＊」キー押すと録音を開始します。

また、以下の操作もできます。
- 「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。
- 「取消」でフレーズNo入力画面になります。

No. 00録音中画面

```
ロクオンチュウ        [16K]
フレーズ No：00
          *：ロクオンテイシ
              ノコリ：XXX
```

---

4. 再度「＊」キー押すと録音を終了します。

No. 00操作画面（←フレーズ毎の録音時間(秒)）

```
ロクオンズミ：XXX [16K]
フレーズ No：00
*：ロクオン     #：サイセイ
テイシ：クリア  ノコリ：XXX
```

---

5. 「↓」キーを押します。

(「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。)
また、以下の操作もできます。
- 「＊」で上書き録音します。
- 「＃」で再生します。
- 「通報停止」でメッセージを消去します。
- 「取消」でフレーズNo入力画面になります。

No. 01録音画面

```
ロクオンサレテイマセン [16K]
フレーズ No：01
*：ロクオン
              ノコリ：XXX
```

---

6. 操作3～5を繰り返し、各フレーズにメッセージを録音して下さい。

No. 01録音画面

```
ロクオンサレテイマセン [16K]
フレーズ No：XX
*：ロクオン
              ノコリ：XXX
```

---

7. 「取消」キーを押します。

また、以下の操作もできます。
- 「＊」で録音を開始します。
- 「↑」「↓」でフレーズNoを切替えます。

フレーズNo入力画面

```
                    [16K]
フレーズ No：■
   [0－63]：フレーズ No
      [99]：オールクリア
```

---

8. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

また、以下の操作もできます。
- 「数字」＋「確定」でフレーズNoを入力します。
- 「↑」「↓」「→」「←」でフレーズNo録音状況画面になります。(参考画面1参照)
- 「99」＋「確定」でフレーズのメモリオールクリア画面になります。(参考画面2参照)

メインメニュー

```
キーボード メンテナンス

→メッセージ ロクオン
 システムデータ
```

参考画面1：フレーズNo録音状況画面

```
ロクオンジョウキョウ [16K]
 60   61   62   63
→00R  01   02   03R
 04   05R  06   07
```

「R」マークのフレーズは録音されていることを示します。

- 「↑」「↓」「→」「←」でフレーズNoを選択できます。
- 「確定」で選択したフレーズNoの録音または操作画面になります。
- 「取消」でNo. 00録音または操作画面になります。

参考画面2：メモリオールクリア画面

```
オールクリアシマスカ？

            テイシ：YES
            トリケシ：NO
```

- 「通報停止」でフレーズのオールクリアをします。
- 「取消」でNo. 00録音または操作画面になります。

2. システムデータを設定する方法

◇ システムデータの設定方式

システムデータは、以下の3通りの方式で設定することができます。
本説明書では、「1. キーボードメンテナンス」方式について述べてあります。
「2. 保守端末オンサイト方式」「3. 保守端末オンライン方式」については、「保守用FDセット」（別売）添付品の「保守用FD取扱説明書」を参照して下さい。

1. キーボードメンテナンス方式
   通報装置本体のキーボードを使用して、システムデータを設定します。
   システムデータの設定方法には、ノーマル設定とダイレクト設定があります。
   ノーマル設定は、通常必要な基本的なシステムデータを順番に設定していく設定方法です。
   ダイレクト設定は、種別No. 等を入力してシステムデータを設定する設定方法です。
   また、CS・D9通報装置本体のキーボードメンテナンス機能により、システムデータの設定以外にも様々な機能を行うことができます。

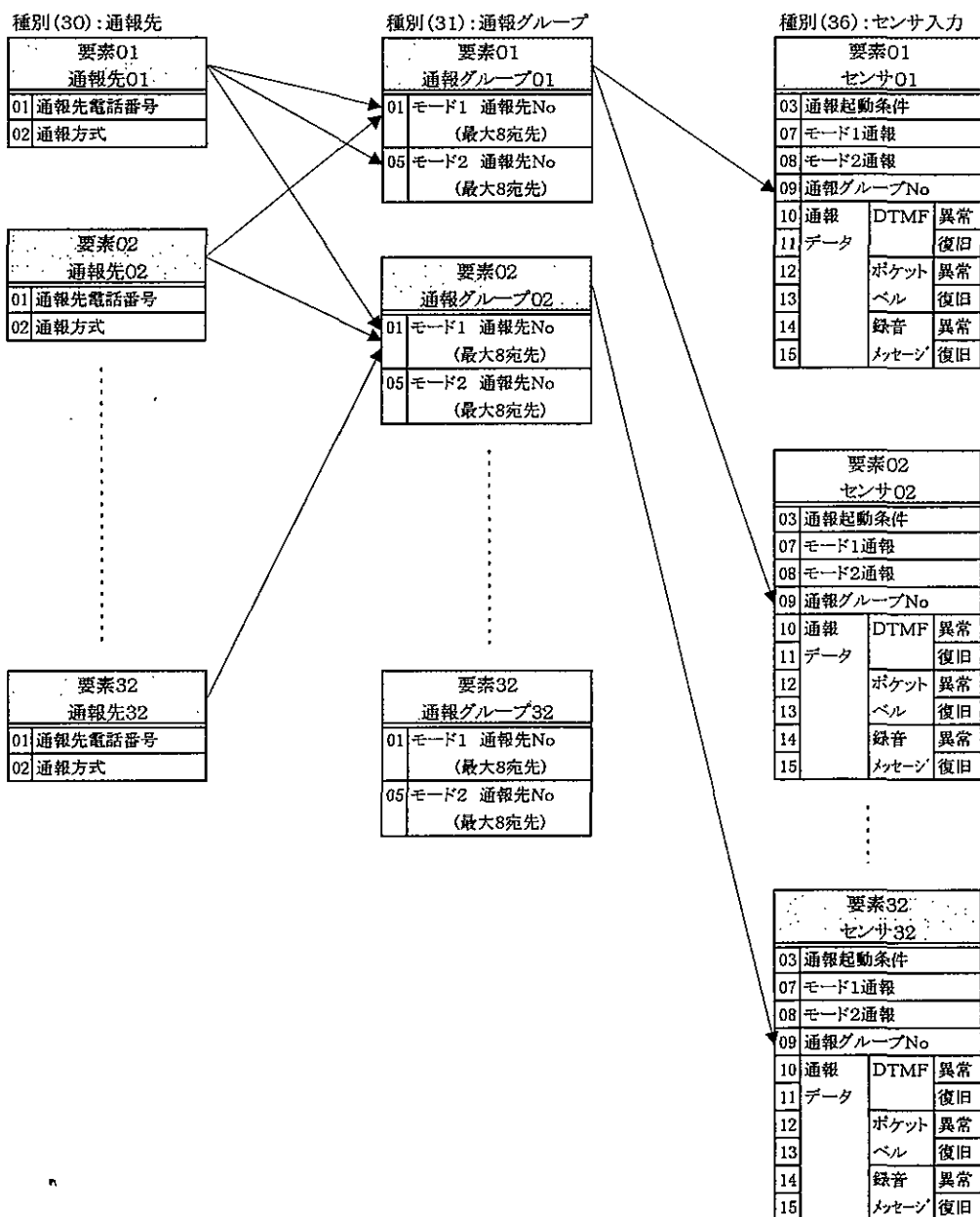
2. 保守端末オンサイト方式
   通報装置本体の「シリアル1」端子と保守端末（「保守用FDセット」が動作可能なパソコン）を専用ケーブル（添付品）で接続し、事前に保守端末にて作成したシステムデータをダウンロードして設定できます。
   また、通報装置に設定してあるシステムデータをアップロードして読み込むこともできますので、アップロードしたシステムデータを変更してダウンロードすることもできます。

3. 保守端末オンライン方式
   保守端末と指定のモデムカード（別売）を使用して電話回線に接続し、遠隔地より上記2と同じ事を行うことができます。

◇ システムデータ設定（通報先設定）の考え方

システムデータ設定において、通報先設定の基本的な考え方を以下に記します。
尚、各種別の設定項目は、ノーマル設定で設定可能な項目です。

1. 通報先（最大32宛先）を設定します。
2. 設定済みの通報先の中から、通報グループ（最大32グループ）に最大8宛先（各モード）設定します。
3. 設定済みの通報グループの中から、各通報（センサ、アナログ等）に1グループ設定します。

設定例

◇ システムデータ設定例

①通報機能の設定例

・接続機器	:センサ(メークで異常)を8系統接続
・通報モード	:昼間は通報モード1(通報先No1、2、3に通報) :夜間は通報モード2(通報先No4、5、6に通報)
・通報方式	:全て録音音声で通報
・通報完了条件	:各通報モード共に通報先3宛先のうち1宛先応答で通報完了
・モード切替ボタン	:センサNo. 41に接続
・外部停止ボタン	:センサNo. 42に接続
・その他	:夜間は、音声制御によるテレコントロール操作

上記のような運用をする場合の基本的なシステムデータ設定は、以下の通りです。
白ヌキ数字は、ノーマル設定で設定可能な項目です。

設定種別		要素	項目		設定データ	
No.	名 称	No.	No.	名 称	( ):初期値	記 事
01	IDコード	—	01	ID No	「最大16桁」	必ず設定
10	NCU機能	—	01	ダイヤルモード	(20PPS)	ダイヤルモードの設定
20	自動応答	—	01	自動応答機能	有(無)	テレコントロールを実行する為の設定
			02	自動応答条件	(モード2)	
			06	自動応答メッセージ方式	録音音声	
			07	自動応答メッセージ	「最大1フレーズ」	
21	暗証番号	—	01	暗証番号オンラインメンテナンス	「4桁の番号」	
			02	暗証番号テレコン音声制御	「4桁の番号」	
30	通報先	01〜06	01	電話番号	最大32桁	通報先1〜6各々の設定
			02	通報方式	録音音声	
			03	応答検出方式	(極性反転)	
31	通報グループ	01	01	通報先No. (モード1)	1−2−3	通報先1〜6をグループ化する設定
			02	通報完了条件	(1宛先)	
			04	発呼回数	(3)	
			05	通報先No. (モード2)	4−5−6	
			06	通報完了条件	(1宛先)	
			08	発呼回数	(3)	
32	通報モード切替	—	01	切替方式	(ボタン)	モード切替に関する設定
			02	外部スイッチNo	センサ41	
33	通報動作設定	—	02	外部停止ボタンNo	センサ42	外部停止ボタンの設定
36	センサ入力	01〜08	01	異常モード	(メーク)	センサ1〜8各々の設定
			03	通報起動条件	(異常時)	
			07	モード1通報	有(無)	
			08	モード2通報	有(無)	
			09	通報グループ	(1)	
			14	通報データ (録音メッセージ・異常時)	「最大16フレーズ」	
37	アナログ入力 (センサ入力)	01〜02 (41〜42)	01	端子用途	(センサ)	センサ41〜42各々の設定

②ガイドホン機能の設定例

・接続機器　　:屋内電話機2台、屋外電話機8台
・呼出モード　　:昼間はインターホンモード
　　　　　　　　:夜間はAグループ(3宛先に通報)
・呼出方式　　:録音音声でID送出後、通話

上記のような運用をする場合の基本的なシステムデータ設定は、以下の通りです。

設定種別		要素	項目		設定データ	記事
No.	名称	No.	No.	名称	( ):初期値	
50	通報先Aグループ	01～03	01	電話番号	最大32桁	
			02	応答検出方式	(極性反転)	
			05	ID送出	有(無)	
			06	ID方式	録音音声 (固定音声)	
			07	IDメッセージ	「最大1フレーズ」	
52	呼出モード切替	−	01	切替方式	(ボタン)	
57	屋内電話機接続	01～02	01	屋内電話機接続	有(無)	
58	屋外電話機接続	01～08	01	屋内電話機接続	有(無)	
			02	グルーピング	(両方)	

③エレベータホン機能の設定例

・接続機器　　:TE親機1台、TE子機多局4台
・呼出モード　　:昼間はインターホンモード
　　　　　　　　:夜間はAグループ(3宛先に通報)

上記のような運用をする場合の基本的なシステムデータ設定は、以下の通りです。

設定種別		要素	項目		設定データ	記事
No.	名称	No.	No.	名称	( ):初期値	
60	通報先Aグループ	01～03	01	電話番号	最大32桁	
			02	応答DTMF	「最大1桁」	
62	呼出モード切替	−	01	切替方式	(ボタン)	
66	通話方式	−	01	通話方式	(ハンズフリー)	
67	子機設定	−	01	子機タイプ	(TE)	

注1. オプションユニットであるCSD9−EVU−A1上のTM1, 2を上表で設定した子機タイプ似合わせて下さい。
注2. CS・D9通報装置の設置場所が離れている場合、エレベータホン切替スイッチを使用することにより、切替可能です。

2－1．ノーマル設定でシステムデータを設定する方法

本装置のシステムデータ設定をノーマル設定で行います。
ノーマル設定は、通常必要な基本的なシステムデータを順番に設定していく設定方法です。
各種別／項目の設定内容は、「■システムデータ設定内容」を参照願います。

1．待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

```
キーボード   メンテナンス
→メッセージ   ロクオン
 システムデータ
```

2．「↓」キー＋「確定」キーを押します。
（"→"を「システムデータ」に合わせ「確定」キーを押します。）

システムデータメニュー画面

```
システムデータ
→ノーマル セッテイ
 ダイレクト セッテイ
```

3．「確定」キーを押します。

ノーマル設定画面

```
01：IDコード     ← 種別No：名称
01：ID No.       ← 項目No：名称
[0－9]           ← 入力可能データ
■
```

4．「数字」キーでID番号を設定します。
（例）0123456789を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「通報停止」で初期値になります。
・「確定」で次項目を表示します。
・「モード1」「モード2」で項目を切替えます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ノーマル設定画面

```
01：IDコード
01：ID No.
[0－9]
0123456789■
```

5．「確定」キーを押します。
（「確定」キーを押すことにより、データが確定され、次項目を表示します。）
・「通報停止」で初期値になります。
・「モード1」「モード2」で項目を切替えます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ノーマル設定画面

```
01：IDコード
02：ID メッセージ
[0－63] (0／1)
：■
```

6．操作4～5を繰り返し、必要な設定項目を設定して下さい。

ノーマル設定画面

```
01：IDコード
02：ID メッセージ
[0－63]
：■
```

7．「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面になります。
"→"は「システムデータ保存」に表示します。
（「システムデータ保存」を行うことにより、設定したデータが、本装置に保存されます。
詳しくは「2－3．システムデータを保存する方法」のページを参照願います。）

システムデータメニュー画面

```
システムデータ
 ダイレクト セッテイ
→システムデータ ホゾン
 システムデータ ヨミコミ
```

8．「確定」キーを押します。

システムデータ保存画面

```
システムデータ
システムデータ ヲ
        ホゾンシマスカ?
カクテイ:YES  トリケシ:NO
```

9.「確定」キーを押します。

データに問題がある場合、エラー表示となります。
(「2－3. システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)
また、以下の操作もできます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

```
システムデ゛ータ ホソ゛ン
 セイゴ゛ウセイ チェックチュウ

   ドリケシ：ホソ゛ンチュウシ
```

システムデータ保存中画面

```
システムデ゛ータ ホソ゛ンチュウ

 シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
```

システムデータ保存終了画面

```
システムデ゛ータ ヲ
        ホソ゛ンシマシタ

      HIT ANY KEY
```

10. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
 ダ゛イレクト セッテイ
→システムデ゛ータ ホソ゛ン
 システムデ゛ータ ヨミコミ
```

11.「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーボード゛ メンテナンス
 メッセーシ゛ ロクオン
→システムデ゛ータ
 ニチシ゛ セッテイ
```

2−2. ダイレクト設定でシステムデータを設定する方法

本装置のシステムデータ設定をダイレクト設定で行います。
ダイレクト設定は、種別No. 等入力してシステムデータを設定する設定方法です。
各種別／項目の設定内容は、「■システムデータ設定内容」を参照願います。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

```
キーホート゛  メンテナンス

→メッセーシ゛  ロクオン
 システムテ゛ータ
```

2. 「↓」キー＋「確定」キーを押します。
(”→”を「システムデータ」に合わせ「確定」キーを押します。)

システムデータメニュー画面

```
システムテ゛ータ

→ノーマル セッテイ
 タ゛イレクト セッテイ
```

3. 「↓」キー＋「確定」キーを押します。
(”→”を「ダイレクト セッテイ」に合わせ「確定」キーを押します。)

種別入力画面

```
No：■
```

4. 「数字」キーで種別Noを入力します。
(例)種別36を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「↑」「↓」「→」「←」で種別一覧画面(参考画面1参照)
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

要素入力画面

```
No：36（■
センサIN
センサNo？
[01−XX]
```

5. 「数字」キーで要素Noを入力します。(要素がある場合のみ)
(例)要素01を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「取消」で種別入力画面になります。

項目入力画面

```
No：36（01）−■
センサIN
```

6. 「数字」キーで項目Noを入力します。
(例)項目01を設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「↑」「↓」「→」「←」で項目一覧画面(参考画面1参照)
・「取消」で要素入力画面になります。

ダイレクト設定画面 ← 要素No

```
36：センサIN01
01：イシ゛ョウモート゛
  フ゛レーク
 →メーク
```

7. 「↑」「↓」キーで異常モードを設定します。
(例)ブレークに設定する場合
また、以下の操作もできます。
・「通報停止」で初期値になります。
・「確定」で次項目を表示します。
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ダイレクト設定画面

```
36：センサIN01
01：イシ゛ョウモート゛
  メーク
 →ブレーク
```

8. 「確定」キーを押します。
(「確定」キーを押すことにより、データが確定され、次項目を表示します。)
また、以下の操作もできます。
・「通報停止」で初期値になります。
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

ダイレクト設定画面

```
36：センサIN01
02：ケンシュツタイマ
[5−30000（x10ms）]
：30→■
```

9. 「取消」キーを押すと項目入力画面になります。
また、以下の操作もできます。
・「通報停止」で初期値になります。
・「確定」で次項目を表示します。
・「モード1」「モード2」で項目Noを切替えます。
・「Aグループ」「Bグループ」で要素Noを切替えます。

項目入力画面

```
No：36（01）−■
センサIN
```

10. 「取消」キーを押すと要素入力画面になります。
また、以下の操作もできます。
・「数字」で項目Noを入力できます。

要素入力画面

```
No：36（■
センサIN
センサNo？
[01−XX]
```

操作	画面
11.「取消」キーを押すと種別入力画面になります。 また、以下の操作もできます。 ・「数字」で要素Noを入力できます。	種別入力画面 No：■
12. 操作4～11を繰り返し、必要な設定項目を設定して下さい。	種別入力画面 No：■
13.「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面になります。 "→"は「システムデータ保存」に表示します。 (「システムデータ保存」を行うことにより、設定したデータが、本装置に保存されます。 詳しくは「2－3. システムデータを保存する方法」のページを参照願います。)	システムデータメニュー画面 システムデ゛ータ ダ゛イレクト セッテイ →システムデ゛ータ ホゾ゛ン システムデ゛ータ ヨミコミ
14.「確定」キーを押します。	システムデータ保存画面 システムデ゛ータ ホゾ゛ン システムデ゛ータ ヲ ホゾ゛ンシマスカ？ カクテイ：YES トリケシ：NO
15.「確定」キーを押します。 データに問題がある場合、エラー表示となります。 (「2－3. システムデータを保存する方法」のページを参照願います。) また、以下の操作もできます。 ・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。	システムデータ整合性チェック画面 システムデ゛ータ セイゴ゛ウセイ チェックチュウ トリケシ：ホゾ゛ンチュウシ システムデータ保存中画面 システムデ゛ータ ホゾ゛ンチュウ シバ゛ラクオマチクダ゛サイ システムデータ保存終了画面 システムデ゛ータ ヲ ホゾ゛ンシマシタ HIT ANY KEY
16. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。	システムデータメニュー画面 システムデ゛ータ ダ゛イレクト セッテイ →システムデ゛ータ ホゾ゛ン システムデ゛ータ ヨミコミ
17.「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホード゛ メンテナンス メッセーシ゛ ロクオン →システムデ゛ータ ニチシ゛ セッテイ

参考画面1:

種別一覧画面

```
→01：IDコード゛
 02：ロクオンシ゛ョウケン
 03：カイセンキノウ
 04：NCUキノウ
```

項目一覧画面(例:「種別(36)：センサ入力」の場合)

```
→01：イシ゛ョウモード゛
 02：ケンシュツタイマ
 03：ツウホウシ゛ョウケン
 04：ツウホウナイヨウ
```

・「→」でページ送りをします。
・「←」でページ戻しをします。
・「↑」「↓」で種別及び項目Noを選択できます。
・「確定」キーで選択した種別及び項目Noの設定画面になります。

2－3. システムデータを保存する方法

設定したシステムデータを保存します。
ノーマル及びダイレクト設定で設定したシステムデータは、本項目を行うことにより、CS•D9通報装置に保存されます。
保存されたシステムデータは、初期化及び変更したシステムデータを再度保存しない限りは、保持されます。

---

1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、システムデータメニュー画面に戻ると"→"は「システムデータ保存」に表示します。

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
 タ゛イレクト セッテイ
→システムデ゛ータ ホゾ゛ン
 システムデ゛ータ ヨミコミ
```

---

2. 「確定」キーを押します。

システムデータ保存画面

```
システムデ゛ータ ホゾ゛ン
システムデ゛ータ ヲ
        ホゾ゛ンシマスカ?
カクテイ:YES  トリケシ:NO
```

---

3. 「確定」キーを押します。

システムデータに問題がある場合、エラー表示となります。
(次ページの「システムデータにエラーがある場合の操作方法」参照)
また、以下の操作もできます。
・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

```
システムデ゛ータ
 セイゴ゛ウセイ チェックチュウ

   トリケシ:ホゾ゛ンチュウシ
```

システムデータ保存中画面

```
システムデ゛ータ ホゾ゛ンチュウ

 シバ゜ラクオマチクダ゛サイ

```

システムデータ保存終了画面

```
システムデ゛ータ ヲ
        ホゾ゛ンシマシタ

    HIT ANY KEY
```

---

4. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
 タ゛イレクト セッテイ
→システムデ゛ータ ホゾ゛ン
 システムデ゛ータ ヨミコミ
```

---

5. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーホード゛ メンテナンス
 メッセージ゛ ロクオン
→システムデ゛ータ
 ニチジ゛ セッテイ
```

システムデータにエラーがある場合の操作方法

（例） ID Noが未設定の場合

1. 前ページの操作3でシステムデータに問題があると、
   整合性チェック後、右のようなエラー画面を表示します。

エラー画面

```
システムデ゛ータ ニ
       エラー カ゛ アリマス
カクテイ：エラー サンショウ
トリケシ：メニューニモト゛ル
```

2. 「確定」キーを押します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」でメインメニューに戻ります。

エラー参照画面

```
01：IDコート゛
01：ID No
ミセッテイデ゛ス
```

3. 「確定」キーを押します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」で項目入力画面になります。
   ・「→」でエラーを選択できます。(複数のエラーがある場合)

ID No設定画面

```
01：IDコート゛
01：ID No
[0－9]
■
```

4. 「数字」キー＋「確定」キーでID Noを設定します。
   また、以下の操作もできます。
   ・「確定」で次項目を表示します。
   ・「取消」で項目入力画面になります。

IDメッセージ設定画面

```
01：IDコート゛
02：ID メッセーシ゛
[0－63]
■
```

5. 「取消」キーを押すと項目入力画面になります。
   また、以下の操作もできます。
   ・「確定」で次項目を表示します。

項目入力画面

```
No：01－■
IDコート゛
```

6. 「取消」キーを押すと種別入力画面になります。
   また、以下の操作もできます。
   ・「数字」で項目Noを入力できます。

種別入力画面

```
No：■
```

7. 「取消」キーを押すとシステムデータ保存画面になります。

システムデータ保存画面

```
システムデ゛ータ ホソ゛ン
システムデ゛ータ ヲ
         ホソ゛ンシマスカ？
カクテイ：YES トリケシ：NO
```

8. 「確定」キーを押します。
   再度エラーとなった場合、操作1に戻ります。
   また、以下の操作もできます。
   ・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。

システムデータ整合性チェック画面

```
システムデ゛ータ
セイコ゛ウセイ チェックチュウ

   トリケシ：ホソ゛ンチュウシ
```

システムデータ保存中画面

```
システムデ゛ータ ホソ゛ンチュウ

シバ゛ラクオマチクダ゛サイ
```

システムデータ保存終了画面

```
システムデ゛ータ ヲ
         ホソ゛ンシマシタ

         HIT ANY KEY
```

9. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。

システムデータメニュー画面

```
システムデ゛ータ
 ダ゛イレクト セッテイ
→システムデ゛ータ ホソ゛ン
 システムデ゛ータ ヨミコミ
```

10. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーボート゛ メンテナンス
 メッセーシ゛ ロクオン
→システムデ゛ータ
 ニチジ゛ セッテイ
```

2－4. 変更前のシステムデータを読込む方法

設定途中（「システムデータ保存」を行う前）で、その設定前のシステムデータに戻します。

手順	画面
1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面に戻ります。 ”→”は「システムデータ保存」に表示します。	システムデータメニュー画面 システムデ゛ータ ダ゛イレクト　セッテイ →システムデ゛ータ　ホゾ゛ン システムデ゛ータ　ヨミコミ
2. 「↓」キーを押します。 （”→”を「システムデータ　ヨミコミ」に合わせます。）	システムデータメニュー画面 システムデ゛ータ システムデ゛ータ　ホゾ゛ン →システムデ゛ータ　ヨミコミ システムデ゛ータ　ショキカ
3. 「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でメインメニューになります。	システムデータ読込画面 システムデ゛ータ　ヨミコミ システムデ゛ータ　ヲ ヨミコミマスカ？ カクテイ:YES　トリケシ:NO
4. 「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。	システムデータ読込中画面 システムデ゛ータ　ヨミコミチュウ シバ゛ラクオマチクダ゛サイ システムデータ読込終了画面 システムデ゛ータ　ヲ ヨミコミシマシタ HIT ANY KEY
5. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。	システムデータメニュー画面 システムデ゛ータ システムデ゛ータ　ホゾ゛ン →システムデ゛ータ　ヨミコミ システムデ゛ータ　ショキカ
6. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーボード゛　メンテナンス メッセージ゛　ロクオン →システムデ゛ータ ニチジ゛:セッテイ

2－5. システムデータを初期化する方法

システムデータを初期化(出荷時の設定)します。
但し、録音メッセージは、消去されません。
システムデータの初期化と録音メッセージの消去を同時に行う場合は、「12. システムをオールリセットする方法」を参照願います。

手順	画面
1. ノーマル設定及びダイレクト設定でシステムデータを設定した後、「取消」キーを押すとシステムデータメニュー画面に戻ります。 "→"は「システムデータ保存」に表示します。	システムデータメニュー画面 システムテ゛ータ 　タ゛イレクト　セッテイ →システムテ゛ータ　ホソ゛ン 　システムテ゛ータ　ヨミコミ
2. 「↓」キーを2回押します。 ("→"を「システムデータ　ショキカ」に合わせます。)	システムデータメニュー画面 システムテ゛ータ 　システムテ゛ータ　ヨミコミ →システムテ゛ータ　ショキカ
3. 「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でメインメニューになります。	システムデータ初期化画面 システムテ゛ータ　ショキカ システムテ゛ータ　ヲ 　　　　ショキカシマスカ? カクテイ:YES　トリケシ:NO
4. 「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でシステムデータメニュー画面になります。	システムデータ初期化中画面 システムテ゛ータ　ショキカチュウ 　シハ゛ラクオマチクタ゛サイ システムデータ初期化終了画面 システムテ゛ータ　ヲ 　　　　ショキカシマシタ 　　HIT ANY KEY
5. 何かキーを押すとシステムデータメニュー画面になります。	システムデータメニュー画面 システムテ゛ータ 　システムテ゛ータ　ヨミコミ →システムテ゛ータ　ショキカ
6. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス 　メッセーシ゛　ロクオン →システムテ゛ータ 　ニチシ゛　セッテイ

3. 日時を設定する方法

設定されている日時を変更します。
尚、新設時の日時設定は次ページの「新設時に日時を設定する方法」を参照願います。

操作	画面
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーボード メンテナンス →メッセージ ロクオン システムデータ
2. 「↓」キー2回＋「確定」キーを押します。 ("→"を「ニチジ セッテイ」に合わせ「確定」キーを押します。)	日時設定画面 ニチジ セッテイ →ヒヅケ ヨウビ ジコク
3. 「→」キーで変更したい項目を選択し「確定」キーを押します。 (例)時刻を変更する場合 また、以下の操作もできます。 ・「↑」「↓」で現在時刻表示画面になります。(参考画面1参照) ・「取消」でメインメニューになります。	時刻設定画面 ニチジ セッテイ ゲンザイ：12：00 ジコク：■
4. 「数字」キーで時刻を設定します。 (例)13:30を設定する場合 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で日時設定画面になります。	時刻設定画面 ニチジ セッテイ ゲンザイ：12：00 ジコク：13：30
5. 「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で日時設定画面になります。	日時設定画面 ニチジ セッテイ →ヒヅケ ヨウビ ジコク
6. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。 また、以下の操作もできます。 ・「→」「←」でその他変更したい項目を選択できます。	メインメニュー キーボード メンテナンス システムデータ →ニチジ セッテイ タンシジョウタイ

参考画面1：現在時刻表示画面

```
ニチジ セッテイ     THU
95－01－01    12：00
→ヒヅケ ヨウビ ジコク
```

← 現在記憶している日付、曜日
時刻を表示します。

新設時に日時を設定する方法

新設時の日時設定を行います。
新設時に本装置の電源をONしたり「システムオールリセット」を行った場合は、自動的に本設定状態となります。

操作	画面
1. 新設時、本装置の電源をONします。 または、「システムオールリセット」を行います。	日時設定画面 ニチジ　セッテイ ヒヅケ ガ　ミセッテイデス →ヒヅケ　ヨウビ　ジコク
2. 「確定」キーを押します。	日付設定画面 ニチジ　セッテイ ゲンザイ：ミセッテイ ヒヅケ：■　－　－
3. 「数字」キーで日付を設定します。 (例) 96年1月1日を設定する場合 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で日時設定画面になります。	日付設定画面 ニチジ　セッテイ ゲンザイ：ミセッテイ ヒヅケ：96－01－01
4. 「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で日時設定画面になります。	日時設定画面 ニチジ　セッテイ ヨウビ　ガ　ミセッテイデス ヒヅケ→ヨウビ　ジコク
5. 「確定」キーを押します。	曜日設定画面 ニチジ　セッテイ ゲンザイ：ミセッテイ →SUN　TUE　THU　SAT MON　WED　FRI
6. 「→」キーで曜日を設定します。 (例) 木曜日を設定する場合 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で日時設定画面になります。	曜日設定画面 ニチジ　セッテイ ゲンザイ：ミセッテイ SUN　TUE→THU　SAT MON　WED　FRI
7. 「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で日時設定画面になります。	日時設定画面 ニチジ　セッテイ ジコク　ガ　ミセッテイデス ヒヅケ　ヨウビ→ジコク
8. 「確定」キーを押します。	時刻設定画面 ニチジ　セッテイ ゲンザイ：ミセッテイ ジコク：■　：
9. 「数字」キーで時刻を設定します。 (例) PM1:00を設定する場合 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で日時設定画面になります。	時刻設定画面 ニチジ　セッテイ ゲンザイ：ミセッテイ ジコク：13：00
10. 「確定」キーを押します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で日時設定画面になります。	日時設定画面 ニチジ　セッテイ トリケシ：メインメニュー →ヒヅケ　ヨウビ　ジコク
11. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーボード　メンテナンス システムデータ →ニチジ　セッテイ タンシ　ジョウタイ

4. 各端子の現在状態をLCDに表示する方法

センサ入力、アナログ入力の現在の端子状態を表示します。
尚、出力接点は保守機能実行により待機状態に戻る為、待機状態の確認となります。
積算値のクリアについては、「11. 積算値をクリアする方法」のページを参照願います。

操作	画面
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛ メンテナンス →メッセージ゛ ロクオン システムデ゛ータ
2. 「↓」キー3回＋「確定」キーを押します。 ("→"を「タンシ ジョウタイ」に合わせ「確定」キーを押します。)	端子状態メニュー画面 タンシ シ゛ョウタイ →センサ アナロク゛
3. 「確定」キーを押します。 (例)センサ入力の状態を確認する場合 また、以下の操作もできます。 ・「↓」で端子選択できます。	センサ入力状態表示画面 センサ 01 [フ゛レーク] セイシ゛ョウ 02 [メーク] イシ゛ョウ 03 [メーク] ハ゜ルス （入力状態 ／ 入力状態に対する状態）
4. 「↑」「↓」「→」「←」で各端子を確認します。 また、以下の操作もできます。 ・「モード2」で積算値表示画面になります。(参考画面1参照) ・「取消」で端子状態メニュー画面になります。	センサ入力状態表示画面 センサ 04 [フ゛レーク] シ゛カン 05 [メーク] セイシ゛ョウ 06 [メーク] モート゛ 1
5. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛ メンテナンス ニチシ゛ セッテイ →タンシ シ゛ョウタイ リレキ ヒョウシ゛

参考画面1：積算値表示画面

センサ
01 [フ゛レーク] セイシ゛ョウ
02 [メーク] イシ゛ョウ
03 [00475] ハ゜ルス

積算端子のみ積算値を表示します。

・「↑」「↓」「→」「←」で各端子を確認します。
・「モード1」でセンサ入力状態表示画面になります。
・「取消」で端子状態メニュー画面になります。

5. 通報履歴等をLCDに表示する方法

通報、センサ入力、アナログ入力、接点出力、回線断の履歴を表示します。
通報動作、センサ入力、アナログ入力、接点出力は、最大:各100件、回線断は、最大:20件の履歴を蓄積できます。
尚、最大件数を超える履歴が発生した場合は、古い履歴から上書きしていきます。
履歴のクリアについては、「10. 履歴をクリアする方法」のページを参照願います。

操作	画面
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセージ゛　ロクオン システムテ゛ータ
2. 「↓」キー4回＋「確定」キーを押します。 ("→"を「リレキ ヒョウジ」に合わせ「確定」キーを押します。)	履歴表示メニュー画面 リレキ　ヒョウジ゛ →ツウホウ　[005] センサ　[020]
3. 「確定」キーを押します。 (例)通報履歴を確認する場合 また、以下の操作もできます。 ・「↓」で履歴項目を選択できます。 ・「取消」でメインメニューになります。	履歴表示画面 No:1　[MAX:006] イシ゛ョウ　01　セイシ゛ョウ 96-11-01　13:02
4. 「↑」「↓」「→」「←」で履歴を確認します。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で履歴表示メニュー画面になります。	履歴表示画面 No:6　[MAX:006] イシ゛ョウ　08　オウトウナシ 96-11-01　09:05
5. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス タンシ　シ゛ョウタイ →リレキ　ヒョウシ゛ フ゜リントアウト

6. システムデータ等をプリントアウトする方法

本装置にプリンタ(PC－PR系)を接続することにより、システムデータや履歴を印刷します。

注意:プリンタを接続する場合は、静電気にご注意ください。

操作	画面
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセーシ゛　ロクオン 　システムテ゛ータ
2. 「↓」キー5回＋「確定」キー押します。 ("→"を「フ゛リントアウト」に合わせ「確定」キー押します。)	プリントアウトメニュー画面 フ゛リントアウト →システムテ゛ータ　インサツ 　リレキ　インサツ
3. 「確定」キーを押します。 (例)システムデータを印刷する場合 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でメインメニューになります。	システムデータ印刷メニュー画面 システムテ゛ータ　インサツ →セ゛ン　システムテ゛ータ 　システム　キノウ
4. 「確定」キーを押します。 (例)全システムデータを印刷する場合 また、以下の操作もできます。 ・「↓」で印刷項目を選択できます。 ・「取消」でプリントアウトメニュー画面になります。	印刷中画面 システムテ゛ータ　インサツ セ゛ン　システムテ゛ータ (インサツチュウ) トリケシ：チュウシ
5. 印刷が終わる(プリンタにデータ送出が終わる)とシステムデータ印刷メニュー画面になります。	システムデータ印刷メニュー画面 システムテ゛ータ　インサツ →セ゛ン　システムテ゛ータ 　システム　キノウ
6. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセーシ゛　ロクオン 　システムテ゛ータ

7. 簡易オンラインメンテナンスを行う方法

本装置の設定に関係なくオンラインメンテナンスを行う事ができます。
本項目を実行状態とすると、本装置はオンラインメンテナンス待ち状態となり保守端末によるシステムデータのダウンロードやアップロード等を行うことができます。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーボード メンテナンス →メッセージ ロクオン システムデ ータ
2. 「↓」キー6回＋「確定」キー押します。 ("→"を「オンラインメンテナンス」に合わせ「確定」キー押します。)	オンラインメンテナンス待ち画面 オンラインメンテナンス マチ
4. 本装置は、オンラインメンテナンス待ち状態となりますのでオンラインメンテナンスを実行できます。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でメインメニューになります。	
5. オンラインメンテナンスを終了すると自動的にメインメニューに戻ります。	メインメニュー システムデ ータ プ リントアウト →オンライン メンテナンス システム インフォメーション

8. システムバージョンをLCDに表示する方法

本装置に実装されているICカードのバージョンを表示します。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーボード メンテナンス →メッセージ ロクオン システムデ ータ
2. 「↓」キー7回＋「確定」キーを押します。 ("→"を「システム インフォメーション」に合わせ「確定」キーを押します。)	システム表示画面 システム ：ＣＳＤ９－Ａ ← ICカード名称 バ ージ ョン ： ０３．００ ← バージョン ：（０１．００）
3. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーボード メンテナンス オンライン メンテナンス →システム インフォメーション ユニット インフォメーション

9. ユニットバージョンをLCDに表示する方法

本装置に実装されているオプションセットの種類、状態及びバージョンを表示します。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

```
キーホート゛　メンテナンス

→メッセージ゛　ロクオン
　システムデ゛ータ
```

2. 「↓」キー8回＋「確定」キー押します。
("→"を「ユニット　インフォメーション」に合わせ「確定」キー押します。)

ユニット表示画面

```
スロットNo　：1
シュベ゛ツ　：NCU　ー1  ← ユニット名称：連番
ジ゛ョウタイ　：ツウシンカノウ  ← 実装状態
バ゛ージ゛ョン：03.00  ← バージョン
```

3. 「→」「←」で各オプションセットを確認します。

ユニット表示画面

```
スロットNo　：7
シュベ゛ツ　：IOU－1
ジ゛ョウタイ　：ツウシンカノウ
バ゛ージ゛ョン：03.00
```

4. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーホート゛　メンテナンス
　システム　インフォメーション
→ユニット　インフォメーション
　リレキ　クリア
```

10. 履歴をクリアする方法

本装置に記録されている各動作履歴をクリアします。

1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。

メインメニュー

```
キーホート゛　メンテナンス

→メッセージ゛　ロクオン
　システムデ゛ータ
```

2. 「↓」キー9回＋「確定」キー押します。
("→"を「リレキ　クリア」に合わせ「確定」キー押します。)

履歴クリアメニュー画面

```
リレキ　クリア

→ツウホウ　　　[005]
　センサ　　　　[020]
```

3. 「確定」キーを押します。
(例)通報履歴をクリアする場合
また、以下の操作もできます。
・「↓」で履歴クリア項目を選択できます。
・「取消」で履歴クリアメニュー画面になります。

履歴クリア画面

```
リレキ　クリア
　ツウホウ　　　[005]

　　カクテイ：クリア
```

4. 「確定」キーでクリアされ履歴クリアメニュー画面になります。

クリア項目選択画面

```
リレキ　クリア

→ツウホウ　　　[000]
　センサ　　　　[020]
```

5. 「取消」キーを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

```
キーホート゛　メンテナンス
　ユニット　インフォメーション
→リレキ　クリア
　セキサンチ　クリア
```

11. 積算値をクリアする方法

本装置に記録されている各積算値をクリアします。

操作	画面
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセージ゛　ロクオン システムデ゛ータ
2. 「↓」キー10回＋「確定」キー押します。 ("→"を「セキサンチ　クリア」に合わせ「確定」キー押します。)	積算値クリアメニュー画面 セキサンチ　クリア →パ゜ルス　セキサンチ シ゛カン　セキサンチ
3. 「確定」キーを押します。 (例)パルス積算値をクリアする場合 また、以下の操作もできます。 ・「↓」で積算値クリア項目を選択できます。 ・「取消」でメインメニューになります。	クリアNo選択画面 パ゜ルス　セキサンチ →01　[12345] 02　[00123]
4. 「↑」「↓」「→」「←」でクリアする端子を選択し「確定」キーでクリアされます。 (例)センサ01をクリアする場合 また、以下の操作もできます。 ・「取消」で積算値クリアメニュー画面になります。	積算値クリア画面 パ゜ルス　セキサンチ →01　[00000] 02　[00123]
5. 「取消」キー2回でメインメニューに戻ります。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス リレキ　クリア →セキサンチ　クリア システム　オール　リセット

12. システムをオールリセットする方法

本装置に記録されているシステムデータ及び録音メッセージを全てリセット(出荷時の状態)します。

操作	画面
1. 待機状態より「設定」キーを3秒間押します。	メインメニュー キーホート゛　メンテナンス →メッセージ゛　ロクオン システムデ゛ータ
2. 「↓」キーを11回＋「確定」キー押します。 ("→"を「システム　オール　リセット」に合わせ「確定」キー押します。)	オールリセット画面 システム　オール　リセット セッテイ：オールリセット
4. 「設定」キーを押すとオールリセットします。 また、以下の操作もできます。 ・「取消」でメインメニューになります。 オールリセット後は、日時設定画面となります。	オールリセット中画面 オール　リセットチュウ システム初期化中画面 システム　ショキカチュウ ホ゛ート゛　ショキカチュウ システム初期化中画面 キーホート゛　メンテナンス シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ 日時設定画面 ニチシ゛　セッテイ ヒツ゛ケ゛カ゛　ミセッテイデ゛ス →ヒツ゛ケ゛　ヨウヒ゛　シ゛コク

■システムデータ設定内容

次ページ以降のシステムデータ設定内容の表記は、以下の通りです。

通報 | 種別 36 | センサ入力 | 要素 01～32

概要

センサ入力の設定をします。
設定できる要素(センサ入力)No. はIOUの実装枚数により異なります。(8点／1IOU)

設定項目

	設定項目			設定内容	初期値	項目説明
01	異常モード			メーク/ブレーク/パルス積算/時間積算	メーク	異常モードを設定 注1
02	検出タイマ			5～30000(x10ms)	30(0.3秒)	検出時間を設定
03	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	本項目(01)が「メーク」「ブレーク」の場合、通報起動条件を設 注2
04	通報内容			積算値／異常通報	積算値	本項目(01)が「パルス/時間積算」の場合、固定音声／固定データ通報時の通報内容を設定 注3
05	異常積算値			1～65534(回又はx10秒)	65534	本項目(01)が「パルス/時間積算」の場合、異常とする積算値を設定 注4
06	定時通報時積算値クリア			有／無	有	本項目(01)が「パルス/時間積算」の場合、定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定
07	モード1通報			有／無	無	モード1における通報の有無を設定 注5
08	モード2通報			有／無	無	モード2における通報の有無を設定 注5
09	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定 注6
10	通報データ	DTMF	異常	0～9,*,#,A～D,I [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定
11			復旧	0～9,*,#,A～D,I [MAX:32桁]	未設定	注7
12		ポケットベル	異常	0～9,*,#,A～D,I [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
13			復旧	0～9,*,#,A～D,I [MAX:32桁]	未設定	
14		録音メッセージ	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定
15			復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	注8
16	動作記録			有／無	有	動作時、履歴記録の有無を設定 注9
17	動作印刷			有／無	無	動作時、印刷の有無を設定 注10
18	臨場音聴取			有／無	無	臨場音聴取の有無を設定 注11

記事

注1. 異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
メーク	「メーク」した場合、異常とします。
ブレーク	「ブレーク」した場合、異常とします。
パルス積算	「メーク」した回数を積算し、設定した積算値(回)で異常とします。
時間積算	「メーク」している時間を10秒単位で積算し、設定した積算値(x10秒)で異常とします。

注2. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復旧時	異常時及び復旧時に通報します。

注3. 本項目は「種別(30)／項目(02)：通報方式」が以下の場合、有効となります。
①「固定音声」「MF＋固定音声」の時(固定音声通報)
②「DTMF」「MF+固定音声」「MF+録音音声」でかつ「本項目(10)：通報データDTMF異常時」が「未設定」の時(固定DTMF通報)

通報内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
積算値	積算値(最大5桁：1～65534)を通報します。
異常通報	積算値になったこと(異常)を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。
固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

LCD表示

nn：要素No(01～32)

```
36：センサINnn
01：イジョウモード
→メーク
 ブレーク
 パルスセキサン
 ジカンセキサン
```

```
36：センサINnn
02：ケンシュツタイマ
[5～30000（x10ms）]
：30→■
```

```
36：センサINnn
03：ツウホウジョウケン
→イジョウジ
 イジョウ・フッキュウジ
```

```
36：センサINnn
04：ツウホウナイヨウ
→セキサンチ
 イジョウツウホウ
```

```
36：センサINnn
05：イジョウセキサンチ
[1～65534]
：65534→■
```

```
36：センサINnn
06：セキサンチクリア
→アリ
 ナシ
```

システム	種別	01	IDコード	要素	ー

概　要

本装置のIDコードを設定します。

注意：ID番号は、本装置の管理番号となり、通報及び保守等において必要なものですので、必ず設定して下さい。
「本項目（01）：ID番号」が設定されていないと、システムデータ保存時エラーとなります。

設定項目

	設定項目	設定内容		初期値	項目説明	
01	ID番号	0～9	[MAX:16桁]	未設定	本装置のID番号を設定	注1
02	IDメッセージ	フレーズNo.0～63	[1フレーズ]	未設定	ID番号の代わりに送出するメッセージを設定	注2

記　事

注1．ID番号は、必ず設定してください。

注2．メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

IDメッセージ機能は、以下の通りです。

「種別（30）／項目（02）：通報方式」が「固定音声」の通報先に通報（固定音声通報）する場合、ID番号の代わりに設定したメッセージを送出します。

本項目の設定により、固定音声通報時の通報メッセージは、以下のようになります。

「センサ01の積算異常を固定音声で通報」する場合

例1：ID番号のみ設定した場合

設定項目	設定値	記　事
ID番号	0123	
IDメッセージ	未設定	

通報メッセージ：「こちらは0123です　センサ01がXXXXX（積算値）です」

（「」内全体：固定音声）

例2：ID番号とIDメッセージを設定した場合

設定項目	設定値	記　事
ID番号	0123	
IDメッセージ	No1	「日通工です」というフレーズNo

通報メッセージ：「日通工です　センサ01がXXXXX（積算値）です」

（「日通工です」：録音音声　「センサ01がXXXXX（積算値）です」：固定音声）

LCD表示

```
01：IDコード
01：ID　No
[0－9]
■
```

```
01：IDコード
02：IDメッセージ
[0－63]（0／1）
：■　：
```

システム	種別	02	メッセージ録音条件	要素	ー

概　要

本装置の内蔵マイクまたは外部入力端子より録音するメッセージの録音条件を設定します。

注意：メッセージ録音条件の設定は、メッセージを録音する前に行って下さい。
　　なお、システムデータ保存を行わないと有効となりません。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	サンプリングレート	8K／12K／16K(bps)	16Kbps	サンプリングレートを設定	注1
02	サイレントリムーブ	有／無	無	サイレントリムーブ機能の有無を設定	注2
03	しきい値	0～7(0:低～7:高)	0	本項目(02)が「有」の場合、しきい値を設定	注2

記　事

注1. サンプリングレートは、録音メッセージの録音時間及び音質の設定です。
　サンプリングレートの設定により録音時間及び音質は以下のようになります。

ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞﾚｰﾄ	録音時間	音 質
8Kbps	約131秒(2分11秒)	下
12Kbps	約 86秒(1分26秒)	中
16Kbps	約 65秒(1分 5秒)	上

メッセージ録音後にサンプリングレートの設定を変更した場合、録音済のフレーズの音質については変更前の音質となり、時間については以下のような比率で換算されます。(16Kbps＝1とした場合)

	8Kbps	12Kbps	16Kbps
比率	約2	約1.4	1

(例)16Kbpsで5秒間録音した場合、12Kbpsに設定を変更すると約7秒と換算されます。

注2. サイレントリムーブ機能は、以下の通りです。
　ある大きさ(しきい値)以下の音を録音しない機能です。下図のような録音となります。
　但し、メッセージがしきい値以下になった場合も録音しません(LCD表示の録音可能な残り時間が変化せず再生時は無音を送出する)のでご注意願います。

しきい値は、周囲雑音や録音する声の大きさにより設定して下さい。
しきい値設定は、以下を目安に設定し、実際に録音を行い確認して下さい。

しきい値	録音しない音の大きさ
0	かなり小さい音
1	↓
2	
3	
4	
5	
6	
7	大きい音

LCD表示

```
02：ロクオンシ゛ョウケン
01：サンフ゜リンク゛レート
    8Kbps
   12Kbps
 →16Kbps
```

```
02：ロクオンシ゛ョウケン
02：サイレントリムーフ゛
  アリ
 →ナシ
```

```
02：ロクオンシ゛ョウケン
03：シキイチ
[0－7]
：0→■
```

システム	種別	03	回線断検出機能	要素	ー

概　要

本装置が回線断線を検出した時の動作を設定します。
回線断線は以下の条件で検出します。
　①待機状態において回線断状態が約30秒継続した時
　②回線捕捉時に回線断状態となっている時

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	回線断警報音	有／無	有	検出時、警報音送出の有無を設定	注1
02	出力接点連動	有／無	無	検出時、出力接点連動の有無を設定	
03	接点No	1～XX(注2)	未設定	本項目(02)が「有」の場合、連動させる出力接点Noを設定	注2
04	動作印刷	有／無	無	検出時、印刷の有無を設定	注3

記　事

注1. 警報音は、本体の内蔵スピーカより送出します。
　送出する警報音は、以下の通りです。
　　「ピー　ピー　ピー…………」
　警報音は以下の条件で停止します。
　　①回線が復旧した時
　　②「通報停止ボタン」または「外部停止ボタン」を押した時

注2. 設定できる出力接点Noは、IOUの実装枚数により異なります。
　IOU1枚:No1～4　IOU2枚:No1～8　IOU3枚:No1～12　IOU4枚:No1～16
　設定した出力接点Noの待機状態及び出力方式は、「種別(35):出力接点」で設定して下さい。
　出力接点の出力方式が「連続」の場合、連動接点は以下の条件でオフします。
　　①回線が復旧した時
　　②「通報停止ボタン」または「外部停止ボタン」を押した時

注3. 動作印刷機能は、以下の通りです。
　回線断検出時及び復旧時、本装置に接続したプリンタに履歴を印刷します。

LCD表示

```
03：カイセンダ゛ンキノウ
01：カイセンダ゛ンケイホウ
 →アリ
  ナシ
```

```
03：カイセンダ゛ンキノウ
02：セッテンレンド゛ウ
  アリ
 →ナシ
```

XX:注2参照

```
03：カイセンダ゛ンキノウ
03：セッテンNo
[1－XX]
ミセッテイ→■
```

```
03：カイセンダ゛ンキノウ
04：ド゛ウサインサツ
  アリ
 →ナシ
```

回線	種別	10	NCU機能	要素	ー

概　要

本装置の収容回線仕様等を設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	ダイヤルモード	10pps／20pps／DTMF	20pps	ダイヤルモードを設定　注1
02	DT検出	有／無	有	DT(ダイヤルトーン)検出の有無を設定
03	DT検出タイマ	1～10(x100ms)	8(0.8秒)	本項目(02)が「有」の場合、DT検出時間を設定　注2
04	極性反転検出タイマ	1～10(x100ms)	3(0.3秒)	極性反転の検出時間を設定
05	BT・H&D検出	有／無	有	BT(ビジートーン)及び通報中のH&D検出の有無を設定
06	フラッシュ時間	1～10(x100ms)	6(0.6秒)	ダイヤルとして設定するF(フラッシュ)時間を設定
07	回線開放タイマ	5～255(秒)	15(15秒)	前宛先通報終了から次宛先へ通報するまでの時間を設定　注3

記　事

注1. 本装置に接続した回線のダイヤルモードを確認して、必ず設定して下さい。
　　尚、DPダイヤルについてはスピード(10pps／20pps)の設定となります。

注2. DT検出タイマは、以下を参考に設定してください。

注3. 回線開放タイマは、以下を参考に設定して下さい。

・通報先が同一宛先の場合は、回線開放タイマは無条件で60秒となります。

LCD表示

```
10：NCUキノウ
01：ダ゛イヤルモート゛
  10pps
 →20pps
  DTMF
```

```
10：NCUキノウ
02：DTケンシュツ
 →アリ
  ナシ
```

```
10：NCUキノウ
03：DTケンシュツタイマ
[1－10 (x100ms)]
：8→■
```

```
10：NCUキノウ
04：RVケンシュツタイマ
[1－10 (x100ms)]
：3→■
```

```
10：NCUキノウ
05：BT・H&Dケンシュツ
  アリ
 →ナシ
```

```
10：NCUキノウ
06：フラッシュシ゛カン
[1－10 (x100ms)]
：6→■
```

```
10：NCUキノウ
07：カイセンカイホウタイマ
[5－255 (s)]
：15→■
```

回線	種別	11	アンサ信号	要素	－

概　要

DTMF通報時において、アンサ信号の有効条件を設定をします。
通報先ダイヤル後、50秒以内に設定した条件内のアンサ信号を受信した場合、通報DTMFデータを送出します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	検出周波数	40～300(x10Hz)	165(1650Hz)	検出周波数を設定	注1
02	有効時間(Min)	1～10(x100ms)	3(0. 3秒)	有効時間の最小値を設定	注2
03	有効時間(Max)	10～100(x100ms)	50(5秒)	有効時間の最大値を設定	注2

記　事

注1. 検出周波数は、設定値±10%です。

注2. 有効時間は、以下を参考に設定してください。

LCD表示

```
11：アンサシンゴ゛ウ
01：ケンシュツシュウハスウ
[40－300 (x10Hz)]
：165→■
```

```
11：アンサシンゴ゛ウ
02：ユウコウシ゛カンMin
[1－10 (x100ms)]
：3→■
```

```
11：アンサシンゴ゛ウ
03：ユウコウシ゛カンMax
[10－100 (x100ms)]
：50→■
```

回線	種別	12	エンド信号	要素	ー

概　要

DTMF通報時において、エンド信号の有効条件を設定をします。
設定した条件内のエンド信号を受信した場合、通報が正常終了します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	エンド信号待ちタイマ	1～255(秒)	7(7秒)	通報DTMFﾃﾞｰﾀ送出後、ｴﾝﾄﾞ信号の受信待ち時間を設定	注1
02	検出周波数	40～300(x10Hz)	165(1650Hz)	検出周波数を設定	注2
03	有効時間(Min)	1～10(x100ms)	3(0.3秒)	有効時間の最小値を設定	注1
04	有効時間(Max)	10～100(x100ms)	50(5秒)	有効時間の最大値を設定	注1

記　事

注1. エンド信号待ちタイマ、有効時間は、以下を参考に設定して下さい。

注2. 検出周波数は、設定値±10%です。

LCD表示

```
12：エンド゛シンゴ゛ウ
01：エンド゛マチタイマ
[1－255（s）]
：7→■
```

```
12：エンド゛シンゴ゛ウ
02：ケンシュツシュウハスウ
[40－300（x10Hz）]
：165→■
```

```
12：エンド゛シンゴ゛ウ
03：ユウコウジ゛カンMin
[1－10（x100ms）]
：3→■
```

```
12：エンド゛シンゴ゛ウ
04：ユウコウジ゛カンMax
[10－100（x100ms）]
：50→■
```

回線	種別	13	DTMFデータ	要素	－

概 要

本装置が送出するDTMFデータ(ダイヤルは除く)の仕様を設定をします。

注意:送出レベルの調整は工事担任者の資格を有するものに限ります。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	DTMF送出タイマ	5~100(x10ms)	10(0.1秒)	送出時間を設定
02	DTMF休止タイマ	5~100(x10ms)	10(0.1秒)	休止時間を設定
03	DTMF送出レベル	0~7(0:大~7:小)	7	送出レベルを設定 注1
04	アンサ信号後DTMF送出遅延タイマ	1~100(x100ms)	5(0.5秒)	アンサ信号受信後、DTMFデータを送出するまでの時間を設定 注2

記 事

注1. 送出レベルは、以下の通り可変できます。

設定値	送出ゲイン
0	14dB UP
1	12dB UP
2	10dB UP
3	8dB UP
4	6dB UP
5	4dB UP
6	2dB UP
7	0

注2. アンサ信号後DTMF送出タイマは、以下を参考に設定して下さい。

LCD表示

```
13:DTMFデ゛ータ
01:ソウシュツタイマ
[5-100 (x10ms)]
:10→■
```

```
13:DTMFデ゛ータ
02:キュウシタイマ
[5-100 (x10ms)]
:10→■
```

```
13:DTMFデ゛ータ
03:ソウシュツレヘ゛ル
[0-7]
:7→■
```

```
13:DTMFデ゛ータ
04:アンサ→MFチエン
[1-100 (x100ms)]
:5→■
```

自動応答	種別	20	自動応答	要素	－

概　要

自動応答機能の設定をします。
本装置が待機状態である場合、外部より本装置にダイヤルすると、設定条件に従って自動応答します。
本装置が起動中（通報中、通報保留中等）は、自動応答しません。
本種別及び「種別（21）：暗証番号」の設定を行うと、遠隔操作によるテレコントロールやオンラインメンテナンスを行うことができます。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	自動応答機能	有／無	無	自動応答機能の有無を設定	
02	自動応答条件	モード1/モード2/設定時間/無条件	モード2	自動応答する条件を設定	注1
03	自動応答の設定時間	(00:00～23:59)～(00:00～23:59)	20:00～8:00	本項目(02)が「設定時間」の場合、自動応答可能とする時間帯を設定	
04	自動応答タイマ	1～255(秒)	5(5秒)	自動応答するまでの時間を設定	
05	自動応答DTMF	0～9 [2桁]	未設定	自動応答DTMFを設定	注2
06	自動応答メッセージ方式	固定音声／録音音声	固定音声	自動応答時、送出するメッセージの方式を設定	注3
07	自動応答メッセージ(録音)	フレーズNo.0～63 [1フレーズ]	未設定	本項目(06)が「録音音声」の場合、送出するメッセージを設定	注4
08	端子状態通知	有／無	無	端子状態通知機能の有無を設定	注5

記　事

注1. 自動応答条件の設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
モード1	通報モード1の時、自動応答します。
モード2	通報モード2の時、自動応答します。
設定時間	通報モードに関係なく設定した時間帯の時、自動応答します。
無条件	常時、自動応答します。

注2. 自動応答DTMFの機能は、以下の通りです。
外部より本装置にダイヤルし、自動応答する前に本装置に接続された外付電話装置で応答した場合において、通話中に外部または外付電話機より設定した自動応答DTMFを入力すると、外付電話機が強制切断され装置が自動応答します。
但し、自動応答DTMFを誤入力した場合、再度設定したDTMFを入力しても自動応答できません。

注3. 自動応答メッセージの設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声	本装置の固定メッセージ「こちらはXXXX・・です」を送出します。
録音音声	録音メッセージを送出します。

・XXXX・・(MAX:16桁)：「種別(01)／項目(01)：ID番号」で設定して下さい。
・録音メッセージは、「本項目(07)：自動応答メッセージ」で設定して下さい。

注4. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

注5. 端子状態通知機能は、以下の通りです。
本装置が自動応答した場合、暗証番号なしでセンサの全端子情報を音声で送出します。
また、自動応答メッセージ、センサ全端子情報送出中及び送出後は暗証番号の受信が可能であり、テレコントロール等を起動できます。

・自動応答メッセージは、注3を参照願います。
・センサ全端子情報は、テレコントロール機能の「センサ情報収集全端子情報（#1199）」と同一のメッセージを送出します。
・自動応答メッセージ、センサ全端子情報送出中の暗証番号（*XXXX#）受信は、*を受信した時点で送出している音声を停止します。
・暗証番号待ちタイマは、「種別(21)／項目(09)：暗証番号待ちタイマ」で設定して下さい。

LCD表示

```
20:ジドウオウトウ
01:ジドウオウトウキノウ
 アリ
→ナシ
```

```
20:ジドウオウトウ
02:オウトウジョウケン
 モード1
→モード2
 セッテイジカン
 ムジョウケン
```

```
20:ジドウオウトウ
03:オウトウセッテイジカン
:(20:00-08:00)
→(■ : - : )
```

```
20:ジドウオウトウ
04:オウトウタイマ
[1-255(s)]
:5→■
```

```
20:ジドウオウトウ
05:オウトウDTMF
[0-9]
ミセッテイ→■
```

```
20:ジドウオウトウ
06:メッセージホウシキ
 コテイオンセイ
→ロクオンオンセイ
```

```
20:ジドウオウトウ
07:オウトウメッセージ
[0-63](0/1)
:■
```

```
20:ジドウオウトウ
08:タンシジョウタイツウチ
 アリ
→ナシ
```

自動応答	種別	21	暗証番号	要素	ー

概　要

テレコントロールやメンテナンス（オンライン／オンサイト）を実行するための暗証番号を設定をします。
「種別(20)：自動応答」及び本種別の設定を行うと、遠隔操作によるテレコントロールやオンラインメンテナンスを行うことができます。

設定項目

	設定項目		設定内容	初期値	項目説明	
01	暗証番号オンラインメンテナンス		0〜9　[4桁]	未設定	オンラインメンテナンスを起動する暗証番号を設定	注1
02	暗証番号	音声制御	0〜9　[4桁]	未設定	音声によるテレコンを起動する暗証番号を設定	注2
03	テレコン	センタ制御	0〜9　[4桁]	未設定	センタ装置によるテレコンを起動する暗証番号を設定	注2
04		エレベータ制御	0〜9　[4桁]	未設定	エレベータホンのテレコンを起動する暗証番号を設定	注2
08	暗証番号再入力回数		1〜10(回)	3回	暗証番号の再入力可能な回数を設定	注3
09	暗証番号受信待ちタイマ		1〜255(秒)	30(30秒)	自動応答後、暗証番号の受信待ち時間を設定	注4

記　事

注1. メンテナンス（オンライン／オンサイト）を起動する為の暗証番号を設定します。
　　また、「種別(23)：オンラインメンテナンス」の設定を確認して下さい。

注2. 「種別(20)／項目(01)：自動応答機能」が「有」の場合、設定できます。
　　また、「種別(22)：テレコントロール」及び「種別(23)：オンラインメンテナンス」の設定を確認して下さい。

注3. 再入力回数まで誤入力した場合、回線開放します。

注4. 暗証番号待ちタイマは、以下を参考に設定して下さい。

・設定した時間を経過した場合、回線開放します。
・誤入力した場合、暗証番号待ちタイマはリセットされます。
・自動応答メッセージ送出中の暗証番号（＊XXXX＃）受信は、＊を受信した時点で送出している音声を停止します。

LCD表示

```
21：アンショウバンゴウ
01：PWオンラインメンテ
[0−9]
ミセッテイ→■
```

```
21：アンショウバンゴウ
02：PWテレコンオンセイ
[0−9]
ミセッテイ→■
```

```
21：アンショウバンゴウ
03：PWテレコンセンタ
[0−9]
ミセッテイ→■
```

```
21：アンショウバンゴウ
04：PWテレコンエレベータ
[0−9]
ミセッテイ→■
```

```
21：アンショウバンゴウ
08：PWサイニュウリョク
[1−10]
：3→■
```

```
21：アンショウバンゴウ
09：PWマチタイマ
[1−255(s)]
：30→■
```

自動応答	種別	22	テレコントロール	要素	ー

概　要

テレコントロール（音声制御及びエレベータホン制御）に関する設定をします。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	サービス番号待ちタイマ	10〜255(秒)	30(30秒)	1つのサービス番号の受信可能な時間を設定	注1
08	子機番号受信待ちタイマ	10〜255(秒)	30(30秒)	暗証番号受信後、子機番号の受信可能な時間を設定	
09	屋外電話機呼出タイマ	1〜255(秒)	30(30秒)	ガイドホン屋外電話機の呼出時間を設定	注2

記　事

注1．サービス番号待ちタイマは、以下を参考に設定して下さい。

・設定した時間を経過した場合、回線開放します。
・誤入力した場合、サービス番号待ちタイマはリセットされます。
・「サービス番号をどうぞ」送出中のサービス番号（＃XXXX）受信は、＃を受信した時点で送出している音声を停止します。

注2．屋外電話機が応答しない場合、設定した時間呼出し後、回線開放します。

LCD表示

```
２２：テレコントロール
０１：サーヒ゛スＮｏマチタイマ
［１０−２５５（ｓ）］
：３０→■
```

```
２２：テレコントロール
０８：コキＮｏマチタイマ
［１０−２５５（ｓ）］
：３０→■
```

```
２２：テレコントロール
０９：オクカ゛イｃａｌｌタイマ
［１−２５５（ｓ）］
：３０→■
```

自動応答	種別	23	オンラインメンテナンス	要素	-

概　要

オンラインメンテナンス及びテレコントロール（センタ制御）のコマンドに関する設定をします。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	コマンド待ちタイマ	1～10（分）	1(1分)	1つのコマンドの受信待ち時間を設定

記　事

注1. コマンド待ちタイマは、以下を参考に設定して下さい。

＊1. 起動メッセージは、オンラインメンテナンス及びテレコントロール（センタ制御）により異なります。
尚、起動メッセージの送出は、暗証番号受信後のみです。以降は、コマンドに対するデータや実行終了コード[＊＊]、コマンド無効時のエラーコード[＃＃]等を送出します。

・設定した時間を経過した場合、回線開放します。
・誤入力した場合、コマンド待ちタイマはリセットされます。
・起動メッセージ送出中のコマンド（＃XXXXまたは＊XXXX）受信は、＃または＊を受信した時点で送出している音声を停止します。

LCD表示

```
23：オンラインメンテナンス
01：コマンド゛マチタイマ
［1－10（m）］
：1→■
```

通報	種別	30	通報先(1／2)	要素	01～32

概　要

通報先の設定をします。
本種別で設定した通報先No(1～32)を、「種別(31):通報グループ」に設定して下さい。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	電話番号	0～9,*,#,P,F　[MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定　注1
02	通報方式	固定音声／録音音声 MF+固定音声／MF+録音音声 DTMF／ポケットベル	固定音声	通報方式を設定　注2
03	応答検出方式	極性反転／タイマ／課金パルス オーディオ信号／DTMF	極性反転	本項目(02)が「DTMF」以外の場合、相手応答の検出方式を設定　注3
04	応答タイマ	5～255(秒)	10(10)秒	本項目(03)が「タイマ」の場合、応答時間を設定　注4
05	応答DTMF	0～9、*、#　[1桁]	#	本項目(03)が「DTMF」の場合、応答DTMFを設定
06	応答後音声メッセージ送出遅延タイマ	0～255(秒)	1(1秒)	本項目(02)が「固定／録音音声」の場合、相手応答後から通報メッセージを送出するまでの時間を設定　注5
07	音声メッセージ送出タイマ	1～60(x10秒)	6(60秒)	通報メッセージの送出時間を設定　注5
08	音声メッセージ繰返ポーズタイマ	0～255(秒)	1(1秒)	通報メッセージを繰り返し時のメッセージ間のポーズ時間を設定　注5
09	応答後ポケベルデータ送出遅延タイマ	0～255(秒)	10(10秒)	本項目(02)が「ポケットベル」の場合、相手応答後から通報メッセージを送出するまでの時間を設定
10	DTMF後音声メッセージ送出遅延タイマ	0～255(秒)	2(2秒)	本項目(02)が「MF＋固定／録音」の場合、DTMFデータ送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定
11	通報確認	有／無	無	本項目(02)が「DTMF」「ポケットベル」以外の場合、設定可。通報時、通報確認機能の有無を設定　注6
12	通報確認DTMF	0～9、*、#　[1桁]	1	本項目(11)が「有」の場合、設定可。受信するDTMF信号を設定
13	臨場音聴取	有／無	無	本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。通報時、臨場音聴取機能の有無を設定　注7
14	臨場音聴取マイク番号	1～X(注10)	1	本項目(13)が「有」の場合、聴取するマイクNoを設定　注8
15	臨場音聴取監視タイマ	10～255(秒)	60(60秒)	本項目(13)が「有」の場合、聴取する時間を設定　注8
16	テレコン起動	有／無	無	本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。通報時、テレコン起動の有無を設定します。　注9
17	テレコン制御方式	音声／センタ装置	音声	本項目(16)が「有」の場合、制御方式を設定

記　事

注1. P(ポーズ)時間は、1つにつき約3秒です。
F(フラッシュ)時間は、「種別(10)／項目(06):フラッシュ時間」で設定して下さい。
P及びFの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、Pの場合は「#」、Fの場合は「*」を押してください。

注2. 通報方式の設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声	本装置の固定メッセージで通報します。
録音音声	録音メッセージで通報します。
MF＋固定音声	DTMFデータを送出後、本装置の固定メッセージで通報します。
MF＋録音音声	DTMFデータを送出後、録音メッセージで通報します。
DTMF	DTMFデータ(固定または設定データ)で通報します。
ポケットベル	ポケットベルデータで通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

LCD表示

nn:要素No(01～32)

```
３０：ツウホウサキｎｎ
０１：ＴＥＬ　Ｎｏ
■
```

```
３０：ツウホウサキｎｎ
０２：ツウホウホウシキ
　→コテイオンセイ
　　ロクオンオンセイ
　　ＭＦ＋コテイオンセイ
　　ＭＦ＋ロクオンオンセイ
　　ＤＴＭＦ
　　ポケベル
```

通報	種別	30	通報先(2/2)	要素	01～32

記事

注3. 応答検出方式の設定内容は、以下の通りです。
尚、「本項目(02):通報方式」が「DTMF」の場合、本項目の設定はできません。
応答検出方式はアンサ信号となりますので、以下の設定を確認して下さい。
・「種別(11):アンサ信号」、「種別(12):エンド信号」、「種別(13):DTMFデータ」

設定内容	内容説明
極性反転	回線の極性反転で応答検出します。
タイマ	ダイヤル後の時間で応答検出します。
課金パルス	回線の課金信号で応答検出します。
DTMF	通報先からの応答DTMFを受信して応答検出します。(＊1)
オーディオ信号	通報先からの音声信号を受信して応答検出します。(＊1)

＊1.「本項目(02):通報方式」が「ポケットベル」の場合、設定できません。

注4. 応答タイマは、以下を参考に設定して下さい。

注5. 以下を参考に設定して下さい。
音声メッセージ送出タイマは、メッセージ送出途中で設定値を経過しても回線切断せず、メッセージ終了後に回線切断します。

注6. 通報確認機能は、以下の通りです。
通報先に音声メッセージを送出中、通報先より通報確認としてDTMF信号を受信した場合、通報正常終了とします。受信できない場合は、再通報します。

注7. 臨場音聴取機能は、通報が正常に終了した場合、回線を開放せず設定したマイクより臨場音を聴取します。また、臨場音聴取中は、「本項目(16):テレコン起動」の設定に関わらずDTMF信号の[＃]を受信することにより、テレコントロールを起動することができます。
本項目の設定を「有」にするとセンサ／アナログ通報を除く各通報で臨場音聴取が可能となります。
尚、センサ／アナログ入力通報で臨場音聴取する場合、本項目及び「種別(36):センサ入力」「種別(37):アナログ入力」の臨場音の設定を「有」にして下さい。
臨場音聴取開始のタイミングは以下の通りです。

「本項目(02):通報方式」	臨場音聴取開始タイミング
固定音声、録音音声 MF＋固定音声 MF＋録音音声	①「本項目(07):音声メッセージ送出タイマ」経過後 ②通報確認DTMF受信後
DTMF	エンド信号受信後

注8. 設定できる集音マイクNoは、IOUの実装枚数により異なります。
IOU1枚:No1～2　IOU2枚:No1～4　IOU3枚:No1～6　IOU4枚:No1～8
設定した集音マイクNoのゲイン初期値は、「種別(34):集音マイク」で行って下さい。

注9. テレコン起動機能は、通報が正常に終了した場合、回線を開放せずテレコンを起動します。
尚、「本項目(13):臨場音聴取」が「有」で本項目が「有」の場合、臨場音聴取後テレコントロール起動メッセージが送出され、テレコントロール起動となります。
テレコントロール起動のタイミングは以下の通りです。

「本項目(02):通報方式」	テレコン起動タイミング
固定音声、録音音声 MF＋固定音声 MF＋録音音声	①「本項目(07):音声メッセージ送出タイマ」経過後 ②通報中、DTMF信号の「＃」受信後 ③通報確認DTMF受信後
DTMF	エンド信号受信後

LCD表示

```
30:ツウホウサキnn
03:オウトウホウシキ
 →キョクセイハンテン
  タイマ
  カキンパ゛ルス
  オーディオシンコ゛ウ
  DTMF
```

```
30:ツウホウサキnn
04:オウトウタイマ
[5－255(s)]
:10→■
```

```
30:ツウホウサキnn
05:オウトウDTMF
[0－9, *, #]
#→■
```

```
30:ツウホウサキnn
06:オウトウ→オンセイチエン
[0－255(s)]
:1→■
```

```
30:ツウホウサキnn
07:オンセイソウシュツタイマ
[1－60(x10s)]
:6→■
```

```
30:ツウホウサキnn
08:クリカエシホ゜ース゛
[0－255(s)]
:1→■
```

```
30:ツウホウサキnn
09:オウトウ→Pヘ゛ルチエン
[0－255(s)]
:10→■
```

```
30:ツウホウサキnn
10:MF→オンセイチエン
[0－255(s)]
:2→■
```

```
30:ツウホウサキnn
11:ツウホウカクニン
  アリ
 →ナシ
```

```
30:ツウホウサキnn
12:カクニンDTMF
[0－9, *, #]
1→■
```

```
30:ツウホウサキnn
13:リンシ゛ョウオン
  アリ
 →ナシ
```

X:注10参照

```
30:ツウホウサキnn
14:マイクNo
[1－X]
:1→■
```

```
30:ツウホウサキnn
15:チョウシュタイマ
[10－255(s)]
:60→■
```

```
30:ツウホウサキnn
16:テレコンキト゛ウ
  アリ
 →ナシ
```

```
30:ツウホウサキnn
17:テレコンホウシキ
 →オンセイ
  センターソウチ
```

通報	種別	31	通報グループ(1／2)	要素	01～32

概　要

通報グループの設定をします。
「種別(30)：通報先」で設定した通報先No(1～32)の中から設定し、グループ化します。
本種別で設定したグループを各通報「種別(36)、(37)、(40)～(47)」に設定して下さい。

設定項目

	設定項目		設定内容	初期値	項目説明	
01	モード1	通報先No	1～32、# [MAX:8宛先]	未設定	モード1の通報先Noを設定	注1
02		通報完了条件	1宛先／全宛先／特定宛先	1宛先	モード1の通報完了条件を設定	注2
03		特定宛先	1～32 [MAX:5宛先]	未設定	本項目(02)が「特定宛先」の場合、特定通報先Noを設定	注3
04		発呼回数	1～255(回)	3回	モード1の発呼(発信)回数を設定	
05	モード2	通報先No	1～32、# [MAX:8宛先]	未設定	モード2の通報先Noを設定	注1
06		通報完了条件	1宛先／全宛先／特定宛先	1宛先	モード2での通報完了条件を設定	注2
07		特定宛先	1～32 [MAX:5宛先]	未設定	本項目(06)が「特定宛先」の場合、特定通報先Noを設定	注3
08		発呼回数	1～255(回)	3回	モード2の発呼(発信)回数を設定	
09	出力接点連動		有／無	無	接点連動の有無を設定	注4
10	接点連動1	接点No	1～XX(注5)	未設定	本項目(09)が「有」の場合、連動接点1の出力接点Noを設定	注5
11		オンタイミング	起動／回線捕捉／応答／完了	起動	オンさせるタイミングを設定	注6
12		オフタイミング	停止ボタン／回線開放／完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定	注6
13	接点連動2	接点No	1～XX(注5)	未設定	本項目(09)が「有」の場合、連動接点2の出力接点Noを設定	注5
14		オンタイミング	起動／回線捕捉／応答／完了	起動	オンさせるタイミングを設定	注6
15		オフタイミング	停止ボタン／回線開放／完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定	注6
16	接点連動3	接点No	1～XX(注5)	未設定	本項目(09)が「有」の場合、連動接点3の出力接点Noを設定	注5
17		オンタイミング	起動／回線捕捉／応答／完了	起動	オンさせるタイミングを設定	注6
18		オフタイミング	停止ボタン／回線開放／完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定	注6
19	接点連動4	接点No	1～XX(注5)	未設定	本項目(09)が「有」の場合、連動接点4の出力接点Noを設定	注5
20		オンタイミング	起動／回線捕捉／応答／完了	起動	オンさせるタイミングを設定	注6
21		オフタイミング	停止ボタン／回線開放／完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定	注6
22	接点連動5	接点No	1～XX(注5)	未設定	本項目(09)が「有」の場合、連動接点5の出力接点Noを設定	注5
23		オンタイミング	起動／回線捕捉／応答／完了	起動	オンさせるタイミングを設定	注6
24		オフタイミング	停止ボタン／回線開放／完了	停止ボタン	オフさせるタイミングを設定	注6

記　事

注1.「種別(30)：通報先」で設定した通報先Noを設定します。
　また、通報先Noの先頭に[#]を設定すると通報動作を行わず、出力接点連動のみ行う通報グループとなります。

注2. 通報完了条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
1宛先	設定した通報先Noの内、1宛先が応答すると通報完了とします。
全宛先	設定した通報先Noの全てが応答すると通報完了とします。
特定宛先	設定した通報先Noの内、設定した特定宛先Noが応答すると通報完了とします。

注3. 特定宛先は、本項目(01)または(05)で設定した通報先Noの内から選択して下さい。

LCD表示

nn：要素No(01～32)

```
31：ツウホウク゛ループ゜nn
01：ツウホウサキNo 1
[1－32，#] (0／8)
：■ － － －
```

```
31：ツウホウク゛ループ゜nn
02：ツウホウカンリョウ 1
 →1アテサキ
  セ゛ンアテサキ
  トクテイアテサキ
```

```
31：ツウホウク゛ループ゜nn
03：トクテイアテサキ 1
[1－32] (0／5)
：■ － － －
```

```
31：ツウホウク゛ループ゜nn
04：ハッコカイスウ 1
[1－255]
：3→■
```

通報	種別	31	通報グループ(2/2)	要素	01～32

記　事

注4. 出力接点連動は、1通報グループにつき5出力接点ができます。

注5. 設定できる出力接点Noは、IOUの実装枚数により異なります。
IOU1枚:No1～4　IOU2枚:No1～8　IOU3枚:No1～12　IOU4枚:No1～16
設定した出力接点Noの待機状態及び出力方式は「種別(35):出力接点」で設定して下さい。

注6. オン及びオフのタイミングは、以下の通りです。
オンタイミング:待機モードから動作するタイミングです。

設定内容	内容説明
起動	各通報の起動(検出)時にオンします。
回線捕捉	回線捕捉時にオンします。
応答	相手応答時にオンします。
完了	通報完了時にオンします。

オフタイミング:待機モードに戻るタイミングです。

設定内容	内容説明
完了	通報完了時にオフします。(*1)
回線開放	回線開放時にオフします。(*1)
停止ボタン	本装置の通報停止ボタンまたは外部停止ボタン押下時にオフします。

*1. オフする前に通報停止ボタンまたは外部停止ボタンを押すと強制的に接点をオフします。
外部停止ボタンの設定は、「種別(33)/項目(02):外部停止ボタン」で設定して下さい。

また、オン/オフの設定可能なタイミングは、以下の通りです。
オン/オフの設定(○:有効　×:無効)

オンするタイミング / オフするタイミング	起動	回線捕捉	応答	完了
完了	○	○	○	×
回線開放	×	○	○	×
停止ボタン	○	○	○	○

LCD表示

```
31:ツウホウグ゛ループ゜nn
05:ツウホウサキNo　2
[1-32,#] (0/8)
:■　－　－　－
```

```
31:ツウホウグ゛ループ゜nn
06:ツウホウカンリョウ　2
　1アテサキ
→ゼ゛ンアテサキ
　トクテイアテサキ
```

```
31:ツウホウグ゛ループ゜nn
07:トクテイアテサキ　2
[1-32] (0/5)
:■　－　－　－
```

```
31:ツウホウグ゛ループ゜nn
08:ハッコカイスウ　2
[1-255]
:3→■
```

```
31:ツウホウグ゛ループ゜nn
09:セッテンレント゛ウ
　アリ
→ナシ
```

連動接点1(項目10～12)の場合
XX:注5参照

```
31:ツウホウグ゛ループ゜nn
10:レント゛ウ1セッテンNo
[1-XX]
ミセッテイ→■
```

```
31:ツウホウグ゛ループ゜nn
11:レント゛ウ1　ON
→ツウホウキト゛ウ
　カイセンホソク
　アイテサキオウトウ
　ツウホウカンリョウ
```

```
31:ツウホウグ゛ループ゜nn
12:レント゛ウ1　OFF
→テイシボ゛タン
　カイセンカイホウ
　ツウホウカンリョウ
```

項目(13)～(24)は、項目(10)～(12)と内容同等

通報	種別	32	通報モード切替	要素	-

概　要

通報モード1と2の切替方式の設定をします。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	切替方式	ボタン／タイマ	ボタン	切替方式を設定	注1
02	外部スイッチセンサNo	1～XX(注2)	未設定	本項目(01)が「ボタン」の場合、設定可。 外部スイッチとするセンサNoを設定	注2
03	モード切替遅延タイマ(1→2)	0～255(秒)	0(0秒)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード1→2へ切替わるまでの時間を設定	注3
04	モード切替遅延タイマ(2→1)	0～255(秒)	0(0秒)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード2→1へ切替わるまでの時間を設定	注3
05	モード1開始時刻	00:00～23:59	8:00	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード1の開始時刻を設定	注4
06	モード2開始時刻	00:00～23:59	20:00	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の開始時刻を設定	注4
07	モード2の曜日(毎週)	1～7(1:日～7:土)　[MAX:6日]	未設定	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の曜日を設定	注4
08	モード2の月日(毎年)	1月1日～12月31日　[MAX:30日]	未設定	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の月日を設定	注4

記　事

注1. 切替方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
ボタン	本装置のモード切替ボタンの2秒押下または外部スイッチで切替えます。 モード切替ボタンまたは外部スイッチでの切替えは後押し優先となります。
タイマ	設定した時間または曜日または月日で切替えます。

外部スイッチの設定は、「本項目(02):外部スイッチNo」で設定して下さい。

外部スイッチによる切替えは、設定したセンサNoの異常モードにより以下のようになります。

「種別(36)／項目(02):異常モード」または「種別(37)／項目(03):異常モード」

異常モードの設定	モード1	モード2
メーク	メーク	ブレーク
ブレーク	ブレーク	メーク

注2. 設定できるセンサNoは、IOUの実装枚数により異なります。

IOU1枚:センサNo1～ 8、41～44(アナログ入力をセンサ入力として使用時)

IOU2枚:センサNo1～16、41～48(アナログ入力をセンサ入力として使用時)

IOU3枚:センサNo1～24、41～52(アナログ入力をセンサ入力として使用時)

IOU4枚:センサNo1～32、41～56(アナログ入力をセンサ入力として使用時)

注3. モード切替遅延タイマは、以下を参考に設定して下さい。

(例:モード1→2へ切替)

モード切替遅延タイマカウント中のモード切替・状態表示ボタン及びLCDのモード表示は、点滅表示となります。

注4. モード1開始時刻とモード2開始時刻は、同時刻には設定できません。

設定した曜日、月日以外の曜日、月日は、モード1となります。

モード1、2の開始時刻、曜日、月日を全て設定した場合、動作は以下のようになります。

設定項目	設定値	記事
モード1開始時刻	8:00	
モード2開始時刻	20:00	
曜日(毎週)	土、日	
月日(毎年)	12月30日～1月3日	

モード2となる時間、曜日、月日

「毎年12月30日～1月3日と毎週土、日曜日とそれ以外に日の20:00～7:59」

LCD表示

```
32：ツウホウモード゛キリカエ
01：キリカエホウシキ
 →ボタン
  タイマ
```

XX:注2参照

```
32：ツウホウモード゛キリカエ
02：ガイブ゛SWセンサNo
[1－XX]
ミセッテイ→■
```

```
32：ツウホウモード゛キリカエ
03：チエンタイマ（1→2）
[0－255（s）]
：0→■
```

```
32：ツウホウモード゛キリカエ
04：チエンタイマ（2→1）
[0－255（s）]
：0→■
```

```
32：ツウホウモード゛キリカエ
05：モード゛1カイシジコク
[00：00－23：59]
08：00→■_：__
```

```
32：ツウホウモード゛キリカエ
06：モード゛2カイシジコク
[00：00－23：59]
20：00→■_：__
```

```
32：ツウホウモード゛キリカエ
07：モード゛2ヨウビ
[1（Sun）－7（Sat）]
  _        _
```

```
32：ツウホウモード゛キリカエ
08：モード゛2ツキヒ
01：■  ：
02：    ：  （ 0／30）
```

通報	種別	33	通報動作設定	要素	-

概　要

システムの通報動作に関する設定をします。

設定項目

設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01 通報優先	有／無	有	通報優先の有無を設定　注1
02 外部停止ボタンセンサNo	1～XX(注2)	未設定	外部停止ボタンとするセンサNoを設定　注2
03 通報動作印刷	有／無	無	通報時、印刷の有無を設定　注3
04 一括通報	有／無	無	一括通報の有無を設定　注4
05 センサアナログ通報遅延タイマ	0～255(秒)	0(0秒)	センサ・アナログ通報の遅延時間を設定　注5

記　事

注1. 通報優先機能は、以下の通りです。
外付電話装置使用中やテレコントロール起動中に通報が発生した場合、回線を強制切断して通報動作を行います。
尚、設定が「無」の場合は、回線が開放されるまで通報保留します。

注2. 設定できるセンサNoは、IOUの実装枚数により異なります。
IOU1枚:センサNo1～ 8、41～44(アナログ入力をセンサ入力として使用時)
IOU2枚:センサNo1～16、41～48(アナログ入力をセンサ入力として使用時)
IOU3枚:センサNo1～24、41～52(アナログ入力をセンサ入力として使用時)
IOU4枚:センサNo1～32、41～56(アナログ入力をセンサ入力として使用時)

注3. 通報動作印刷機能は、以下の通りです。
通報終了時、本装置に接続したプリンタに通報履歴を印刷します。

注4. 一括通報機能は、以下の通りです。
異常信号の複数同時入力(通報遅延中の同時入力)及び保留している通報について、通報グループが同一設定(但し、通報グループ内にポケットベル通報がないこと)である通報を、一括して通報します。
通報メッセージ及びデータは以下の通りです。

「種別(30)／項目(02):通報方式」の設定	通報メッセージ及びデータ
固定音声	「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
録音音声	通報毎の録音メッセージを起動順に送出します。
MF+固定音声	「◆固定通報DTMFデータ」のページ及び上記の固定音声
MF+録音音声	または録音音声を参照願います。
DTMF	「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注5. センサ・アナログ通報遅延タイマは以下を参考に設定して下さい。

異常検出確定　→　通報開始
センサ・アナログ通報遅延タイマ

LCD表示

```
３３：ツウホウドウサセッテイ
０１：ツウホウユウセン
　→アリ
　　ナシ
```

XX:注2参照

```
３３：ツウホウドウサセッテイ
０２：ガイブテイシボタン
［１－ＸＸ］
ミセッテイ→■
```

```
３３：ツウホウドウサセッテイ
０３：ツウホウドウサインサツ
　　アリ
　→ナシ
```

```
３３：ツウホウドウサセッテイ
０４：イッカツツウホウ
　　アリ
　→ナシ
```

```
３３：ツウホウドウサセッテイ
０５：ツウホウチエンタイマ
［０－２５５（ｓ）］
：０→■
```

通報	種別	34	集音マイク	要素	01～08

概　要

本装置に接続した集音マイクの設定をします。
通報時及びテレコントロールにより集音マイクを起動し、臨場音を聴取することができます。
設定できる要素(集音マイク)NoはIOUの実装枚数により異なります。(2点／1IOU)

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	ゲイン初期値	0～3(0:小～3:大)	1	送出ゲインの初期値を設定	注1

記　事

注1. ゲイン初期値は、以下を参考に設定し、実際に集音マイクを起動して確認して下さい。

設定値	送出ゲイン
0	6dB　DOWN
1	0
2	6dB　UP
3	9dB　UP

空調機のそば等に設置しないで下さい。やむをえず設置する場合、ゲインを下げて使用して下さい。

LCD表示

nn:要素No(01～08)

```
34:シュウオンマイクnn
01:ゲ゛インショキチ
[0－3]
:1→■
```

通報	種別	35	出力接点	要素	01～16

概　要

出力接点の設定をします。
出力接点は、回線断検出時や通報時に連動及びテレコントロールにより動作します。
設定できる要素（出力接点）NoはIOUの実装枚数により異なります。（4点／1IOU）

設定項目

設定項目		設定内容	初期値	項目説明	
01 待機モード		メーク／ブレーク	ブレーク	待機時の接点状態を設定	注1
02 出力方式		連続／ワンショット	ワンショット	オン時の出力方式を設定	注2
03 ワンショットタイマ		1～255(x100ms)	50(5秒)	本項目(02)が「ワンショット」の場合、オンする時間を設定	
04 動作記録		有／無	有	動作時、履歴記録の有無を設定	注3
05 動作印刷		有／無	無	動作時、印刷の有無を設定	注4
06 テレコン応答	オン	フレーズNo.0～63　[MAX:16フレーズ]	未設定	テレコン操作時のメッセージを設定	
07 メッセージ	オフ	フレーズNo.0～63　[MAX:16フレーズ]	未設定		注5

記　事

注1. 待機モードの設定により、「オン」「オフ」の動作は、以下のようになります。

設定内容	オン	オフ
メーク	ブレーク	メーク
ブレーク	メーク	ブレーク

注2. 出力方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
連続	オンした場合、「オフの条件」になるまで、オンしています。（*1）
ワンショット	オンした場合、本項目(03)の設定時間経過後、オフします（*1）

「オフの条件」は、以下の通りです。
①連動において、オフタイミングになった時
②テレコントロール操作において、「オフ」のサービス番号を受信した時
*1. オフする前に通報停止ボタンまたは外部停止ボタンを押すと強制的に接点をオフします。
（ただし、テレコントロール操作にてオンした場合は、オフしません。）

注3. 動作記録機能は、以下の通りです。
接点動作（オン／オフ）する毎に、本装置に履歴として記録します。（最新100件）

注4. 動作印刷機能は、以下の通りです。
接点動作（オン／オフ）する毎に、本装置に接続したプリンタに動作履歴を印刷します。

注5. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。
テレコン応答メッセージ機能は、以下の通りです。
テレコントロール起動中に以下の操作をした場合、送出するメッセージです。
①「出力接点オン」／「出力接点オフ」のサービス番号を受信した時
②各接点状態確認のサービス番号を受信した時

LCD表示

nn：要素No（01～16）

```
35：シュツリョクセッテンnn
01：タイキモート゛
  メーク
→フ゛レーク
```

```
35：シュツリョクセッテンnn
02：シュツリョクホウシキ
  レンソ゛ク
→ワンショット
```

```
35：シュツリョクセッテンnn
03：ワンショットタイマ
[1－255(x100ms)]
：50→■
```

```
35：シュツリョクセッテンnn
04：ト゛ウサキロク
→アリ
  ナシ
```

```
35：シュツリョクセッテンnn
05：ト゛ウサインサツ
  アリ
→ナシ
```

```
35：シュツリョクセッテンnn
06：オンメッセーシ゛
[0－63]　(0／16)
：■　－　－　－
```

```
35：シュツリョクセッテンnn
07：オフメッセーシ゛
[0－63]　(0／16)
：■　－　－　－
```

通報	種別	36	センサ入力(1/2)	要素	01～32

概　要

各センサ入力の設定をします。
設定できる要素(センサ入力)NoはIOUの実装枚数により異なります。(8点/1IOU)

設定項目

	設定項目			設定内容	初期値	項目説明
01	異常モード			ﾒｰｸ/ﾌﾞﾚｰｸ/ﾊﾟﾙｽ積算/時間積算	メーク	異常モードを設定　注1
02	検出タイマ			5～30000(x10ms)	30(0.3秒)	検出時間を設定
03	通報起動条件			異常時/異常復旧時	異常時	本項目(01)が「ﾒｰｸ」「ﾌﾞﾚｰｸ」の場合、通報起動条件を設定　注2
04	通報内容			積算値/異常通報	積算値	本項目(01)が「ﾊﾟﾙｽ/時間積算」の場合、固定音声/固定データ通報時の通報内容を設定　注3
05	異常積算値			1～65534(回又はx10秒)	65534	本項目(01)が「ﾊﾟﾙｽ/時間積算」の場合、異常とする積算値を設定　注4
06	定時通報時積算値クリア			有/無	有	本項目(01)が「ﾊﾟﾙｽ/時間積算」の場合、定時状態通報時に積算値クリアの有無を設定
07	モード1通報			有/無	無	モード1における通報の有無を設定　注5
08	モード2通報			有/無	無	モード2における通報の有無を設定　注5
09	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定　注6
10	通報データ	DTMF	異常	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定
11			復旧	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	注7
12		ポケットベル	異常	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
13			復旧	0～9,*,#,A～D,P　[MAX:32桁]	未設定	
14		録音メッセージ	異常	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63　[MAX:16ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定
15			復旧	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63　[MAX:16ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	注8
16	動作記録			有/無	有	動作時、履歴記録の有無を設定　注9
17	動作印刷			有/無	無	動作時、印刷の有無を設定　注10
18	臨場音聴取			有/無	無	臨場音聴取の有無を設定　注11

記　事

注1. 異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
メーク	「メーク」した場合、異常とします。
ブレーク	「ブレーク」した場合、異常とします。
パルス積算	「メーク」した回数を積算し、設定した積算値(回)で異常とします。
時間積算	「メーク」している時間を10秒単位で積算し、設定した積算値(x10秒)で異常とします。

注2. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復旧時	異常時及び復旧時に通報します。

注3. 本項目は「種別(30)/項目(02):通報方式」が以下の場合、有効となります。

①「固定音声」「MF+固定音声」の時(固定音声通報)

②「DTMF」「MF+固定音声」「MF+録音音声」でかつ「本項目(10):通報データDTMF異常時」が「未設定」の時(固定DTMF通報)

通報内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
積算値	積算値(最大5桁:1～65534)を通報します。
異常通報	積算値になったこと(異常)を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

LCD表示

nn:要素No(01～32)

```
36:センサINnn
01:イジョウモード
 →メーク
  ブレーク
  パルスセキサン
  ジカンセキサン
```

```
36:センサINnn
02:ケンシュツタイマ
 [5-30000(x10ms)]
 :30→■
```

```
36:センサINnn
03:ツウホウジョウケン
 →イジョウジ
  イジョウ・フッキュウジ
```

```
36:センサINnn
04:ツウホウナイヨウ
 →セキサンチ
  イジョウツウホウ
```

```
36:センサINnn
05:イジョウセキサンチ
[1-65534]
:65534→■
```

```
36:センサINnn
06:セキサンチクリア
 →アリ
  ナシ
```

通報	種別	36	センサ入力(2/2)	要素	01～32

記事

注4. 積算値は、65535でオーバーフローとなり、積算できなくなりますので、定期的に積算値はクリアして下さい。積算値をクリアする方法は、以下の通りです。
①定時状態通報完了時にクリアする。「本項目(05):定時通報時積算値クリア」
②テレコントロールにおいて、「積算値クリア」のサービス番号でクリアする。
③キーボードメンテナンスの「積算値クリア」の操作でクリアする。

注5. 本項目の設定を「有」にすることで、各モードで通報起動(検出)します。
設定が「無」の場合、通報起動(検出)しません。

注6. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。

注7. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注8. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

注9. 動作記録機能は、以下の通りです。
センサ動作(メーク／ブレーク)する毎に、本装置に履歴として記録します。(最新100件)

注10. 動作印刷機能は、以下の通りです。
センサ動作(メーク／ブレーク)する毎に、本装置に接続したプリンタに動作履歴を印刷します。

注11. 本項目及び「種別(30)／項目(13):臨場御聴取」が「有」の場合、通報時の臨場御聴取が可能となります。

LCD表示

```
36:センサ:Nnn
07:モード 1ツウホウ
 アリ
→ナシ
```

```
36:センサ:Nnn
08:モード 2ツウホウ
 アリ
→ナシ
```

```
36:センサ:Nnn
09:ツウホウグループ
[0－32]
:1→■
```

```
36:センサ:Nnn
10:DTMFイジョウ
■
```

```
36:センサ:Nnn
11:DTMFフッキュウ
■
```

```
36:センサ:Nnn
12:Pベルイジョウ
■
```

```
36:センサ:Nnn
13:Pベルフッキュウ
■
```

```
36:センサ:Nnn
14:ロクオンイジョウ
[0－63] (0/16)
:■ － － －
```

```
36:センサ:Nnn
15:ロクオンフッキュウ
[0－63] (0/16)
:■ － － －
```

```
36:センサ:Nnn
16:ドウサキロク
 アリ
→ナシ
```

```
36:センサ:Nnn
17:ドウサインサツ
→アリ
 ナシ
```

```
36:センサ:Nnn
18:リンジョウオン
 アリ
→ナシ
```

通報	種別	37	アナログ入力(1／3)	要素	01～16

概　要

アナログ入力(センサ入力として使用可)の設定をします。
注意:アナログ入力とセンサ入力の切替えは、ソフト設定(本種別の設定)とハード設定(IOUユニットの設定)が必要です。
　　ハード設定については、工事説明書を参照願います。
設定できる要素(アナログ入力)NoはIOUの実装枚数により異なります。(4点／1IOU)

設定項目

No	設定項目			設定内容	初期値	項目説明	
01	端子用途			センサ／アナログ	センサ	端子用途を設定	

「本項目(01):端子用途」が「センサ」の場合、項目(02)以降の設定は、「種別(36):センサ入力／項目(01)～(18)」と同一となります。
「アナログ」の場合、項目(02)以降の設定は、以下のようになります。

No	設定項目			設定内容	初期値	項目説明	
02	異常モード			しきい値／積算値	しきい値	異常モードを設定	注1
03	検出タイマ			5～30000(x10ms)	30(0.3秒)	検出時間を設定	
04	通報内容			アナログ値／異常通報	異常通報	本項目(02)が「しきい値」の場合、通報内容を設定	注2
05	しきい値1(HH)			1～99(%)	未設定	しきい値1を設定	注3
06	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定	注4
07	通報	ポケット	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
08	データ	ベル	復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
09		録音	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
10		メッセージ	復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注5
11	しきい値2(H)			1～99(%)	未設定	しきい値2を設定	注3
12	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定	注4
13	通報	ポケット	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
14	データ	ベル	復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
15		録音	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
16		メッセージ	復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注5
17	しきい値3(L)			1～100(%)	未設定	しきい値3を設定	注3
18	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定	注4
19	通報	ポケット	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
20	データ	ベル	復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
21		録音	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
22		メッセージ	復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注5
23	しきい値4(LL)			1～100(%)	未設定	しきい値4を設定	注3
24	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定	注4
25	通報	ポケット	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
26	データ	ベル	復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
27		録音	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
28		メッセージ	復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注5
29	しきい値5(断線)			1～100(%)	20%	しきい値5を設定	注3
30	通報起動条件			異常時／異常復旧時	異常時	通報起動条件を設定	注4
31	通報	ポケット	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
32	データ	ベル	復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
33		録音	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
34		メッセージ	復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注5
35	通報内容			積算値／異常通報	積算値	本項目(02)が「積算値」の場合、通報内容を設定	注6
36	異常積算値			1～16777214	16777214	異常とする積算値を設定	注7
37	積算時間間隔			1～255(分)	10(10分)	積算する時間間隔を設定	
38	定時通報時積算値クリア			有／無	有	定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定	
39	通報	DTMF		0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定	注8
40	データ	ポケットベル		0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
41	(積算値)	録音メッセージ		フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	注5
42	モード1通報			有／無	無	モード1における通報の有無を設定	注9
43	モード2通報			有／無	無	モード2における通報の有無を設定	注9
44	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定	注10
45	定時記録			有／無	無	定時間隔で履歴記録の有無を設定	注11
46	定時印刷			有／無	無	定時間隔で印刷の有無を設定	注12
47	臨場音聴取			有／無	無	臨場音聴取の有無を設定	注13

通報	種別	37	アナログ入力(2／3)	要素	01～16

記事

注1. 異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
しきい値	アナログ値が設定したしきい値(5値)を超えた場合、異常とします。(＊1)
積算値	アナログ値を積算し、設定した異常積算値で異常とします。

＊1. 実装されているIOUのバージョンが「V1. 1」の場合、設定できるしきい値は、1値(しきい値2または3のどちらか一方)のみとなりますのでご注意願います。

各しきい値の異常モードは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
しきい値1(HH)	アナログ値が設定したしきい値より上がった場合、異常とします。
しきい値2(H)	アナログ値が設定したしきい値より上がった場合、異常とします。
しきい値3(L)	アナログ値が設定したしきい値より下がった場合、異常とします。
しきい値4(LL)	アナログ値が設定したしきい値より下がった場合、異常とします。
しきい値5(断線)	アナログ値が設定したしきい値より下がった場合、異常とします。

注2. 本項目は「種別(30)／項目(02):通報方式」が以下の場合、有効となります。
①「固定音声」「MF＋固定音声」の時(固定音声通報)
②「DTMF」「MF＋固定音声」「MF＋録音音声」でかつ「本項目(10):通報データDTMF異常時」が「未設定」の時(固定DTMF通報)
また、「アナログ値」の場合、上記①②で送出するアナログ値の単位が異なります。

通報内容は、以下の通りです。

設定内容	上記設定	内容説明
アナログ値	①	アナログ値%(最大3桁:1～100)を通報します。
	②	アナログ値(最大3桁:0～255)を通報します。
異常通報	①②	しきい値になったこと(異常)を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注3. しきい値は、アナログ入力電圧5Vに対する%を設定します。
例:「しきい値1を4Vに設定する」場合、80%と設定します。

注4. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復旧時	異常時及び復旧時に通報します。

注5. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

注6. 本項目は「種別(30)／項目(02):通報方式」が以下の場合、有効となります。
①「固定音声」「MF＋固定音声」の時(固定音声通報)
②「DTMF」「MF＋固定音声」「MF＋録音音声」でかつ「本項目(10):通報データDTMF異常時」が「未設定」の時(固定DTMF通報)

通報内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
積算値	積算値(最大8桁:1～16777214)を通報します。
異常通報	積算値になったこと(異常)を通報します。

固定メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注7. 積算値は、16777215でオーバーフローとなり、積算できなくなりますので、定期的に積算値はクリアして下さい。積算値をクリアする方法は、以下の通りです。
①定時状態通報完了時にクリアする。「本項目(38):定時通報時積算値クリア」
②テレコントロールにおいて、「積算値クリア」の操作でクリアする。
③キーボードメンテナンスでクリアする。
また、本項目を設定する場合、「←」で■を移動して設定してください。

LCD表示

nn:要素No(01～16)

```
37:アナログ INnn
01:タンシヨウト
 センサ
 →アナログ
```

```
37:アナログ INnn
02:イジョウモード
 →シキイチ
 セキサンチ
```

```
37:アナログ INnn
03:ケンシュツタイマ
[5-30000(x10ms)]
:30→■
```

```
37:アナログ INnn
04:ツウホウナイヨウ
 アナログチ
 →イジョウツウホウ
```

しきい値1(項目05～10)の場合

```
37:アナログ INnn
05:シキイチ1(HH)
[1-99(%)]
ミセッテイ→■
```

```
37:アナログ INnn
06:ツウホウジョウケン1
 →イジョウジ
 イジョウ・フッキュウジ
```

```
37:アナログ INnn
07:Pベルイジョウ1
■
```

```
37:アナログ INnn
08:Pベルフッキュウ1
■
```

```
37:アナログ INnn
09:ロクオンイジョウ1
[0-63] (0/16)
:■ - - -
```

```
37:アナログ INnn
10:ロクオンフッキュウ1
[0-63] (0/16)
:■ - - -
```

項目(11)～(34)は、項目(05)～(10)と内容同等

```
37:アナログ INnn
35:ツウホウナイヨウ
 →セキサンチ
 イジョウツウホウ
```

```
37:アナログ INnn
36:イジョウセキサンチ
[1-16777214]
:16777214■
```

```
37:アナログ INnn
37:セキサンカンカク
[1-255(m)]
:10→
```

通報	種別	37	アナログ入力(3／3)	要素	01～16

記　事

注8. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[＃]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注9. 本項目の設定を「有」にすることで、各モードで通報起動(検出)します。
設定が「無」の場合、通報起動(検出)しません。

注10. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。

注11. 定時記録機能は、以下の通りです。
「種別(38):アナログ入力定時記録･印刷」で設定した時間間隔で、アナログ端子の状態を本装置に履歴として記録します。(最新100件)

注12. 定時印刷機能は、以下の通りです。
「種別(38):アナログ入力定時記録･印刷」で設定した時間間隔で、アナログ端子の状態を本装置に接続したプリンタに印刷します。

注13. 本項目及び「種別(30)／項目(13):臨場御聴取」が「有」の場合、通報時の臨場御聴取が可能となります。

LCD表示

```
37:アナログ゛ INnn
38:セキサンチクリア
 →アリ
  ナシ
```

```
37:アナログ゛ INnn
39:DTMFセキサン
```

```
37:アナログ゛ INnn
40:Pベ゛ルセキサン
```

```
37:アナログ゛ INnn
41:ロクオンセキサン
[0-63] (0／16)
 ■  -  -  -
```

```
37:アナログ゛ INnn
42:モート゛1ツウホウ
  アリ
 →ナシ
```

```
37:アナログ゛ INnn
43:モート゛2ツウホウ
  アリ
 →ナシ
```

```
37:アナログ゛ INnn
44:ツウホウク゛ループ゛
[1-32]
 1→■
```

```
37:アナログ゛ INnn
45:テイシ゛キロク
  アリ
 →ナシ
```

```
37:アナログ゛ INnn
46:テイシ゛インサツ
  アリ
 →ナシ
```

```
37:アナログ゛ INnn
47:リンシ゛ョウオン
  アリ
 →ナシ
```

通報	種別	38	アナログ入力定時記録・印刷時間	要素	－

概　要

アナログ入力の定時記録・印刷時間の設定をします。
「種別(37)：アナログ入力／項目(45)：定時記録及び項目(46)：定時印刷」の設定を「有」にした場合、本種別で設定した時間間隔で記録及び印刷します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	時間間隔	1～14400(分)	60(60分)	時間間隔を設定	注1
02	開始時刻	00:00～23:59	00:00	開始時刻を設定	注1

記　事

注1. 設定を行い運用状態とした後に、キーボードメンテナンス機能を実行すると時間間隔はリセットされ再度開始時刻になるまで定時記録及び印刷を行いません。
キーボードメンテナンス機能を実行した場合は開始時刻を再設定してください。

LCD表示

```
38：テイシ゛キロク・インサツ
01：シ゛カンカンカク
[1－14400 (m)]
：60→■
```

```
38：テイシ゛キロク・インサツ
02：カイシシ゛コク
[00：00－23：59]
00：00→■_：__
```

通報	種別	40	AND通報(1/2)	要素	01～05

概　要

AND通報の設定をします。最大5グループ設定できます。
センサ入力・アナログ入力の複数入力(MAX:5入力)を、検出して通報します。異常/復旧検出方法は、以下の通りです。
・異常検出:設定した全ての端子が異常となった時
・復旧検出:設定した端子のうち1端子でも復旧した時

設定項目

	設定項目			設定内容	初期値	項目説明	
01	端子No			01～XX(センサ) (注1) #01～#XX(アナログ) #01～#XX+しきい値No.1～5 [MAX:5端子]	未設定	ANDするセンサ・アナログNoを設定	注1
02	通報起動条件			異常時/異常・復旧時	異常時	通報起動条件を設定	注2
03	モード1通報			有/無	無	モード1における通報の有無を設定	注3
04	モード2通報			有/無	無	モード2における通報の有無を設定	注3
05	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定	注4
06	通報データ	DTMF	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定	
07			復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		注5
08		ポケットベル	異常	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
09			復旧	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
10		録音メッセージ	異常	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
11			復旧	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注6

記　事

注1. 設定は、以下を参考に設定して下さい。
　設定可能な端子は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
センサNo	各異常モードの異常/復旧
アナログNo	アナログ端子の異常モードが「積算値」の場合の異常/復旧
アナログNo+しきい値	アナログ端子の異常モードが「しきい値」の場合、設定したしきい値の異常/復旧

　センサ/アナログ積算端子の復旧については、積算値をクリアした時点とします。
　積算値のクリアについては、「種別(36):センサ入力」「種別(37):アナログ入力」を参照願います。
　設定可能なセンサ・アナログNoは、IOUの実装枚数により異なります。
　なお、アナログNo設定時は、Noの前に#を入力して下さい。
　IOU1枚:センサNo01～08、41～44(アナログ入力をセンサ入力として使用時)
　　アナログNo#01～#04
　IOU2枚:センサNo01～16、41～48(アナログ入力をセンサ入力として使用時)
　　アナログNo#01～#08
　IOU3枚:センサNo1～24、41～52(アナログ入力をセンサ入力として使用時)
　　アナログNo#01～#12
　IOU4枚:センサNo1～32、41～56(アナログ入力をセンサ入力として使用時)
　　アナログNo#01～#16

注2. 通報起動条件は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
異常時	異常時のみ通報します。
異常復旧時	異常時及び復旧時に通報します。

注3. 本項目の設定を「有」にすることで、各モードで通報起動(検出)します。
　設定が「無」の場合、通報起動(検出)しません。

注4. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。

注5. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。
　尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
　固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

LCD表示

nn:要素No(01～05)

```
40:ANDツウホウnn
01:タンシNo
 →1:
  2:          (0/5)
```

```
40:ANDツウホウnn
02:ツウホウシ゛ョウケン
 →イシ゛ョウシ゛
  イシ゛ョウ・フッキュウシ゛
```

```
40:ANDツウホウnn
03:モート゛1ツウホウ
  アリ
 →ナシ
```

```
40:ANDツウホウnn
04:モート゛2ツウホウ
  アリ
 →ナシ
```

```
40:ANDツウホウnn
05:ツウホウク゛ルーフ゛
[1-32]
:1→■
```

```
40:ANDツウホウnn
06:DTMFイシ゛ョウ
■
```

```
40:ANDツウホウnn
07:DTMFフッキュウ
■
```

```
40:ANDツウホウnn
08:Pヘ゛ルイシ゛ョウ
■
```

通報	種別	40	AND通報(2/2)	要素	01~05

記　事

注6. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
40:ANDツウホウnn
09:Pベルフッキュウ
■
```

```
40:ANDツウホウnn
10:ロクオンイジョウ
[0-63] (0/16)
:■　－　－　－
```

```
40:ANDツウホウnn
11:ロクオンフッキュウ
[0-63] (0/16)
:■　－　－　－
```

通報	種別	41	定時通報	要素	・ー

概要

定時通報の設定をします。
本種別の設定により、本装置の点検を定期的に行うことができます。(但し、接続されているセンサ等の点検はできません)

設定項目

	設定項目		設定内容	初期値	項目説明	
01	通報動作		有／無	無	通報動作の有無を設定	
02	通報方式		定時刻／定時間隔	定時刻	通報方式を設定	注1
03	通報時刻1		00:00～23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定	注2
04	通報時刻2		00:00～23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定	注2
05	通報時刻3		00:00～23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定	注2
06	定時間間隔		10～14400(分)	1440(24時間)	本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間間隔を設定	注3
07	通報開始時刻		00:00～23:59	10:00	本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定	注3
08	通報グループNo		1～32	1	通報グループNoを設定	注4
09	通報データ	DTMF	0～9､*､#､A～D､P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定	注5
10		ポケットベル	0～9､*､#､A～D､P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
11		録音メッセージ	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	注6

記事

注1. 通報方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
定時刻	毎日、設定した時刻に通報します。
定時間隔	開始時刻より、設定した時間間隔で通報します。

注2. 通報時刻1、2、3は、重複しないように設定して下さい。

注3. 設定を行い運用状態とした後に、キーボードメンテナンス機能を実行すると時間間隔はリセットされ再度開始時刻になるまで定時間隔通報を行いません。
キーボードメンテナンス機能を実行した場合は開始時刻を再設定してください。

注4. 「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
「種別(31)／項目(01):モード1 通報先No」
「種別(31)／項目(01):モード2 通報先No」

注5. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注6. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
41:テイジ ツウホウ
01:ツウホウドウサ
 アリ
→ナシ
```

```
41:テイジ ツウホウ
02:ツウホウホウシキ
→テイジ コク
 テイジ カンカク
```

```
41:テイジ ツウホウ
03:ツウホウジ コク1
[00:00-23:59]
ミセッテイ→■_:__
```

```
41:テイジ ツウホウ
04:ツウホウジ コク2
[00:00-23:59]
ミセッテイ→■_:__
```

```
41:テイジ ツウホウ
05:ツウホウジ コク3
[00:00-23:59]
ミセッテイ→■_:__
```

```
41:テイジ ツウホウ
06:テイジ カンカンカク
[10-14400(m)]
1440→■
```

```
41:テイジ ツウホウ
07:ツウホウカイシジ コク
[00:00-23:59]
10:00→■_:__
```

```
41:テイジ ツウホウ
08:ツウホウグループ
[1-32]
1→■
```

```
41:テイジ ツウホウ
09:DTMF
■
```

```
41:テイジ ツウホウ
10:Pベル
■
```

```
41:テイジ ツウホウ
11:ロクオン
[0-63] (0/16)
:■ ー ー ー
```

通報	種別	42	定時状態通報	要素	―

概　要

定時状態通報の設定をします。
本種別の設定により、本装置に接続されているセンサ等の入力状態を定期的にモニタできます。
但し、本種別は「種別(30)／項目(02)：通報方式」が以下の場合、有効となります。
　①「固定音声」「MF＋固定音声」の時(固定音声通報)
　②「DTMF」「MF＋固定音声」「MF＋録音音声」でかつ各通報要因の通報DTMFデータが「未設定」の時(固定DTMF通報)
通報メッセージ及びデータは、以下の通りです。
　①通報メッセージについては、「◆固定通報メッセージ」のページを参照願います。
　②通報データについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	通報動作	有／無	無	通報動作の有無を設定	
02	通報方式	定時刻／定時間隔	定時刻	通報方式を設定	注1
03	通報時刻1	00:00～23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定	注2
04	通報時刻2	00:00～23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定	注2
05	通報時刻3	00:00～23:59	未設定	本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定	注2
06	定時間間隔	10～14400(分)	1440(24時間)	本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間間隔を設定	注3
07	通報開始時刻	00:00～23:59	10:00	本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定	注3
08	通報グループNo	1～32	1	通報グループNoを設定	注4

記　事

注1. 通報方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
定時刻	毎日、設定した時刻に通報します。
定時間隔	開始時刻より、設定した時間間隔で通報します。

注2. 通報時刻1、2、3は、重複しないように設定して下さい。

注3. 設定を行い運用状態とした後に、キーボードメンテナンス機能を実行すると時間間隔はリセットされ再度開始時刻になるまで定時間隔通報を行いません。
キーボードメンテナンス機能を実行した場合は開始時刻を再設定してください。

注4. 「種別(31)：通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
「種別(31)／項目(01)：モード1　通報先No」
「種別(31)／項目(01)：モード2　通報先No」

LCD表示

```
42：ジョウタイツウホウ
01：ツウホウドウサ
  アリ
 →ナシ
```

```
42：ジョウタイツウホウ
02：ツウホウホウシキ
 →テイジコク
  テイジカンカク
```

```
42：ジョウタイツウホウ
03：ツウホウジコク1
[00：00－23：59]
ミセッテイ→■_：__
```

```
42：ジョウタイツウホウ
04：ツウホウジコク2
[00：00－23：59]
ミセッテイ→■_：__
```

```
42：ジョウタイツウホウ
05：ツウホウジコク3
[00：00－23：59]
ミセッテイ→■_：__
```

```
42：ジョウタイツウホウ
06：テイジカンカンカク
[10－14400(m)]
 1440→■
```

```
42：ジョウタイツウホウ
07：ツウホウカイシジコク
[00：00－23：59]
10：00→■_：__
```

```
42：ジョウタイツウホウ
08：ツウホウグループ
[1－32]
 1→■
```

通報	種別	43	停電・復電通報	要素	・ー

概　要

停電・復電通報の設定をします。

設定項目

	設定項目			設定内容	初期値	項目説明	
01	通報動作			有／無	無	通報動作の有無を設定	
02	検出タイマ			1～1000(秒)	10(10秒)	検出時間を設定	
03	通報起動条件			停電時／停電復電時	停電時	通報起動条件を設定	注1
04	通報遅延タイマ			0～36000(秒)	0(0秒)	通報遅延時間を設定	注2
05	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定	注3
06	通報	DTMF	停電	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定	
07	データ		復電	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		注4
08		ポケット	停電	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
09		ベル	復電	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定		
10		録音	停電	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
11		メッセージ	復電	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定		注5

記　事

注1. 通報方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
停電時	停電時のみ通報します。
停電復電時	停電時及び復旧時に通報します。

注2. 通報遅延タイマは以下を参考に設定して下さい。

注3. 「種別(31)：通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
「種別(31)／項目(01)：モード1　通報先No」
「種別(31)／項目(01)：モード2　通報先No」

注4. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注5. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
43：テイ・フクデ゛ンツウホウ
01：ツウホウド゛ウサ
　アリ
→ナシ
```

```
43：テイ・フクデ゛ンツウホウ
02：ケンシュツタイマ
[1−1000(s)]
：10→■
```

```
43：テイ・フクデ゛ンツウホウ
03：ツウホウジ゛ョウケン
→テイデ゛ンジ
　テイデ゛ン・フク゛デンジ
```

```
43：テイ・フクデ゛ンツウホウ
04：ツウホウチエンタイマ
[0−3600(s)]
：0→■
```

```
43：テイ・フクデ゛ンツウホウ
05：ツウホウグ゛ループ゜
[1−32]
：1→■
```

```
43：テイ・フクデ゛ンツウホウ
06：DTMFテイデ゛ン
■
```

```
43：テイ・フクデ゛ンツウホウ
07：DTMFフク゛テン
■
```

```
43：テイ・フクデ゛ンツウホウ
08：Pベ゛ルテイデ゛ン
■
```

```
43：テイ・フクデ゛ンツウホウ
09：Pベ゛ルフク゛テン
■
```

```
43：テイ・フクデ゛ンツウホウ
10：ロクオンテイデ゛ン
[0−63](0／16)
：■　−　−　−
```

```
43：テイ・フクデ゛ンツウホウ
11：ロクオンフク゛テン
[0−63](0／16)
：■　−　−　−
```

通報	種別	44	ローバッテリー通報	要素	ー

概　要

ローバッテリー通報の設定をします。
停電等により蓄電池動作状態となった場合、蓄電池容量の低下を検出して通報します。

設定項目

	設定項目		設定内容	初期値	項目説明	
01	通報動作		有／無	無	通報動作の有無を設定	
02	検出タイマ		1～1000(秒)	10(10秒)	検出時間を設定	
03	通報遅延タイマ		0～255(秒)	0(0秒)	通報遅延時間を設定	注1
04	通報グループNo		1～32	1	通報グループNoを設定	注2
05	通報	DTMF	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定	注3
06	データ	ポケットベル	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
07		録音メッセージ	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	注4

記　事

注1. 通報遅延タイマは以下を参考に設定して下さい。

注2. 「種別(31)：通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
　モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
　一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
　「種別(31)／項目(01)：モード1　通報先No」
　「種別(31)／項目(01)：モード2　通報先No」

注3. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。
　尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
　固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注4. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
44：ローバッテリーツウホウ
01：ツウホウドウサ
　アリ
→ナシ
```

```
44：ローバッテリーツウホウ
02：ケンシュツタイマ
[1－1000(s)]
：10→■
```

```
44：ローバッテリーツウホウ
03：ツウホウチエンタイマ
[0－255(s)]
：0→■
```

```
44：ローバッテリーツウホウ
04：ツウホウグループ
[1－32]
：1→■
```

```
44：ローバッテリーツウホウ
05：DTMF
■
```

```
44：ローバッテリーツウホウ
06：Pベル
■
```

```
44：ローバッテリーツウホウ
07：ロクオン
[0－63] (0／16)
：■　－　－　－
```

通報	種別	45	蓄電池交換通報	要素	・ー

概要

蓄電池交換通報の設定をします。
蓄電池には寿命があるため、停電動作を保証するには定期的な交換が必要です。
本種別を設定することにより、設定した時期に蓄電池交換通報を行います。
通報時期は、2年後に設定して下さい。

設定項目

	設定項目		設定内容	初期値	項目説明	
01	通報動作		有／無	無	通報動作の有無を設定	
02	通報時期		00年01月01日 00:00～ 99年12月31日 23:59	未設定	通報時期を設定	
03	通報グループNo		1～32	1	通報グループNoを設定	注1
04	通報データ	DTMF	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定	注2
05		ポケットベル	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
06		録音メッセージ	フレーズNo.0～63 [MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	注3

記事

注1.「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
「種別(31)／項目(01):モード1 通報先No」
「種別(31)／項目(01):モード2 通報先No」

注2. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注3. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
01:ツウホウト゛ウサ
 アリ
 →ナシ
```

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
02:ツウホウシ゛キ
:ミセッテイ
→■_-_-_ (_:_)
```

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
03:ツウホウク゛ルーフ゜
[1-32]
 1→■
```

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
04:DTMF
■
```

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
05:Pヘ゛ル
■
```

```
45:デ゛ンチコウカンツウホウ
06:ロクオン
[0-63] (0/16)
■ - - -
```

通報	種別	46	タンパー通報	要素	ー

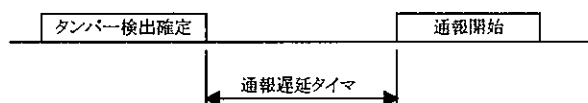
概　要

タンパー通報の設定をします。
本装置のカギがかけられている状態で外カバー扉が開いた場合、通報します。

設定項目

	設定項目		設定内容	初期値	項目説明	
01	通報動作		有／無	無	通報動作の有無を設定	
02	通報遅延タイマ		0～255(秒)	0(0秒)	通報遅延時間を設定	注1
03	通報グループNo		1～32	1	通報グループNoを設定	注2
04	通報データ	DTMF	0～9、*、#、A～D、P　[MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定	注3
05		ポケットベル	0～9、*、#、A～D、P　[MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定	
06		録音メッセージ	フレーズNo.0～63　[MAX:16フレーズ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定	注4

記　事

注1. 通報遅延タイマは以下を参考に設定して下さい。

注2. 「種別(31)：通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
「種別(31)／項目(01)：モード1　通報先No」
「種別(31)／項目(01)：モード2　通報先No」

注3. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[＃]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注4. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
46：タンパ゜ーツウホウ
01：ツウホウト゛ウサ
  アリ
 →ナシ
```

```
46：タンパ゜ーツウホウ
02：ツウホウチエンタイマ
[0－255（s）]
：0→■
```

```
46：タンパ゜ーツウホウ
03：ツウホウク゛ルーフ゜
[1－32]
：1→■
```

```
46：タンパ゜ーツウホウ
04：DTMF
■
```

```
46：タンパ゜ーツウホウ
05：Pヘ゛ル
■
```

```
46：タンパ゜ーツウホウ
06：ロクオン
[0－63]（0／16）
：■　ー　ー　ー
```

通報	種別	47	モード切替通報	要素	・ー

概要

モード切替通報の設定をします。
通報モードが切り替わる毎に通報します。
通報モードの切替方法等については、「種別(32):通報モード切替」で設定して下さい。

設定項目

	設定項目			設定内容	初期値	項目説明
01	通報動作			有／無	無	通報動作の有無を設定
03	通報グループNo			1～32	1	通報グループNoを設定 注1
03	通報データ	DTMF	ﾓｰﾄﾞ1	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	DTMF通報時の通報データを設定
04			ﾓｰﾄﾞ2	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	注2
05		ポケットベル	ﾓｰﾄﾞ1	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	ポケットベル通報時の通報データを設定
06			ﾓｰﾄﾞ2	0～9,*,#,A～D,P [MAX:32桁]	未設定	
07		録音メッセージ	ﾓｰﾄﾞ1	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63 [MAX:16ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	録音音声通報時の通報メッセージを設定
08			ﾓｰﾄﾞ2	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63 [MAX:16ﾌﾚｰｽﾞ]	未設定	注3

記事

注1.「種別(31):通報グループ」で設定した、通報グループNoを設定して下さい。
モード1、モード2での通報起動は、設定した通報グループNoの以下の設定によります。
一方のモードに通報先Noが設定されていない場合は、そのモードでは通報起動しません。
「種別(31)／項目(01):モード1 通報先No」
「種別(31)／項目(01):モード2 通報先No」

注2. A～D及びPの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、A～D場合は[1]～[4]、Pの場合は[#]を押してください。
尚、本項目を設定しない場合、本装置の固定データを送出します。
固定DTMFデータについては、「◆固定通報DTMFデータ」のページを参照願います。

注3. メッセージが録音されているフレーズNoを設定して下さい。

LCD表示

```
47:モート゛キリカエツウホウ
01:ツウホウト゛ウサ
 アリ
→ナシ
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
02:ツウホウク゛ルーフ゜
[1-32]
:1→■
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
03:DTMF(モート゛1)
■
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
04:DTMF(モート゛2)
■
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
05:Pヘ゛ル(モート゛1)
■
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
06:Pヘ゛ル(モート゛2)
■
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
07:ロクオン(モート゛1)
[0-63] (0/16)
:■  ー  ー  ー
```

```
47:モート゛キリカエツウホウ
08:ロクオン(モート゛2)
[0-63] (0/16)
:■  ー  ー  ー
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	50	通報先Aグループ(1／2)	要素	01～03

概　要

ガイドホン機能の通報先Aグループの設定をします。

注意：通報先への発呼回数は、1回のみですので、確実に通報するために複数(最大3宛先)の通報先を設定して下さい。

通報時に屋外電話機が送出するガイダンスについては、「種別(59)：屋外電話機その他」を参照願います。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	電話番号	0～9,*,#,P,F [MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定 注1
02	応答検出方式	極性反転／タイマ／課金パルス DTMF／オーディオ信号	極性反転	相手応答の検出方式を設定 注2
03	応答タイマ	5～255(秒)	10(10秒)	本項目(02)の設定が「タイマ」の場合、応答時間を設定 注3
04	応答DTMF	0～9、*、# [1桁]	#	本項目(02)の設定が「DTMF」の場合、応答DTMFを設定
05	ID送出	有／無	無	ID送出の有無を設定 注4
06	ID方式	固定音声／録音音声 MF+固定音声／MF+録音音声 DTMF	固定音声	本項目(05)の設定が「有」の場合、ID方式を設定 注5
07	IDメッセージ	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63 [1ﾌﾚｰｽﾞ]	10(10秒)	本項目(06)の設定が「録音音声」、「MF＋録音音声」の場合、送出するフレーズNoを設定 注6
08	ID送出遅延タイマ	0～255(秒)	1(1秒)	本項目(05)の設定が「有」の場合、相手応答後からIDを送出するまでの時間を設定 注7
09	DTMF後音声メッセージ送出遅延タイマ	0～255(秒)	1(1秒)	本項目(06)の設定が「MF＋固定／録音」の場合、DTMFデータ送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定

記　事

注1. P(ポーズ)時間は、1つにつき約3秒です。

F(フラッシュ)時間は、「種別(10)／項目(06)：フラッシュ時間」で設定して下さい。

P及びFの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、Pの場合は「#」、Fの場合は「*」を押してください。

注2. 応答検出方式の設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
極性反転	回線の極性反転で応答検出します。
タイマ	ダイヤル後の時間で応答検出します。
課金パルス	回線の課金信号で応答検出します。
DTMF	通報先からの応答DTMFを受信して応答検出します。
オーディオ信号	通報先からの音声信号を受信して応答検出します。

注3. 応答タイマは、以下を参考に設定して下さい。

注4. ID送出機能は、以下の通りです。

屋外電話機からの呼出により屋内電話機または通報先が応答した場合、屋外電話機と通話状態とする前に、屋内電話機または通報先に対し本装置よりIDを送出する機能です。

LCD表示

nn:要素No(01～03)

```
50：G・ツウホウサキAnn
01：TEL No
■
```

```
50：G・ツウホウサキAnn
02：オウトウホウシキ
 →キョクセイハンテン
  タイマ
  カキンパルス
  オーディオシンゴウ
  DTMF
```

```
50：G・ツウホウサキAnn
03：オウトウタイマ
 [5－255(s)]
：10→■
```

```
50：G・ツウホウサキAnn
04：オウトウDTMF
 [0－9，*，#]
#→■
```

```
50：G・ツウホウサキAnn
05：IDソウシュツ
 →アリ
  ナシ
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	50	通報先Aグループ(2／2)	要素	01～03

記　事

注5. ID方式の設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声	本装置のID番号を固定メッセージで送出します。
録音音声	録音メッセージを送出します。
MF＋固定音声	本装置のID番号をDTMFデータで送出後、固定メッセージで送出します。
MF＋録音音声	本装置のID番号をDTMFデータで送出後、録音メッセージで送出します。
DTMF	本装置のID番号をDTMFデータで送出します。

ID番号は、「種別(01)：IDコードの項目(01)：ID番号」で設定して下さい。
録音メッセージは、「本項目(07)：IDメッセージ」で設定して下さい。

注6. メッセージが録音されているフレーズNo. を設定して下さい。

注7. ID送出遅延タイマは、以下を参考に設定して下さい。

LCD表示

```
50：G・ツウホウサキAnn
06：IDホウシキ
→コテイオンセイ
  ロクオンオンセイ
  MF＋コテイオンセイ
  MF＋ロクオンオンセイ
  DTMF
```

```
50：G・ツウホウサキAnn
07：IDメッセージ
[0－63] (0／1)
：■    ：
```

```
50：G・ツウホウサキAnn
08：IDソウシュツチエン
[0－255 (s)]
：1→■
```

```
50：G・ツウホウサキAnn
09：MF→オンセイチエン
[0－255 (s)]
：1→■
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	51	通報先Bグループ(1／2)	要素	01～03

概　要

ガイドホン機能の通報先Bグループの設定をします。
注意：通報先への発呼回数は、1回のみですので、確実に通報するために複数(最大3宛先)の通報先を設定して下さい。
通報時に屋外電話機が送出するガイダンスについては、「種別(59)：屋外電話機その他」を参照願います。

設定項目

	設定項目	設定内容		初期値	項目説明	
01	電話番号	0～9,*,#,P,F	[MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定	注1
02	応答検出方式	極性反転／タイマ／課金パルス DTMF／オーディオ信号		極性反転	相手応答の検出方式を設定	注2
03	応答タイマ	5～255(秒)		10(10秒)	本項目(02)の設定が「タイマ」の場合、応答時間を設定	注3
04	応答DTMF	0～9、*、#	[1桁]	#	本項目(02)の設定が「DTMF」の場合、応答DTMFを設定	
05	ID送出	有／無		無	ID送出の有無を設定	注4
06	ID方式	固定音声／録音音声 MF+固定音声／MF+録音音声 DTMF		固定音声	本項目(05)の設定が「有」の場合、ID方式を設定	注5
07	IDメッセージ	ﾌﾚｰｽﾞNo.0～63	[1ﾌﾚｰｽﾞ]	10(10秒)	本項目(06)の設定が「録音音声」、「MF＋録音音声」の場合、 送出するフレーズNoを設定	注6
08	ID送出遅延タイマ	0～255(秒)		1(1秒)	本項目(05)の設定が「有」の場合、 相手応答後からIDを送出するまでの時間を設定	注7
09	DTMF後音声メッセージ送出遅延タイマ	0～255(秒)		1(1秒)	本項目(06)の設定が「MF＋固定／録音」の場合、DTMF データ送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定	

記　事

注1. P(ポーズ)時間は、1つにつき約3秒です。
F(フラッシュ)時間は、「種別(10)／項目(06)：フラッシュ時間」で設定して下さい。
P及びFの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、Pの場合は「#」、Fの場合は「*」を押してください。

注2. 応答検出方式の設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
極性反転	回線の極性反転で応答検出します。
タイマ	ダイヤル後の時間で応答検出します。
課金パルス	回線の課金信号で応答検出します。
DTMF	通報先からの応答DTMFを受信して応答検出します。
オーディオ信号	通報先からの音声信号を受信して応答検出します。

注3. 応答タイマは、以下を参考に設定して下さい。

注4. ID送出機能は、以下の通りです。
屋外電話機からの呼出により屋内電話機または通報先が応答した場合、屋外電話機と通話状態とする前に、屋内電話機または通報先に対し本装置よりIDを送出する機能です。

LCD表示

nn：要素No(01～03)

```
51：G・ツウホウサキBnn
01：TEL No
■
```

```
51：G・ツウホウサキBnn
02：オウトウホウシキ
 →キョクセイハンテン
  タイマ
  カキンパ゛ルス
  オーディオシンゴ゛ウ
  DTMF
```

```
51：G・ツウホウサキBnn
03：オウトウタイマ
[5－255(s)]
10→■
```

```
51：G・ツウホウサキBnn
04：オウトウDTMF
[0－9，*，#]
#→■
```

```
51：G・ツウホウサキBnn
05：IDソウシュツ
 →アリ
  ナシ
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	51	通報先Bグループ(2／2)	要素	01～03

記　事

注5. ID方式の設定内容は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
固定音声	本装置のID番号を固定メッセージで送出します。
録音音声	本装置のID番号を録音メッセージを送出します。
MF＋固定音声	本装置のID番号をDTMFデータで送出後、固定メッセージで送出します。
MF＋録音音声	本装置のID番号をDTMFデータで送出後、録音メッセージで送出します。
DTMF	本装置のID番号をDTMFデータで送出します。

ID番号は、「種別(01):IDコードの項目(01):ID番号」で設定して下さい。
録音メッセージは、「本項目(07):IDメッセージ」で設定して下さい。

注6. メッセージが録音されているフレーズNo. を設定して下さい。

注7. ID送出遅延タイマは、以下を参考に設定して下さい。

ID送出
相手応答検出
応答後ID送出遅延タイマ

LCD表示

```
51：G・ツウホウサキBnn
06：IDホウシキ
 →コテイオンセイ
  ロクオンオンセイ
  MF＋コテイオンセイ
  MF＋ロクオンオンセイ
  DTMF
```

```
51：G・ツウホウサキBnn
07：IDメッセージ
[0－63]（0／1）
：■
```

```
51：G・ツウホウサキBnn
08：IDソウシュツチエン
[0－255（s）]
：1→■
```

```
51：G・ツウホウサキBnn
09：MF→オンセイチエン
[0－255（s）]
：1→■
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	52	呼出モード切替	要素	・ー

概　要

ガイドホンの呼出モード（インターホン／Aグループ／Bグループ）の切替方式を設定します。

注意：エレベータホン機能と併用する場合の呼出モードの状態表示は、エレベータホンの呼出しモードとなり、ガイドホンの呼出モードは状態表示されませんのでご注意下さい。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	切替方式	ボタン／タイマ	ボタン	切替方式を設定	注1

記　事

注1．切替方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
ボタン	本装置のモード切替ボタンの2秒押下および屋内電話機のモード切替スイッチで切替えます。
タイマ	設定した時間または曜日または月日で切り替えます。

タイマは、「種別（53）：Aグループタイマ」及び「種別（54）：Bグループタイマ」で設定して下さい。
なお、上記種別で設定した時間、曜日、月日以外の場合は、インターホンモードとなります。

LCD表示

```
52：G・モート゛キリカエ
01：キリカエホウシキ
 →ホ゛タン
  タイマ
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	53	Aグループタイマ	要素	ー

概　要

通報先Aグループとする時間、曜日、月日を設定します。
「種別(52):呼出モード切替／項目(01):切替方式」の設定が「タイマ」の場合、設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	時間	(00:00～23:59)～ (00:00～23:59)	未設定	Aグループの時間を設定 注1
02	曜日(毎週)	1～7(1:日～7:土)　[MAX:6日]	未設定	Aグループの曜日を設定 注1
03	月日(毎年)	1月1日～12月31日　[MAX:30日]	未設定	Aグループの月日を設定 注1

記　事

注1. 本種別及び「種別(54):Bグループタイマ」で設定した時間、曜日、月日以外の時間、曜日、月日はインターホンモード(屋内電話機への呼出)となります。

時間、曜日、月日を全て設定した場合、動作は以下のようになります。

設定項目	設定値	記事
時間(毎日)	12:00～13:00	
曜日(毎週)	月曜日	
月日(毎年)	4月30日～5月5日	

Aグループとなる時間、曜日、月日

「毎年4月30日～5月5日と毎週月曜日とそれ以外に日の12:00～13:00」

LCD表示

```
53:G・Aグ ループ タイマ
01:ジ カン
ミセッテイ
 →(■_:__ ー __:__)
```

```
53:G・Aグ ループ タイマ
02:ヨウビ
[1(Sun)ー7(Sat)]
      ー_______ー
```

```
53:G・Aグ ループ タイマ
03:ツキヒ
→01:    ー
 02:    ー   ( 0/30)
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	54	Bグループタイマ	要素	・ー

概　要

通報先Bグループとする時間、曜日、月日を設定します。
「種別(52)：呼出モード切替／項目(01)：切替方式」の設定が「タイマ」の場合、設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	時間	(00:00〜23:59)〜 (00:00〜23:59)	未設定	Bグループの時間を設定　注1
02	曜日(毎週)	1〜7(1:日〜7:土)　[MAX:6日]	未設定	Bグループの曜日を設定　注1
03	月日(毎年)	1月1日〜12月31日　[MAX:30日]	未設定	Bグループの月日を設定　注1

記　事

注1. 本種別及び「種別(53)：Aグループタイマ」で設定した時間、曜日、月日以外の時間、曜日、月日はインターホンモード(屋内電話機への呼出)となります。

時間、曜日、月日を全て設定した場合、動作は以下のようになります。

設定項目	設定値	記事
時間(毎日)	18:00〜08:00	
曜日(毎週)	土、日	
月日(毎年)	12月30日〜1月3日	

Bグループとなる時間、曜日、月日

「毎年12月30日〜1月3日と毎週土、日曜日とそれ以外に日の18:00〜08:00」

LCD表示

```
54:G・Bク゛ルーフ゜タイマ
01:シ゛カン
ミセッテイ
→(＿＿:＿＿ー＿＿:＿＿)
```

```
54:G・Bク゛ルーフ゜タイマ
02:ヨウヒ゛
[1(Sun)ー7(Sat)]
＿＿＿ー＿＿＿
```

```
54:G・Bク゛ルーフ゜タイマ
03:ツキヒ゛
→01:　ー
 02:　ー　(0/30)
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	55	ガイドホン通話監視	要素	ー

概　要

ガイドホン通話中の通話時間監視機能を設定します。
本種別を設定すると、ガイドホン通話時間の監視を行い、設定した時間を経過すると終了予告音「ピーピー…」を送出し30秒後に通話を切断します。尚、終了予告音送出中に以下の操作をすると長時間通話監視タイマをリスタート（通話延長）します。

①屋外電話機の呼出ボタンを押した時
②通報先よりDTMF信号「4」または「#」を受信した時

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	長時間通話監視	有／無	無	通話時間監視機能の有無を設定
02	長時間通話監視タイマ	1～255(分)	5(5分)	本項目(01)の設定が「有」の場合、監視時間を設定

記　事

LCD表示

```
55：G・ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝﾂｳﾜ
01：ﾂｳﾜｶﾝｼ
  ｱﾘ
 →ﾅｼ
```

```
55：G・ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝﾂｳﾜ
02：ﾂｳﾜｶﾝｼﾀｲﾏ
[0－255 (m)]
：5→■
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	56	インターホン機能	要素	―

概　要

インターホン機能の設定をします。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	ガイドホン自動切替	有／無	無	ガイドホン自動切替の有無を設定　注1
02	ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ自動切替ﾀｲﾏ	10～255(秒)	30(30秒)	本項目(01)の設定が「有」の場合、自動切替時間を設定
03	呼出方式	音声／ベル	音声	屋内電話機から屋外電話機を呼出す場合の呼出方式を設定　注2

記　事

注1. ガイドホン自動切替機能は、以下の通りです。

インターホンモード時、屋外電話機より屋内電話機を呼出しても応答しない場合、設定した時間経過後、ガイドホンモードに切替わりAグループの通報先に通報します。Aグループに通報先が設定されていない場合は、Bグループに通報します。

なお、Aグループ及びBグループの設定は、以下の種別で設定してください。

・「種別(50)：通報先Aグループ」「種別(51)：通報先Bグループ」

注2. 呼出方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
音声	屋内電話機の呼出しボタン押下すると屋外電話機が「ピンポーン」を送出後、屋内から屋外の片通話となります。
ベル	屋内電話機の呼出しボタン押下すると屋外電話機が鳴動します。

LCD表示

```
56：G・インターホンキノウ
01：ジドウキリカエ
　アリ
→ナシ
```

```
56：G・インターホンキノウ
02：ジドウキリカエタイマ
[10－255(s)]
30→■
```

```
56：G・インターホンキノウ
03：ヨビダシホウシキ
→オンセイ
　ベル
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	57	屋内電話機	要素	01～02

概　要

屋内電話機の設定をします。
本装置に接続している屋内電話機は、本種別を設定することにより使用できます。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	屋内電話機接続	有／無	無	屋内電話機接続の有無を設定	注1

記　事

注1. 接続した屋内電話機No（要素No）のみ、「有」に設定して下さい。

LCD表示

nn：要素No（01～02）

```
57：G・オクナイデ゛ンワnn
01：デ゛ンワキセツゾ゛ク
  アリ
 →ナシ
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	58	屋外電話機	要素	01～08

概　要

屋外電話機の設定をします。
本装置に接続している屋外電話機は、本種別を設定することにより使用できます。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	屋外電話機接続	有／無	無	屋外電話機接続の有無を設定	注1
02	グルーピング	両方/屋内電話機1/屋内電話機2	両方	グルーピングを設定	注2

記　事

注1. 接続した屋外電話機No(要素No)のみ、「有」に設定して下さい。

注2. グルーピング機能は、以下の通りです。
インターホンモードにおいて、屋外電話機の呼出しボタンを押下した場合、設定した屋内電話機を呼出します。
グルーピングは、以下の通りです。

設定内容	内容説明
両方	屋内電話機1、2を同時に呼出します。
屋内電話機1	屋内電話機1のみ呼出します。
屋内電話機2	屋内電話機2のみ呼出します。

LCD表示

nn:要素No(01～08)

```
58:G・オクガ゛イデ゛ンワnn
01:デ゛ンワキセツゾ゛ク
  アリ
 →ナシ
```

```
58:G・オクガ゛イデ゛ンワnn
02:グ゛ルーピング゛
  オクナイデ゛ンワキ1
  オクナイデ゛ンワキ2
 →リョウホウ
```

ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	種別	59	屋外電話機その他設定	要素	―

概　要

全屋外電話機に関するその他の設定をします。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	呼出ﾎﾞﾀﾝ押下待ちﾀｲﾏ	60～255秒	60(60秒)	オフフック後、呼出ボタンを押下するまでの待ち時間を設定	注1
02	ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ繰返ﾎﾟｰｽﾞﾀｲﾏ	0～255秒	1(1秒)	屋外電話機が送出するガイダンスの繰返ポーズ時間を設定	注2

記　事

注1. オフフック後、設定時間経過した場合、他の屋外電話機が使用可能になります。

注2. 送出ガイダンスは、以下の通りです。

電話機操作	送出ガイダンス	記　事
オフフック時	ご使用になっている電話機の呼出ボタンを押してください	連続送出
呼出ボタン押下各宛先通報時	ただ今連絡しております。受話器を持ったまましばらくお待ち下さい	1フレーズ送出
全宛先不応答時	ただ今回線が込み合っています。もう一度電話機の呼出ボタンを押してください	連続送出
使用中ﾗﾝﾌﾟ点灯中のｵﾌﾌｯｸ時	ただ今使用中です。受話器をもとに戻し使用中ランプが消えてからおかけ直し下さい。	連続送出

ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ繰返ﾎﾟｰｽﾞﾀｲﾏは、以下を参考に設定して下さい。
尚、ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ繰返ﾎﾟｰｽﾞﾀｲﾏは、連続送出のガイダンスに適用されます。

LCD表示

```
59:G・オクガ イソノタ
01:ボタンオウカマチタイマ
[60-255(s)]
:60→■
```

```
59:G・オクガ イソノタ
02:ガイダンスポーズ
[0-255(s)]
:1→■
```

エレベータ	種別	60	通報先Aグループ	要素	01～03

概要

エレベータホン機能の通報先Aグループの設定をします。
注意：通報先への発呼回数は、1回のみですので、確実に通報するために複数（最大3宛先）の通報先を設定して下さい。
通報時にかご内インターホンから送出するガイダンスについては、「種別(65)：通報方式」を参照願います。

設定項目

	設定項目	設定内容		初期値	項目説明	
01	電話番号	0～9,*,#,P,F	[MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定	注1
02	応答DTMF	0～9、*、#	[1桁]	5	応答検出するDTMFを設定	注2

記事

注1. P(ポーズ)時間は、1つにつき約3秒です。
F(フラッシュ)時間は、「種別(10)／項目(06)：フラッシュ時間」で設定して下さい。
P及びFの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、Pの場合は「#」、Fの場合は「*」を押してください。

注2. 応答検出は、「応答DTMF」固定ですので必ず設定して下さい。

LCD表示

nn：要素No(01～03)

```
60：E・ツウホウサキAnn
01：TEL No
■
```

```
60：E・ツウホウサキAnn
02：オウトウDTMF
[0－9,*,#]
5→■
```

エレベータ	種別	61	通報先Bグループ	要素	01～03

概 要

エレベータホン機能の通報先Bグループの設定をします。
注意：通報先への発呼回数は、1回のみですので、確実に通報するために複数（最大3宛先）の通報先を設定して下さい。
通報時にかご内インターホンから送出するガイダンスについては、「種別(65)：通報方式」を参照願います。

設定項目

	設定項目	設定内容		初期値	項目説明	
01	電話番号	0～9、*、#、P、F	[MAX:32桁]	未設定	通報先の電話番号を設定	注1
02	応答DTMF	0～9、*、#	[1桁]	5	応答検出するDTMFを設定	注2

記 事

注1. P(ポーズ)時間は、1つにつき約3秒です。
F(フラッシュ)時間は、「種別(10)／項目(06)：フラッシュ時間」で設定して下さい。
P及びFの設定は、「インターホン」ボタンを押した後、Pの場合は「#」、Fの場合は「*」を押してください。

注2. 応答検出は、「応答DTMF」固定ですので必ず設定して下さい。

LCD表示

nn：要素No(01～03)

```
61：E・ツウホウサキBnn
01：TEL No
■
```

```
61：E・ツウホウサキBnn
02：オウトウDTMF
[0－9, *, #]
5→■
```

エレベータ	種別	62	呼出モード切替	要素	ー

概　要

エレベータホンの呼出モード(インターホン／Aグループ／Bグループ)の切替方式を設定します。
なお、ガイドホン機能と併用する場合の呼出モードの状態表示は、エレベータホンの呼出しモードとなります。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	切替方式	ボタン／タイマ	ボタン	切替方式を設定	注1

記　事

注1. 切替方式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
ボタン	本装置のモード切替ボタンの2秒押下及びエレベータホン切替スイッチで切替えます。(＊1) モード切替ボタンとエレベータホン切替スイッチでは、後押しが有効となります。
タイマ	設定した時間または曜日または月日で切替えます。

＊1. エレベータホン切替スイッチによる切替えは、インターホンとAグループとなります。
エレベータホン切替スイッチを接続する端子は、工事説明書を参照願います。
エレベータホン切替スイッチによる切替えは、エレベータホン切替スイッチ端子の状態により以下のようになります。

エレベータホン切替スイッチ端子	呼出モード
メーク	インターホン
ブレーク	Aグループ

タイマは、「種別(63):Aグループタイマ」及び「種別(64):Bグループタイマ」で設定して下さい。
なお、上記種別で設定した時間、曜日、月日以外の場合は、インターホンモードとなります。

LCD表示

```
62:E・モード キリカエ
01:キリカエホウシキ
 →ボタン
  タイマ
```

エレベータ	種別	63	Aグループタイマ	要素	―

概　要

通報先Aグループとする時間、曜日、月日を設定します。
「種別(62):呼出モード切替／項目(01):切替方式」の設定が「タイマ」の場合、設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	時間	(00:00～23:59)～ (00:00～23:59)	未設定	Aグループの時間を設定 注1
02	曜日(毎週)	1～7(1:日～7:土)　[MAX:6日]	未設定	Aグループの曜日を設定 注1
03	月日(毎年)	1月1日～12月31日　[MAX:30日]	未設定	Aグループの月日を設定 注1

記　事

注1. 本種別及び「種別(64):Bグループタイマ」で設定した時間、曜日、月日以外の時間、曜日、月日はインターホンモード(インターホン親機への呼出)となります。

時間、曜日、月日を全て設定した場合、動作は以下のようになります。

設定項目	設定値	記事
時間(毎日)	12:00～13:00	
曜日(毎週)	月曜日	
月日(毎年)	4月30日～5月5日	

Aグループとなる時間、曜日、月日

「毎年4月30日～5月5日と毎週月曜日とそれ以外に日の12:00～13:00」

LCD表示

```
63:E・Aグループタイマ
01:ジカン
ミセッテイ
 →(■_:__―__:__)
```

```
63:E・Aグループタイマ
02:ヨウビ
[1(Sun)―7(Sat)]
      ―______―
```

```
63:E・Aグループタイマ
03:ツキヒ
→01:   ―
 02:   ―    ( 0/30)
```

エレベータ	種別	64	Bグループタイマ	要素	―

概　要

通報先Bグループとする時間、曜日、月日を設定します。
「種別(62)：呼出モード切替／項目(01)：切替方式」の設定が「タイマ」の場合、設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	時間	(00:00～23:59)～ (00:00～23:59)	未設定	Bグループの時間を設定　注1
02	曜日(毎週)	1～7(1:日～7:土)　[MAX:6日]	未設定	Bグループの曜日を設定　注1
03	月日(毎年)	1月1日～12月31日　[MAX:30日]	未設定	Bグループの月日を設定　注1

記　事

注1. 本種別及び「種別(63)：Aグループタイマ」で設定した時間、曜日、月日以外の時間、曜日、月日はインターホンモード(インターホン親機への呼出)となります。

時間、曜日、月日を全て設定した場合、動作は以下のようになります。

設定項目	設定値	記事
時間(毎日)	18:00～08:00	
曜日(毎週)	土、日	
月日(毎年)	12月30日～1月3日	

Bグループとなる時間、曜日、月日

「毎年12月30日～1月3日と毎週土、日曜日とそれ以外に日の18:00～08:00」

LCD表示

```
64：E・Bグループタイマ
01：ジカン
ミセッテイ
 →(■_：__－__：__)
```

```
64：E・Bグループタイマ
02：ヨウビ
[1(Sun)－7(Sat)]
 －　　　　－
```

```
64：E・Bグループタイマ
03：ツキヒ
→01：　－
 02：　－　　(0／30)
```

エレベータ	種別	65	通報方式	要素	―

概　要

エレベータホン機能の通報方式を設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	通報ガイダンス	有／無	有	通報ガイダンスの有無を設定	注1
02	DTMF受信待ちタイマ	1～255(秒)	10(10秒)	応答後、応答DTMFの受信待ち時間を設定	注2

記　事

注1. 送出ガイダンスは、以下の通りです。

子機操作	送出ガイダンス	記　事
呼出ボタン押下 第1宛先通報時	ただ今連絡しておりますので、しばらくお待ち下さい	1フレーズ送出
第2宛先 不応答時	ただ今回線が込み合っていますので、しばらくお待ち下さい	1フレーズ送出
全宛先不応答時	ただ今回線が込み合っています。もう一度呼出ボタンを押して下さい	1フレーズ送出

注2. 設定した時間を経過した場合、回線開放します。

LCD表示

```
65：E・ツウホウホウシキ
01：ツウホウガ イダ ンス
 →アリ
  ナシ
```

```
65：E・ツウホウホウシキ
02：DTMFマチタイマ
[1－255(s)]
：10→■
```

エレベータ	種別	66	通話方式	要素	ー

概　要

エレベータホン機能の通話方式を設定します。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明	
01	通話形式	プレストーク／ハンズフリー	ハンズフリー	通話形式を設定	注1
02	受話レベル	0～7(0:小～7:大)	0	受話レベルを設定	注2
03	受話感度	0～7	3	受話感度を設定	注3
04	送話感度	0～7	3	送話感度を設定	注3
05	長時間通話監視タイマ	1～255(分)	6(6分)	通話監視時間を設定	注4

記　事

注1. 通話形式は、以下の通りです。

設定内容	内容説明
プレストーク	DTMF[3]を受信すると、かご内の音声をセンターに送出します。 DTMF[2]を受信すると、センターからの音声がかご内に送出されます。 (プレストークに設定した場合、本状態から通話を開始します。)
ハンズフリー	DTMF[9]を受信すると、センターとかご内で相互通話ができます。

注2. 受話レベルは、以下を参考に設定し、実際に通話して確認して下さい。

設定値	ゲイン
0	0
1	2dB UP
2	4dB UP
3	6dB UP
4	8dB UP
5	10dB UP
6	12dB UP
7	14dB UP

注3. 受話感度、送話感度は、実際に通話して音声の頭切れ等が発生した場合、調整してください。

①かご内からの送話音が頭切れする場合

送話感度を上げるか、受話感度を下げることにより改善されます。

②かご内への受話音が頭切れする場合

受話レベルのゲインをUP側に調整することにより改善されます。

頭切れが改善されない場合は、送話感度を下げるか、受話感度を上げることにより改善されます。

受話／送話感度

設定値	感度
0	DOWN
1	↑
2	
3	0
4	
5	
6	↓
7	UP

注4. 設定した時間を経過すると終了予告音「ピーピー…」を送出し30秒後に通話を切断します。

尚、終了予告音送出中に以下の操作をすると長時間通話監視タイマをリスタート(通話延長)します。

①通報先よりDTMF信号「4」または「＃」を受信した時

LCD表示

```
66：E・ツウワホウシキ
01：ツウワケイシキ
  プ゚レストーク
 →ハンズ゛フリー
```

```
66：E・ツウワホウシキ
02：ジ゛ュワレベ゛ル
[0−7]
：0→■
```

```
66：E・ツウワホウシキ
03：ジ゛ュワカント゛
[0−7]
：3→■
```

```
66：E・ツウワホウシキ
04：ソウワカント゛
[0−7]
：3→■
```

```
66：E・ツウワホウシキ
05：ツウワカンシタイマ
[1−255(m)]
：6→■
```

エレベータ	種別	67	子機設定	要素	ー

概　要

エレベータインターホン子機の設定をします。
注意：子機設定は、ソフト設定（本種別の設定）とハード設定（EVUユニットの設定）が必要です。
ハード設定については、工事説明書を参照願います。

設定項目

	設定項目	設定内容	初期値	項目説明
01	子機タイプ	TE型／EZ型	TE型	子機タイプを設定 注1
02	呼出ボタン押下検出タイマ	5～6000(x10ms)	500(5秒)	呼出ボタンの押下検出時間を設定

記　事

注1. 接続したエレベータインターホン子機タイプを設定してください。

LCD表示

```
67：E・コキセッテイ
01：コキタイプ
 →TE
  EZ
```

```
67：E・コキセッテイ
02：オウカケンシュツタイマ
[5－6000 (x10ms)]
:500→■
```

■参考資料

◆ノーマル設定一覧表

ノーマル設定は、以下のシステムデータを順番に表示します。要素のあるものは、要素の数だけ項目を繰り返します。

機能		種別	要素		設定項目			項目説明	ページ
システム	01	IDコード	—	01	ID番号			本装置のID番号を設定	25
				02	IDメッセージ			ID番号の代わりに送出するメッセージを設定	
回線	10	NCU機能	—	01	ダイヤルモード			ダイヤルモード（10／20pps、DTMF）を設定	28
通報	30	通報先	01～16	01	電話番号			通報先の電話番号を設定	36
				02	通報方式			通報方式を設定	
	31	通報グループ	01～05	01	モード1　通報先No			モード1の通報先No（最大8宛先）を設定	38
				05	モード2　通報先No			モード2の通報先No（最大8宛先）を設定	
	36	センサ入力	01～nn	03	通報起動条件			通報起動条件を設定	44
			（注1）	07	モード1通報			モード1における通報の有無を設定	
				08	モード2通報			モード2における通報の有無を設定	
				09	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				10	通報データ	DTMF	異常	DTMF通報時の通報データを設定	
				11			復旧		
				12		ポケットベル	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				13			復旧		
				14		録音メッセージ	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				15			復旧		
	37	アナログ入力（センサ入力）（注2）	（41～nn）（注2）	04	通報起動条件			通報起動条件を設定	46
				08	モード1通報			モード1における通報の有無を設定	
				09	モード2通報			モード2における通報の有無を設定	
				10	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				11	通報データ	DTMF	異常	DTMF通報時の通報データを設定	
				12			復旧		
				13		ポケットベル	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				14			復旧		
				15		録音メッセージ	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				16			復旧		

注1. 要素数は、IOUの実装枚数により異なります。
　IOU1枚：No. 01～08　IOU2枚：No. 09～16　IOU3枚：No. 17～24　IOU4枚：No. 25～32

注2. 「種別（37）：アナログ入力／項目（01）：端子用途」の設定が「センサ」の場合のみ表示します。（初期値：「センサ」）
　要素数は、IOUの実装枚数により異なります。
　IOU1枚：No. 41～44　IOU2枚：No. 45～48　IOU3枚：No. 49～52　IOU4枚：No. 53～56
　尚、「アナログ」の場合は、ダイレクト設定で設定して下さい。

◆ダイレクト設定一覧表(1／6)　白ヌキ数字は、ノーマル設定で設定可能な項目です。

機能	種別		要素	設定項目		項目説明	ページ
システム	01	IDコード	−	01	ID番号	本装置のID番号を設定	25
				02	IDメッセージ	ID番号の変わりに送出するメッセージを設定	
	02	メッセージ録音条件	−	01	サンプリングレート	サンプリングレートを設定	26
				02	サイレントリムーブ	サイレントリムーブ機能の有無を設定	
				03	しきい値	本項目(02)が「有」の場合、しきい値を設定	
	03	回線断機能	−	01	回線断警報音	検出時、警報音送出の有無を設定	27
				02	出力接点連動	検出時、出力接点連動の有無を設定	
				03	接点No	本項目(02)が「有」の場合、連動させる出力接点No. を設定	
				04	動作印刷	検出時、印刷の有無を設定	
	10	NCU機能	−	01	ダイヤルモード	ダイヤルモード(10／20pps、DTMF)を設定	28
				02	DT検出	DT(ダイヤルトーン)検出の有無を設定	
				03	DT検出タイマ	本項目(02)が「有」の場合、DT検出時間を設定	
				04	極性反転検出タイマ	極性反転の検出時間を設定	
				05	BT・H&D検出	BT(ビジートーン)及び通報中のH&D検出の有無を設定	
				06	フラッシュ時間	ダイヤルとして設定するF(フラッシュ)時間を設定	
				07	回線開放タイマ	前宛先通報終了から次宛先へ通報するまでの時間を設定	
	11	アンサ信号	−	01	検出周波数	検出周波数を設定	29
				02	有効時間(Min)	有効時間の最小値を設定	
				03	有効時間(Max)	有効時間の最大値を設定	
	12	エンド信号	−	01	エンド信号待ちタイマ	通報DTMFデータ送出後、エンド信号の受信待ち時間を設定	30
				02	検出周波数	検出周波数を設定	
				03	有効時間(Min)	有効時間の最小値を設定	
				04	有効時間(Max)	有効時間の最大値を設定	
	13	DTMFデータ	−	01	DTMF送出タイマ	送出時間を設定	31
				02	DTMF休止タイマ	休止時間を設定	
				03	DTMF送出レベル	送出レベルを設定	
				04	アンサ信号後DTMF送出遅延タイマ	アンサ信号受信後、DTMFデータを送出するまでの時間を設定	
自動応答	20	自動応答	−	01	自動応答機能	自動応答機能の有無を設定	32
				02	自動応答条件	自動応答する条件を設定	
				03	自動応答の設定時間	本項目(02)が「設定時間」の場合、自動応答可能とする時間帯を設定	
				04	自動応答タイマ	自動応答するまでの時間を設定	
				05	自動応答DTMF	自動応答DTMFを設定	
				06	自動応答メッセージ方式	自動応答時、送出するメッセージの方式を設定	
				07	自動応答メッセージ(録音)	本項目(06)が「録音音声」の場合、送出するメッセージを設定	
				08	端子状態通知	端子状態通知機能の有無を設定	
	21	暗証番号	−	01	暗証番号オンラインメンテナンス	オンラインメンテナンスを起動する暗証番号を設定	33
				02	暗証番号テレコン 音声制御	音声によるテレコンを起動する暗証番号を設定	
				03	センタ制御	センタ装置によるテレコンを起動する暗証番号を設定	
				04	エレベータ制御	エレベータホンのテレコンを起動する暗証番号を設定	
				08	暗証番号再入力回数	暗証番号の再入力可能な回数を設定	
				09	暗証番号受信待ちタイマ	自動応答後、暗証番号の受信待ち時間を設定	
	22	テレコントロール	−	01	サービス番号待ちタイマ	1つのサービス番号の受信可能な時間を設定	34
				08	子機番号受信待ちタイマ	暗証番号受信後、子機番号の受信可能な時間を設定	
				09	屋外電話機呼出タイマ	ガイドホン屋外電話機の呼出時間を設定	
	23	オンラインメンテナンス	−	01	コマンド待ちタイマ	1つのコマンドの受信待ち時間を設定	35

◆ダイレクト設定一覧表(2／6)

機能	種別	要素	設定項目			項目説明	ページ
	30 通報先	01～32	01	電話番号		通報先の電話番号を設定	36
			02	通報方式		通報方式を設定	
			03	応答検出方式		本項目(02)が「DTMF」以外の場合、相手応答の検出方式を設定	
			04	応答タイマ		本項目(03)が「タイマ」の場合、応答時間を設定	
			05	応答DTMF		本項目(03)が「DTMF」の場合、応答DTMFを設定	
			06	応答後音声メッセージ送出遅延タイマ		本項目(02)が「固定／録音音声」の場合、相手応答後から通報メッセージを送出するまでの時間を設定	
			07	音声メッセージ送出タイマ		通報メッセージの送出時間を設定	
			08	音声メッセージ繰返ポーズタイマ		通報メッセージを繰り返し時のメッセージ間のポーズ時間を設定	
			09	応答後ポケベルデータ送出遅延タイマ		本項目(02)が「ポケットベル」の場合、相手応答後から通報メッセージを送出するまでの時間を設定	
			10	DTMF後音声メッセージ送出遅延タイマ		本項目(02)が「MF＋固定／録音」の場合、DTMFデータ送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定	
			11	通報確認		本項目(02)が「DTMF」「ポケットベル」以外の場合、設定可。通報時、通報確認機能の有無を設定	
			12	通報確認DTMF		本項目(11)が「有」の場合、設定可。受信するDTMF信号を設定	
			13	臨場音聴取		本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。通報時、臨場音聴取機能の有無を設定	
			14	臨場音聴取マイク番号		本項目(13)が「有」の場合、聴取するマイクNoを設定	
			15	臨場音聴取監視タイマ		本項目(13)が「有」の場合、聴取する時間を設定	
			16	テレコン起動		本項目(02)が「ポケットベル」以外の場合、設定可。通報時、テレコン起動の有無を設定します。	
			17	テレコン制御方式		本項目(16)が「有」の場合、制御方式を設定	
	31 通報グループ	01～32	01	モード1	通報先No	モード1の通報先No(最大8宛先)を設定	38
			02		通報完了条件	モード1での通報終了条件を設定	
			03		特定宛先	本項目(02)が「特定宛先」の場合、特定宛先の通報先Noを設定	
			04		発呼回数	発呼する回数を設定	
			05	モード2	通報先No	モード2の通報先No(最大8宛先)を設定	
			06		通報完了条件	モード2での通報終了条件を設定	
			07		特定宛先	本項目(05)が「特定宛先」の場合、特定宛先の通報先Noを設定	
			08		発呼回数	発呼する回数を設定	
			09	出力接点連動		接点連動の有無を設定	
			10	接点連動1	接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動1の出力接点Noを設定	
			11		オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
			12		オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
			13	接点連動2	接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動2の出力接点Noを設定	
			14		オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
			15		オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
			16	接点連動3	接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動3の出力接点Noを設定	
			17		オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
			18		オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
			19	接点連動4	接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動4の出力接点Noを設定	
			20		オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
			21		オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	
			22	接点連動5	接点No	本項目(09)が「有」の場合、接点連動5の出力接点Noを設定	
			23		オンタイミング	オンさせるタイミングを設定	
			24		オフタイミング	オフさせるタイミングを設定	

◆ダイレクト設定一覧表(3／6)

機能	種別	要素	設定項目	項目説明	ページ
	32 通報モード切替	−	01 切替方式	切替方式を設定	40
			02 外部スイッチセンサNo	本項目(01)が「ボタン」の場合、設定可。 外部スイッチとするセンサNoを設定	
			03 ﾓｰﾄﾞ切替遅延ﾀｲﾏ(1→2)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード1→2へ切替わるまでの時間を設定	
			04 ﾓｰﾄﾞ切替遅延ﾀｲﾏ(2→1)	本項目(01)が「ボタン」の場合、モード2→1へ切替わるまでの時間を設定	
			05 モード1開始時刻	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード1の開始時刻を設定	
			06 モード2開始時刻	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の開始時刻を設定	
			07 モード2の曜日(毎週)	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の曜日を設定	
			08 モード2の月日(毎年)	本項目(01)が「タイマ」の場合、モード2の月日を設定	
	33 通報動作設定	−	01 通報優先	通報優先の有無を設定	41
			02 外部停止ﾎﾞﾀﾝｾﾝｻNo	外部停止ボタンとするセンサNoを設定	
			03 通報動作印刷	通報時、印刷の有無を設定	
			04 一括通報	一括通報の有無を設定	
			05 ｾﾝｻｱﾅﾛｸﾞ通報遅延ﾀｲﾏ	センサ・アナログ通報の遅延時間を設定	
	34 集音マイク	01～08	01 ゲイン初期値	ゲインの初期値を設定	42
	35 出力接点	01～16	01 待機モード	待機時の接点状態を設定	43
			02 出力方式	オン時の出力方式を設定	
			03 ワンショットタイマ	本項目(02)が「ワンショット」の場合、オンする時間を設定	
			04 動作記録	動作時、履歴記録の有無を設定	
			05 動作印刷	動作時、印刷の有無を設定	
			06 テレコン応答メッセージ オン	テレコン操作時のメッセージを設定	
			07 テレコン応答メッセージ オフ		
	36 センサ入力	01～32	01 異常モード	異常モードを設定	44
			02 検出タイマ	検出時間を設定	
			03 通報起動条件	本項目(01)が「メーク」「ブレーク」の場合、通報起動条件を設定	
			04 通報内容	本項目(01)が「ﾊﾟﾙｽ／時間積算」の場合、固定音声／固定データ通報時の通報内容を設定	
			05 異常積算値	本項目(01)が「ﾊﾟﾙｽ／時間積算」の場合、異常とする積算値を設定	
			06 定時通報時積算値クリア	本項目(01)が「ﾊﾟﾙｽ／時間積算」の場合、 定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定	
			07 モード1通報	モード1における通報の有無を設定	
			08 モード2通報	モード2における通報の有無を設定	
			09 通報グループNo	通報グループNoを設定	
			10 通報データ DTMF 異常	DTMF通報時の通報データを設定	
			11 通報データ DTMF 復旧		
			12 通報データ ポケットベル 異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
			13 通報データ ポケットベル 復旧		
			14 通報データ 録音メッセージ 異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			15 通報データ 録音メッセージ 復旧		
			16 動作記録	動作時、履歴記録の有無を設定	
			17 動作印刷	動作時、印刷の有無を設定	
			18 臨場音聴取	臨場音聴取の有無を設定	

◆ダイレクト設定一覧表(4/6)

機能	種別	要素	設定項目				項目説明	ページ
	37 アナログ入力(センサ入力) 注1	01〜16 (41〜56)	01	端子用途			端子用途(アナログ/センサ)を設定	46
			02	異常モード			異常モードを設定	
			03	検出タイマ			検出時間を設定	
			04	通報内容			本項目(02)が「しきい値」の場合、通報内容を設定	
			05	しきい値1(HH)			しきい値1を設定	
			06	通報起動条件			通報起動条件を設定	
			07	通報データ	ポケットベル	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
			08			復旧		
			09		録音メッセージ	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			10			復旧		
			11	しきい値2(H)			しきい値2を設定	
			12	通報起動条件			通報起動条件を設定	
			13	通報データ	ポケットベル	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
			14			復旧		
			15		録音メッセージ	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			16			復旧		
			17	しきい値3(L)			しきい値3を設定	
			18	通報起動条件			通報起動条件を設定	
			19	通報データ	ポケットベル	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
			20			復旧		
			21		録音メッセージ	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			22			復旧		
			23	しきい値4(LL)			しきい値4を設定	
			24	通報起動条件			通報起動条件を設定	
			25	通報データ	ポケットベル	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
			26			復旧		
			27		録音メッセージ	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			28			復旧		
			29	しきい値5(断線)			しきい値5を設定	
			30	通報起動条件			通報起動条件を設定	
			31	通報データ	ポケットベル	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
			32			復旧		
			33		録音メッセージ	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			34			復旧		
			35	通報内容			本項目(02)が「積算値」の場合、通報内容を設定	
			36	異常積算値			異常とする積算値を設定	
			37	積算時間間隔			積算する時間間隔を設定	
			38	定時通報時積算値クリア			定時状態通報時、積算値クリアの有無を設定	
			39	通報データ(積算値)	DTMF		DTMF通報時の通報データを設定	
			40		ポケットベル		ポケットベル通報時の通報データを設定	
			41		録音メッセージ		録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			42	モード1通報			モード1における通報の有無を設定	
			43	モード2通報			モード2における通報の有無を設定	
			44	通報グループNo			通報グループNoを設定	
			45	定時記録			定時間隔で履歴記録の有無を設定	
			46	定時印刷			定時間隔で印刷の有無を設定	
			47	臨場音聴取			臨場音聴取の有無を設定	
	38 アナログ定時印刷・記録	−	01	時間間隔			時間間隔を設定	49
			02	開始時刻			開始時刻を設定	
	40 AND通報	01〜05	01	端子No.			ANDするセンサ・アナログNo. を設定	50
			02	通報起動条件			通報起動条件を設定	
			03	モード1通報			モード1における通報の有無を設定	
			04	モード2通報			モード2における通報の有無を設定	
			05	通報グループNo			通報グループNoを設定	
			06	通報データ	DTMF	異常	DTMF通報時の通報データを設定	
			07			復旧		
			08		ポケットベル	異常	ポケットベル通報時の通報データを設定	
			09			復旧		
			10		録音メッセージ	異常	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
			11			復旧		

注1.「本項目(01):端子用途」の設定が「センサ」の場合、項目(02)以降の設定は、「種別(36):センサ入力/項目(01)〜(18)」と同一となります。

◆ダイレクト設定一覧表（5／6）

機能	種別		要素	設定項目				項目説明	ページ
	41	定時通報	—	01	通報動作			通報動作の有無を設定	52
				02	通報方式			通報方式を設定	
				03	通報時刻1			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定	
				04	通報時刻2			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定	
				05	通報時刻3			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定	
				06	定時間間隔			本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間間隔を設定	
				07	通報開始時刻			本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定	
				08	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				09	通報	DTMF		DTMF通報時の通報データを設定	
				10	データ	ポケットベル		ポケットベル通報時の通報データを設定	
				11		録音メッセージ		録音音声通報時の通報メッセージを設定	
	42	定時状態通報	—	01	通報動作			通報動作の有無を設定	53
				02	通報方式			通報方式を設定	
				03	通報時刻1			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻1を設定	
				04	通報時刻2			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻2を設定	
				05	通報時刻3			本項目(02)が「定時刻」の場合、通報時刻3を設定	
				06	定時間間隔			本項目(02)が「定時間隔」の場合、定時間間隔を設定	
				07	通報開始時刻			本項目(02)が「定時間隔」の場合、開始時刻を設定	
				08	通報グループNo			通報グループNoを設定	
	43	停電・復電通報	—	01	通報動作			通報動作の有無を設定	54
				02	検出タイマ			検出時間を設定	
				03	通報起動条件			通報起動条件を設定	
				04	通報遅延タイマ			通報遅延時間を設定	
				05	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				06	通報	DTMF	停電	DTMF通報時の通報データを設定	
				07	データ		復電		
				08		ポケット	停電	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				09		ベル	復電		
				10		録音	停電	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				11		ﾒｯｾｰｼﾞ	復電		
	44	ﾛｰﾊﾞｯﾃﾘｰ通報	—	01	通報動作			通報動作の有無を設定	55
				02	検出タイマ			検出時間を設定	
				03	通報遅延タイマ			通報遅延時間を設定	
				04	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				05	通報	DTMF		DTMF通報時の通報データを設定	
				06	データ	ポケットベル		ポケットベル通報時の通報データを設定	
				07		録音メッセージ		録音音声通報時の通報メッセージを設定	
	45	蓄電池交換通報	—	01	通報動作			通報動作の有無を設定	56
				02	通報時期			通報時期を設定	
				03	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				04	通報	DTMF		DTMF通報時の通報データを設定	
				05	データ	ポケットベル		ポケットベル通報時の通報データを設定	
				06		録音メッセージ		録音音声通報時の通報メッセージを設定	
	46	タンパー通報	—	01	通報動作			通報動作の有無を設定	57
				02	通報遅延タイマ			通報遅延時間を設定	
				03	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				04	通報	DTMF		DTMF通報時の通報データを設定	
				05	データ	ポケットベル		ポケットベル通報時の通報データを設定	
				06		録音メッセージ		録音音声通報時の通報メッセージを設定	
	47	モード切替通報	—	01	通報動作			通報動作の有無を設定	58
				03	通報グループNo			通報グループNoを設定	
				03	通報	DTMF	ﾓｰﾄﾞ1	DTMF通報時の通報データを設定	
				04	データ		ﾓｰﾄﾞ2		
				05		ポケット	ﾓｰﾄﾞ1	ポケットベル通報時の通報データを設定	
				06		ベル	ﾓｰﾄﾞ2		
				07		録音	ﾓｰﾄﾞ1	録音音声通報時の通報メッセージを設定	
				08		ﾒｯｾｰｼﾞ	ﾓｰﾄﾞ2		

◆ダイレクト設定一覧表(6/6)

機能	種別		要素	設定項目		項目説明	ページ
ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ	50	通報先Aｸﾞﾙｰﾌﾟ	01～03	01	電話番号	通報先の電話番号を設定	59
				02	応答検出方式	相手応答の検出方式を設定	
				03	応答タイマ	本項目(02)が「タイマ」の場合、応答検出する時間を設定	
				04	応答DTMF	本項目(02)が「DTMF」の場合、応答検出する時間を設定	
				05	ID送出	ID送出の有無を設定	
				06	ID方式	本項目(05)が「有」の場合、ID方式を設定	
				07	IDメッセージ	本項目(06)が「録音音声」、「MF+録音音声」の場合、送出するフレーズNoを設定	
				08	応答後ID送出遅延タイマ	本項目(05)が「有」の場合、相手応答後からIDを送出するまでの時間を設定	
				09	DTMF後音声メッセージ送出遅延タイマ	本項目(06)が「MF+固定/録音」の場合、DTMFデータ送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定	
	51	通報先Bｸﾞﾙｰﾌﾟ	01～03	01	電話番号	通報先の電話番号を設定	61
				02	応答検出方式	相手応答の検出方式を設定	
				03	応答タイマ	本項目(02)が「タイマ」の場合、応答検出する時間を設定	
				04	応答DTMF	本項目(02)が「DTMF」の場合、応答検出する時間を設定	
				05	ID送出	ID送出の有無を設定	
				06	ID方式	本項目(05)が「有」の場合、ID方式を設定	
				07	IDメッセージ	本項目(06)が「録音音声」、「MF+録音音声」の場合、送出するフレーズNoを設定	
				08	ID送出遅延タイマ	本項目(05)が「有」の場合、相手応答後からIDを送出するまでの時間を設定	
				09	DTMF後音声メッセージ送出遅延タイマ	本項目(06)が「MF+固定/録音」の場合、DTMFデータ送出終了から通報メッセージを送出するまでの時間を設定	
	52	呼出ﾓｰﾄﾞ切替	—	01	切替方式	切替方式を設定	63
	53	Aｸﾞﾙｰﾌﾟﾀｲﾏ	—	01	時間	Aグループの時間を設定	64
				02	曜日(毎週)	Aグループの曜日を設定	
				03	月日(毎年)	Aグループの月日を設定	
	54	Bｸﾞﾙｰﾌﾟﾀｲﾏ	—	01	時間	Bグループの時間を設定	65
				02	曜日(毎週)	Bグループの曜日を設定	
				03	月日(毎年)	Bグループの月日を設定	
	55	ガイドホン通話監視	—	01	長時間通話監視	通話時間監視機能の有無を設定	66
				02	長時間通話監視タイマ	本項目(01)が「有」の場合、監視時間を設定	
	56	インターホン機能	—	01	ガイドホン自動切替	ガイドホン自動切替の有無を設定	67
				02	ｶﾞｲﾄﾞﾎﾝ自動切替タイマ	本項目(01)が「有」の場合、自動切替時間を設定	
	57	屋内電話機	01～02	03	呼出方式	屋内電話機から屋外電話機を呼出す場合の呼出方式を設定	68
				01	屋内電話機接続	屋内電話機接続の有無を設定	
	58	屋外電話機	01～08	01	屋外電話機接続	屋外電話機接続の有無を設定	69
				02	グルーピング	グルーピングを設定	
	59	屋外電話機その他設定	—	01	呼出ボタン押下待ちタイマ	オフフック後、呼出ボタンを押下するまでの待ち時間を設定	70
				02	ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ繰返ﾎﾟｰｽﾞﾀｲﾏ	オフフック後、送出するガイダンスの繰返ポーズ時間を設定	
ｴﾚﾍﾞｰﾀﾎﾝ	60	通報先Aｸﾞﾙｰﾌﾟ	01～03	01	電話番号	通報先の電話番号を設定	71
				02	応答DTMF	応答検出するDTMFを設定	
	61	通報先Bｸﾞﾙｰﾌﾟ	01～03	01	電話番号	通報先の電話番号を設定	72
				02	応答DTMF	応答検出するDTMFを設定	
	62	呼出ﾓｰﾄﾞ切替	—	01	切替方式	切替方式を設定	73
	63	Aｸﾞﾙｰﾌﾟﾀｲﾏ	—	01	時間	Aグループの時間を設定	74
				02	曜日(毎週)	Aグループの曜日を設定	
				03	月日(毎年)	Aグループの月日を設定	
	64	Bｸﾞﾙｰﾌﾟﾀｲﾏ	—	01	時間	Bグループの時間を設定	75
				02	曜日(毎週)	Bグループの曜日を設定	
				03	月日(毎年)	Bグループの月日を設定	
	65	通報方式	—	01	通報ガイダンス	通報ガイダンスの有無を設定	76
				02	DTMF受信待ちタイマ	応答後、応答DTMFを受信するまでの時間を設定	
	66	通話方式	—	01	通話形式	通話形式を設定	77
				02	受話レベル	受話レベルを設定	
				03	受話感度	受話感度を設定	
				04	送話感度	送話感度を設定	
				05	長時間通話監視タイマ	通話監視時間を設定	
	67	子機設定	—	01	子機タイプ	子機タイプを設定	78
				02	呼出ボタン押下検出タイマ	呼出ボタンの押下検出時間を設定	

◆固定通報メッセージ

「種別(30):通報先／項目(02):通報方式」の設定が「固定音声」「MF＋固定音声」の場合は、以下のような固定メッセージを送出します。

1. 固定メッセージフォーマット

固定メッセージフォーマットは、通報形態、システムデータ設定により、以下のようになります。

No	IDコードの設定(注1)	通報形態(注2)	固定メッセージフォーマット
1	ID番号のみ設定した場合	個別通報時	「こちらはXXXXです ＋ 標準メッセージ」(注3)
2		一括通報時	「こちらはXXXXです ＋ 通報要因単位のメッセージ」(注3)(注6)
3	IDメッセージも設定した場合	個別通報時	「IDメッセージ(録音) ＋ 標準メッセージ」(注4)
4		一括通報時	「IDメッセージ(録音) ＋ 通報要因単位のメッセージ」(注4)(注6)

注1. IDコードの設定は、「種別(01):IDコード」で設定
注2. 一括通報の設定は、「種別(33):通報動作設定／項目(04):一括通報」で設定
注3. XXXX:ID番号(MAX:16桁)。「種別(01):IDコード／項目(01):ID番号」で設定
注4. IDメッセージ(録音):録音フレーズ(MAX:1フレーズ)「種別(01):IDコード／項目(02):IDメッセージ」で設定

2. 標準メッセージ

標準メッセージは、通報要因、システムデータ設定により、以下のようになります。

通報要因	異常モード(注5)	通報内容(注5)	標準メッセージ
センサ入力 01〜32 41〜56	メーク/ブレーク	—	異常時:「センサnnが異常です」 復旧時:「センサnnは異常ありません」 (nn:センサNo. 2桁固定)
	パルス積算 時間積算	異常通報	異常時:「センサnnが異常です」 (nn:センサNo. 2桁固定、(積算値):MAX5桁)
		積算値通報	異常時:「センサnnが(積算値)です」 (nn:センサNo. 2桁固定、(積算値):MAX5桁)
アナログ入力 01〜16	しきい値	異常通報	異常時:「アナログnnの(しきい値)が異常です」 但し、しきい値5(断線)については 「アナログnnが異常です」 復旧時:「アナログnnの(しきい値)は異常ありません」 但し、しきい値5(断線)については 「アナログnnは異常ありません」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(しきい値):1〜4)
		アナログ値通報	異常時:「アナログnnが(アナログ値)です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(アナログ値)%:MAX3桁)
	積算値	異常通報	異常時:「アナログnnが異常です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(積算値):MAX8桁)
		積算値通報	異常時:「アナログnnが(積算値)です」 (nn:アナログNo. 2桁固定、(積算値):MAX8桁)
定時通報	—	—	「定時通報です」
定時状態通報	—	—	次ページを参照願います。
AND通報	—	—	異常時:「センサnnが異常です」 復旧時:「センサnnは異常ありません」 (nn:センサNo. 2桁固定 71〜75)
停電・復電通報	—	—	停電時:「停電です」 復電時:「復電しました」
ローバッテリー通報	—	—	異常時:「緊急通報の2です」
蓄電池交換時期通報	—	—	異常時:「緊急通報の3です」
タンパー通報	—	—	異常時:「緊急通報の1です」
モード切替通報	—	—	モード2→1:「1を開始します」 モード1→2:「2を開始します」

注5. 各通報要因のシステムデータ設定によります。
注6. 通報要因単位のメッセージの例を、以下に記します。

「センサ01 センサ05 センサ06が異常です アナログ01の2が異常です アナログ02が5000です」

センサのメッセージ　　アナログのメッセージ

<table>
<tr><th colspan="3">通報要因</th><th colspan="2">標準メッセージ</th></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">定時状態通報</td><td colspan="2">IOUユニット正常時:「定時通報　+　(センサ状態)　+　(センサ積算値情報)
+　(アナログ状態)　+　(アナログ値またはアナログ積算値情報)」</td></tr>
<tr><td colspan="2">IOUユニット異常時:「定時通報　故障です」
(通報時に実装異常のIOUユニットが1枚でもある場合)</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td colspan="2">センサ状態</td><td>異常センサ端子　無
異常センサ端子　有</td><td>「センサ異常ありません」
「センサnn・・・センサnnが異常です」
(nn:センサNo. 2桁固定)</td></tr>
<tr><td colspan="3">センサ積算値情報
異常モード:パルス／時間積算
通報内容:積算値
の場合のみ送出</td><td>「センサnnが(積算値)・・・センサnnが(積算値)です」
(nn:センサNo, 2桁固定、(積算値):MAX5桁)</td></tr>
<tr><td colspan="2">アナログ状態</td><td>異常アナログ端子　無
異常アナログ端子　有</td><td>「アナログ異常ありません」
「アナログnnの(しきい値)・・・アナログnnの(しきい値)が異常です」
(nn:アナログNo. 2桁固定、(しきい値):1～4)
但し、積算値に設定されている端子については、しきい値は無</td></tr>
<tr><td colspan="3">アナログ値またはアナログ積算値情報
通報内容:しきい値／積算値
の場合のみ送出</td><td>「アナログnnが(アナログ値)・・・アナログnnが(積算値)です」
(nn:アナログNo. 2桁固定、(アナログ値):MAX3桁%
(積算値):MAX8桁)</td></tr>
</table>

◆固定通報ＤＴＭＦデータ

「種別(30)：通報先／項目(02)：通報方式」の設定が「DTMF」「MF＋固定音声」「MF＋録音音声」で、各通報要因の通報データが「未設定」の場合、以下のような固定DTMFデータを送出します。

1. データフォーマット

データフォーマットは、通報形態、システムデータ設定により、以下のようになります。

個別通報時

開始コード	ID番号(MAX16桁)(注1)	標準データ			終了コード
		種別コード		通報データ	
A		B			A

一括通報時(一括通報時は、固定データと設定したデータが混在する場合があります。)

開始コード	ID番号(MAX16桁)(注1)	標準データ		標準データ	終了コード
A					A

	標準データ		
	種別コード	通報データ	
標準データ	Bxx	標準データ	
設定データ	B00	設定データ桁数(2桁固定)	設定データ

注1. ID番号(MAX：16桁)は「種別(01)：IDコード／項目(01)：ID番号」で設定

2. 標準データ

標準データは、通報要因、システムデータ設定により、以下のようになります。

通報要因	異常モード(注2)	通報内容(注2)	標準データ 種別	標準データ 通報データ
センサ入力 001～032 041～056	メーク/ブレーク	―	11	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)　(注4)
	パルス積算	異常通報	12	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)
		積算値通報	13	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)＋積算値(5桁)
	時間積算	異常通報	14	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)
		積算値通報	15	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)＋積算値(5桁)
アナログ入力 001～016	しきい値	異常通報	31	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)　(注4)
		アナログ値通報	32	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)＋アナログ値(3桁)
	積算値	異常通報	33	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)
		積算値通報	34	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)＋積算値(8桁)
定時通報	―	―	71	年月日時分(10桁)
定時状態通報	―	―	72	次ページを参照願います。
AND通報 001～005	―	―	41	年月日時分(10桁)＋端子No(3桁)＋状態(2桁)　(注4)
停電通報	―	―	81	年月日時分(10桁)＋001
復電通報	―	―		年月日時分(10桁)＋002
ローバッテリー通報	―	―		年月日時分(10桁)＋003
蓄電池交換時期通報	―	―		年月日時分(10桁)＋004
タンパー通報	―	―		年月日時分(10桁)＋005
モード切替通報(2→1)	―	―		年月日時分(10桁)＋006
モード切替通報(1→2)				年月日時分(10桁)＋007
設定データ(注3)	―	―	00	設定データ桁数(2桁)＋設定データ

注2. 各通報要因のシステムデータ設定によります。

注3. 設定データは、一括通報時のみ送出される場合があります。

注4. 状態(2桁)データは、以下の通りです。

・センサ／AND状態
00：復旧(正常)
01：異常
09：実装異常(定時状態通報のみ)

・アナログ状態
00：復旧(正常)
01：異常(積算値の場合)
X0：復旧(正常)(X：しきい値1～5)
X1：異常(X：しきい値1～5)
09：実装異常(定時状態通報のみ)

定時状態通報

定時状態通報は、以下のデータフォーマットで送出します。

但し、アナログ端子及びANDグループデータは、設定されていない場合、送出しません。

A	ID番号(MAX16桁)	B 72	データ件数	センサ端子データ	----------	センサ端子データ	

種別コード	通報データ
B1X	(年月日時分以外のデータ)

	アナログ端子データ	----------	アナログ端子データ	ANDグループデータ	----------	ANDグループデータ	A

種別コード	通報データ
B3X	(年月日時分以外のデータ)

種別コード	通報データ
B41	(年月日時分以外のデータ)

◆機能概要表

通報関係機能

◆通報機能

No	機能名称		機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	センサ入力通報		端子毎に以下の3種類から選択できます	種別（36）（30）（31）	IOU
		異常・復旧通報	センサ入力状態の異常・復旧により通報する		
		パルス積算通報	センサ入力のメークした回数を積算し、積算値（1～65534回）により通報する		
		時間積算通報	センサ入力のメークしている時間(10秒単位)を積算し、積算値(10秒～約182時間)により通報する		
2	アナログ入力通報		端子毎に以下の2種類から選択できます。	種別（37）（30）（31）	
		異常・復旧通報	アナログ入力状態の異常・復旧（しきい値：5値）により通報する		
		アナログ積算通報	アナログ値を指定時間間隔（1～255分）で積算し、積算値（1～16777214）により通報する		
3	AND条件通報		複数のセンサ・アナログ入力状態のグループ異常／復旧により通報する	種別（40）（30）（31）	
4	定時通報		指定時刻（最大3時刻）または指定時間間隔（10分～10日）により通報する	種別（41）（30）（31）	
5	定時状態通報		センサ／アナログ入力状態を指定時刻(最大3時刻)または指定時間間隔(10分～10日)により通報する	種別（42）（30）（31）	IOU
6	停電・復電通報		停電発生・復旧の検知（1秒～約16分）により通報する	種別（43）（30）（31）	
7	ローバッテリー通報		本体蓄電池による動作中、蓄電池の電圧低下により通報する	種別（44）（30）（31）	
8	蓄電池交換時期通報		蓄電池の交換を設定した交換時期（年月日時分）により通報する	種別（45）（30）（31）	
9	タンパー通報		外カバー扉の異常開閉により通報する	種別（46）（30）（31）	
10	モード切替通報		通報モード1、2の切り替わりにより通報する	種別（47）（30）（31）	
11	一括通報		上記1～10の通報が同時に起動または保留した時、設定されている「通報グループ」が同じであれば一括で通報する	種別（33）	

◆通報方式選択機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	固定音声方式	固定メッセージ（登録済）で通報する	種別（30）	
2	録音音声方式	録音メッセージ（各入力毎に64フレーズ中16フレーズの組み合わせ）で通報する	種別（30）	
3	DTMF信号方式	DTMF信号（固定または設定）で通報する	種別（30）（11）（12）	
4	DTMF十固定音声方式	DTMF信号送出後、固定メッセージで通報する	種別（30）	
5	DTMF十録音音声方式	DTMF信号送出後、録音メッセージで通報する	種別（30）	
6	ポケットベル方式	ポケットベルにDTMF信号で通報する	種別（30）	

◆マンマシン機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報モード切替	モード切替ボタン、内蔵タイマまたは外付スイッチ(タイマ)により、通報モード1、2を切り替える	種別（32）	
2	通報停止	通報停止ボタンまたは外部停止ボタンにより通報をキャンセルする	種別（33）	

◆通報連動機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	出力接点制御	通報動作に連動して出力接点を制御する	種別（31）（35）	IOU
2	臨場音聴取	通報終了後、集音マイクにより臨場音を聴取する	種別（30）（36）（37）	
3	テレコントロール起動	通報終了後、テレコントロールを起動する	種別（30）	

◆履歴記録機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報動作記録	通報履歴を記録する（最大100件）		
2	センサ動作記録	センサの入力の動作（メーク／ブレーク）履歴を記録する（最大100件）	種別（36）	IOU
3	アナログ定時記録	アナログ入力の状態（アナログ値）を指定時間間隔（1分～10日）で記録する（最大100件）	種別（37）（38）	
4	出力接点動作記録	出力接点の動作（メーク／ブレーク）履歴を記録する（最大100件）	種別（35）	

◆動作／定時印刷機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	通報動作印刷	通報終了時に、通報履歴を外付けプリンタに印刷する	種別（33）	
2	センサ動作印刷	センサ入力の動作（メーク／ブレーク）時に、動作履歴を外付けプリンタに印刷する	種別（36）	IOU
3	アナログ定時印刷	アナログ入力の状態（アナログ値）を指定時間間隔（1分～10日）で外付けプリンタに印刷する	種別（37）（38）	
4	出力接点動作印刷	出力接点動作（メーク／ブレーク）時に、動作履歴を外付けプリンタに印刷する	種別（35）	

ガイドホン関係機能

◆基本機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	呼出モード切替	モード切替ボタンまたは内蔵タイマより、呼出モード（インターホンモードまたはAグループまたはBグループ）を切り替える	種別（52）	GPU
2	屋外電話機オフフック時ガイダンス	屋外電話機のオフフックにより、「ご使用になっている電話機の呼出ボタンを押して下さい。」をハンドセットから送出する	種別（58）（59）	
3	屋外電話機 使用中ランプ表示	屋外の電話機のリンク捕捉／開放により、全屋外電話機の使用中ランプを点灯／消滅する		
4	屋外電話機 使用中ガイダンス	他屋外電話機が使用中（使用中ランプ点灯中）に屋外電話機のオフフックにより、「ただ今使用中です。受話器をもとに戻し使用中ランプが消えてからおかけ直し下さい。」をスピーカーから送出する	種別（59）	
5	ガイドホン表示器	呼出電話機のリンク捕捉／開放により、ガイド表示器のランプを点灯／消灯する		

◆ガイドホンモード機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	屋外電話機 呼出ボタン押下時 ガイダンス	屋外電話機オフフック時、〈基本機能No2〉のガイダンス送出中に呼出ボタンを押すことにより、「ただ今連絡しております。受話器を持ったまましばらくお待ち下さい。」をハンドセットから送出する。	種別（59）	GPU
2	ガイドホン通報	屋外電話機オフフック時ガイダンス送出中に呼出ボタン押下により、通報する	種別（50）（51）	
3	ガイドホン通話	ガイドホン通報先と屋外電話機で通話する	種別（50）（51）	
4	長時間通話監視	ガイドホン通話中に長時間通話監視タイムアウトすると、通報先および屋外電話機に対し終話予告音［ピーピー…］を送出し、長時間通話切断タイムアウト後に回線を開放する機能。	種別（55）	
5	通話延長	終話予告音から30秒以内に屋外電話機の呼出ボタンを押すかDTMF［4］または［＃］を受信することにより、終話予告音を停止し長時間監視タイマをリスタートする		
6	回線塞による 使用中ランプ表示	通報起動などの回線使用中により、全呼出電話機の使用中ランプを点灯する		

◆インターホンモード機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	屋内電話機一斉呼出	屋外電話機オフフック時〈基本機能No2〉のガイダンス送出中に呼出ボタンを押すことにより、接続中でグルーピングした全ての屋内電話機を一斉に呼び出す	種別（57）（58）	GPU
2	屋外電話機からの インターホン通話	屋内電話機のオフフックにより、屋外電話機の着信に応答しインターホン通話する		
3	屋内電話機未応答時 ガイドホン自動切替	屋内電話機を呼出中にガイドホン自動切替タイムアウトすると、屋内電話機の呼出を停止しガイドホン通報に切り替える	種別（56）	
4	呼出電話機一斉呼出	屋内電話機オフフック後の呼出ボタン押下により、接続中でグルーピングしている全ての屋外電話機を一斉に呼び出す	種別（57）（58）	
5	屋内電話機からの インターホン通話	屋外電話機のオフフックにより、屋内電話機の着信に応答しインターホン通話する		
6	屋外電話機個別呼出	屋外電話機1はオフフック後の個別呼出ボタンを押すことにより、接続中の呼出電話機を個別に呼出す		

エレベータホン関係機能（発売予定）

◆基本機能

No	機 能 名 称	機 能 内 容	関連システムデータ	必要オプション
1	呼出モード切替	モード切替ボタンまたは内蔵タイマにより、呼出モード（インターホンモードまたはAグループまたはBグループ）を切り替える また、外付スイッチ(タイマ)により、呼出モード(インターホンまたはAグループ)を切り替える	種別（62）	EVU
2	エレベータ親子通話	エレベータ子機と親機でエレベータ親子通話をする		

◆通話機能

No	機 能 名 称	機 能 内 容	関連システムデータ	必要オプション
1	エレベータホン通報	エレベータ子機の呼出ボタンを押すことにより、エレベータホン通話先（AグループまたはBグループ）へ通報する	種別（60）（61）	EVU
2	エレベータホン通話	エレベータホン通報先と子機で通話する		
3	長時間通話監視	エレベータホン通話中に長時間通話監視タイムアウトすると、通報先に対し終話予告音［ピーピー…］を送出し、長時間通話切断タイムアウト後に回線を開放する機能。	種別（66）	
4	通話延長	終話予告音から30秒以内にDTMF［4］または［#］を受信することにより、終話予告音を停止し長時間監視タイマをリスタートする		

システム機能

◆回線断検出機能

No	機 能 名 称	機 能 内 容	関連システムデータ	必要オプション
1	回線断記録	回線断及び復旧を履歴として記録する（最大20件）		
2	回線断警報	回線断を検出することにより、警報音を鳴動する	種別（03）	
3	回線断連動接点	回線断を検出に連動して出力接点を制御する		
4	回線断動作印刷	回線断及び復旧時、動作履歴を外付けプリンタに印刷する		

◆LCD表示機能

No	機 能 名 称	機 能 内 容	関連システムデータ	必要オプション
1	カレンダー表示	現在の月日、曜日、時刻を表示する		
2	モード表示	通報モード（1または2）及び呼出モード（インターホンモードまたはAグループまたはBグループ）を表示する		
3	サービス状態表示	実行中のサービス、及びサービス状態を表示する		
	通報状態表示	通報の要因、状態、結果、保留等を表示する		
	ガイドホン通報状態表示	ガイドホン通話中であることを表示する		GPU
	インターホン通話状態表示	インターホン通話中であることを表示する		
	自動応答表示	着信に対して自動応答したことを表示する		
	テレコン状態表示	テレコン起動中であること、及びテレコン用サービス番号またはコマンド番号を表示する		
	オンラインメンテナンス状態表示	オンラインメンテナンス中であること、及びオンラインメンテナンス用コマンド番号を表示する		
	回線断表示	回線断を検出したことを表示する		
	システム一時停止表示	システム一時停止中であることを表示する		
	EEPROM異常表示	システムデータの保存に異常があったことを表示する		
	エレベータホン通報表示	エレベータホン通話中であることを表示する		EVU

◆ランプ表示機能

No	機 能 名 称	機 能 内 容	関連システムデータ	必要オプション
1	電源ランプ表示	AC電源動作中は電源ランプを点灯表示し、本体蓄電池による動作中は点滅表示する		

◆自動応答機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	自動応答	着信に対して自動応答し、「こちらは、X…Xです」＋DTMFデータ［C］（X…X：ID番号）または、録音メッセージを送出する	種別（01）（20）	
2	暗証番号受信	暗証番号［＊○○○○＃］の受信により、テレコン（音声制御）、テレコン（センター装置制御）、テレコン（エレベータホン制御）またはオンラインメンテナンスを起動する	種別（21）	
3	自動状態通知	着信に対して自動応答し、センサ入力全端子の状態を送出する	種別（20）	IOU

テレコントロール機能

注意：ICカード(A)V2.0とは、サービス番号（コマンド）が異なりますのでご注意下さい。

◆テレコン音声制御

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	テレコン（音声制御） 起動ガイダンス	テレコン（音声制御）の起動により、「サービス番号をどうぞ」を送出する	種別（21）	
2	サービス番号受信	以下のサービス番号の受信により、各サービスを実行する	種別（22）	
3	センサ情報収集 個別情報	［#11nn］（nn：センサNo.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（異常）」／「録音（復旧）」 ・nnの41～56がアナログの場合：「アナログnnです」	種別（36）	IOU
	センサ情報収集 全端子情報	［#1199］の受信により、以下の音声を送出する ・異常端子がない場合：「異常ありません」 ・異常端子がある場合：「センサnn・・・センサnnが異常です」または 「録音（異常）＋録音（異常）・・・＋センサnn・・が異常です」		
	センサ情報収集 積算値情報	［#12nn］（nn：センサNo.）の受信により以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「（積算値）」＋「異常です／異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「（積算値）」＋「録音（異常）／録音（復旧）」 ・nnの41～56がアナログの場合：「アナログnnです」　（積算値：最大5桁）		
4	アナログ情報収集 個別情報	［#21nn］（nn：アナログNo.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「異常です」／「（しきい値No）が異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（異常）」／録音（しきい値2または3の復旧）」 ・nn01～16がセンサの場合　：「センサnnです」　（しきい値No：1～4）	種別（37）	
	アナログ情報収集 全端子情報	［#2199］の受信により、以下の音声を送出する ・異常端子がない場合：「異常ありません」 ・異常端子がある場合：「アナログnnの（しきい値No）・・・＋アナログnnが異常です」または 「録音（異常）＋録音（異常）・・・＋アナログnn・・が異常です」		
	アナログ情報収集 アナログ値(積算値)情報	［#22nn］（nn：アナログNo.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「（積算値）」＋「異常です／（しきい値No）が異常です／異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「（積算値）」＋「録音（異常）／録音（しきい値2または3の復旧）」 ・nnの01～16がセンサの場合　：「センサnnです」　（積算値：最大8桁）		
5	出力接点情報収集 個別情報	［#31nn］（nn：出力接点No.）の受信により、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「オンです」／「オフです」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（オン）」／「録音（オフ）」	種別（35）	
	出力接点情報収集 全端子情報	［#3199］の受信により、以下の音声を送出する ・オン端子がない場合：「オンありません」 ・オン端子がある場合：「出力接点nn…出力接点nnがオンです」または 「録音（オン）＋録音（オン）・・・＋出力接点nn・・がオンです」		
6	出力接点制御 ON／OFF	［#41nn］（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオンし、以下の音声を送出する ［#61nn］（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオフし、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「オンしました」／「オフしました」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（オン）」／「録音（オフ）」		
7	集音マイク制御 ON／OFF ゲイン調整	［#420n］（n：マイクNo.）の受信により、「オンしました」を送出後、マイクnをオンする ［#6299］の受信により、マイクをオフし、「オフしました」を送出する 集音マイクオン中、[0](最小）～[3](最大）の受信により、マイクのゲインを制御する	種別（34）	
8	スピーカー制御 ON／OFF	［#430n］（n：スピーカーNo.）の受信により、「オンしました」を送出後、スピーカnをオンする ［#6399］の受信により、スピーカをオフし、「オフしました」を送出する		
9	屋外電話機呼出 音声／ベル	［#710n］（n：屋外電話機No.または0で一斉）の受信により、接続中の屋外電話機を個別または一斉に「ピンポーン」送出後音声で呼出す ［#711n］（n：屋外電話機No.または0で一斉）の受信により、接続中の屋外電話機を個別または一斉にベルで呼出す	種別（58）	GPU
10	時計設定 月日／時刻／曜日	［#81MMDD］（MM：月, DD：日）の受信により、月日を設定する ［#82hhmm］（hh：時, mm：分）の受信により、時分を設定する ［#83W］（W：曜日, 日(1)～土(7)）の受信により、曜日を設定する		
11	積算値クリア センサ／アナログ	［#01nn］（nn：センサNo.または99でオールクリア）の受信により、センサ積算値をクリアする ［#02nn］（nn：アナログNo.または99でオールクリア）の受信により、アナログ積算値をクリアする		IOU
12	制御方式切替 音声／センタ	［#9101］の受信により、テレコンの制御方式を音声制御に切り替える ［#9102］の受信により、テレコンの制御方式をセンタ装置制御に切り替える		
13	テレコン終了	［#9999］の受信により、回線を開放する		

◆テレコンセンタ制御

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	テレコン（センタ装置制御）起動ガイダンス	テレコン（センタ装置制御）の起動により、「コントロールを開始します」＋DTMFデータ［C］を送出する	種別（21）	
2	コマンド受信	以下のコマンドの受信により、各サービスを実行する	種別（22）	IOU
3	センサ全端子情報収集	［#1199］の受信により、全てのセンサ入力の情報を送出する	種別（36）	
4	アナログ全端子情報収集	［#2199］の受信により、全てのアナログ入力端子の情報を送出する	種別（37）	
5	出力接点全端子情報収集	［#3199］の受信により、全ての出力接点の情報を送出する	種別（35）	
6	出力接点制御 ON／OFF	［#41nn］（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオンする ［#61nn］（nn：出力接点No.）の受信により、出力接点nnをオフする		
7	積算値クリア センサ／アナログ	［#01nn］（nn：センサNo.または99でオールクリア）の受信により、センサ積算値をクリアする ［#02nn］（nn：アナログNo.または99でオールクリア）の受信により、アナログ積算値をクリアする		
8	履歴アップロード	［#5xnn］の受信により履歴データをアップロードする xは履歴種別：［1］(センサ)［2］(アナログ)［3］(出力接点)［4］(通報)［5］(回線断) nnは通知データ種別：［00］(未通知データ)［99］(全データ)		
9	制御方式切替 音声／センタ	［#9101］の受信により、テレコンの制御方式を音声制御に切り替える ［#9102］の受信により、テレコンの制御方式をセンタ装置制御に切り替える		
10	テレコン終了	［#9999］の受信により、回線を開放する		

◆テレコンエレベータホン制御

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	自動応答による エレベータホン通話	エレベータ暗証番号受話後のエレベータ子機番号の受信により、エレベータ子機と個別にエレベータホン通話をする	種別（21）	EVU
2	サービス番号受信	エレベータホン通話中の以下のサービス番号の受信により、各種サービスを実行する	種別（22）	
3	プレストーク送話	［2］の受信により、エレベータホン通話をプレストーク送話に切り替える		
4	プレストーク受話	［3］の受信により、エレベータホン通話をプレストーク受話に切り替える		
5	通話延長	［4］または［#］の受信により、エラー音を送出し、エレベータホン通話を延長する		
6	終話	［6］の受信により、3秒後に確認音「ピー」を送出し、回線を開放する		
7	一斉受話	［7］の受信により、全エレベータ子機でプレストーク受話をする		
8	再送要求	［8］の受話により、1秒後に端末情報を送出する		
9	ハンズフリー通話	［9］の受信により、3秒後に確認音「ピー」を送出し、エレベータホン通話をハンズフリー通話へ切り替える		
10	ハンズフリー 受話レベル調整	［92n］（n：0~7）の受信により、ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する		
11	ハンズフリー 受話感度調整	［93n］（n：0~7）の受信により、ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する		
12	ハンズフリー 送話感度調整	［94n］（n：0~7）の受信により、ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する		
13	テレコン切替	［1］の受信により、エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ遷移する		

保守機能

⚠注意：保守機能を実行する場合は、入力及び出力端子等が動作していないことを確認してから行って下さい。動作している場合、以下のような動作になります。
出力端子(出力接点等)が動作している場合は、保守機能実行時に接点等が待機状態(設定)に戻ります。
入力端子(センサやアナログ等)が動作している場合は、保守機能終了時に再通報します。
また、保守機能の実行中は異常通報等ができません。保守機能実行中は、通常の監視機能が作動できませんので必ず保守機能が終了するまで監視先の状態に注意して下さい。特にオンラインメンテナンスは時間がかかる場合がありますので、監視先に人が立ち会うなどして十分注意して下さい。

◆オンラインメンテナンス機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	オンラインメンテナンス起動ガイダンス	オンラインメンテナンスの起動により、「オンラインメンテナンスを開始します」+DTMFデータ〔C〕を送出する	種別（21）	
2	コマンド受信	以下のコマンドの受信により、各サービスを起動する	種別（23）	
3	システムデータ設定 アップ／ダウンロード	保守端末を使用し、システムデータをアップ／ダウンロードする		保守用FD
4	音声メッセージの制御 録音／再生／消去	［*11XX］（XX：フレーズNo.00～63）の受信により、音声メッセージの録音を行う ［*12XX］（XX：フレーズNo.00～63）の受信により、音声メッセージの再生を行う ［*13XX］（XX：フレーズNo.00～63）の受信により、音声メッセージの消去を行う		
5	コマンド待ちタイマリスタート	［*0000］の受信により、タイマをリスタートする		
6	オンラインメンテナンス終了	［*9999］の受信により、回線を開放する		

◆簡易オンラインメンテナンス機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	オンラインメンテナンス着信待機	キーボードメンテナンスでオンラインメンテナンス待ちにすることで、オンラインメンテナンスを行う		

◆オンサイトメンテナンス機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	コマンド受信	RS-232Cインタフェースより、コマンドを受信し、各サービスを起動する		保守用FD
2	システムデータ設定 アップ／ダウンロード	保守端末を使用し、システムデータをアップ／ダウンロードする		

◆キーボードメンテナンス機能

No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	メッセージ録音	キーボードの操作により、音声メッセージの録音や再生、消去をする		
2	システムデータ設定	キーボードの操作により、システムデータを設定、保存、読込、初期化する		
3	日時設定	キーボードの操作により、日付、曜日、時刻を設定、変更する		
4	端子状態表示	キーボードの操作により、センサ、アナログ端子の現在状態をLCDの表示する		IOU
5	履歴表示	キーボードの操作により、記録されている履歴をLCDに表示する		
6	プリントアウト	キーボードの操作により、履歴、システムデータを外付プリンタに印刷する		
7	オンラインメンテナンス	キーボードの操作により、オンラインメンテナンス待ち状態にする		
8	システムバージョン	キーボードの操作により、実装しているICカードのバージョンをLCDに表示する		
9	ユニットバージョン	キーボードの操作により、実装しているユニットのバージョン及び状態をLCDに表示する		
10	履歴クリア	キーボードの操作により、記録されている履歴をクリアする		
11	積算値クリア	キーボードの操作により、センサ、アナログ端子に記録されている積算値をクリアする		IOU
12	システムオールリセット	キーボードの操作により、システムデータ及び録音メッセージを全て初期化する		

◆システム一時停止機能

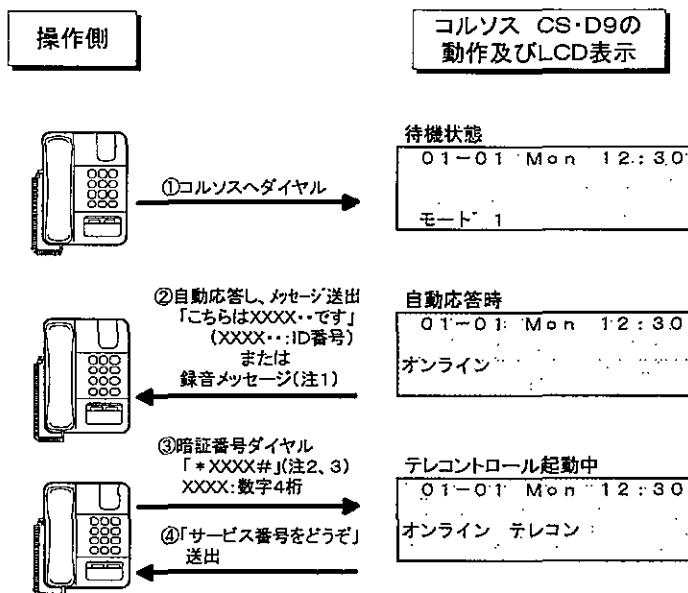
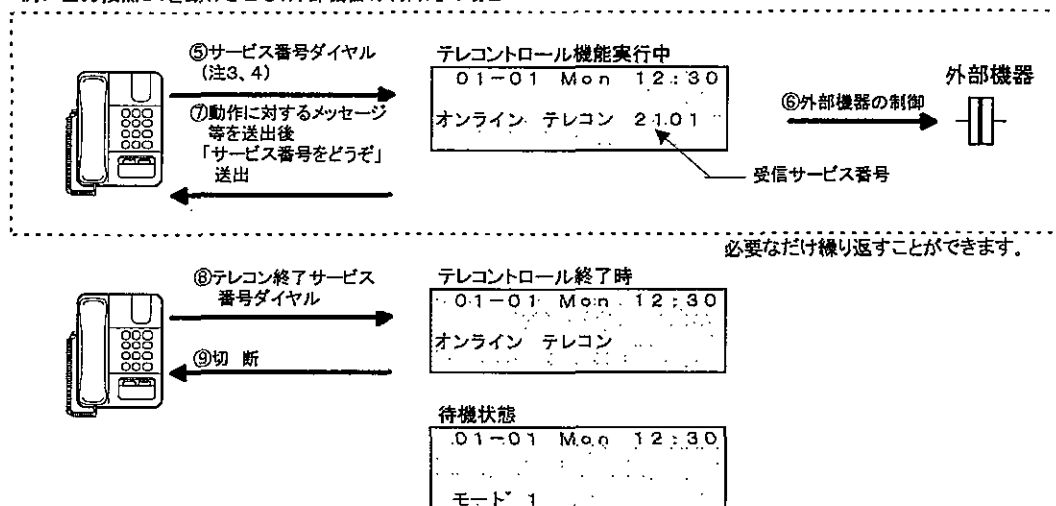
No	機能名称	機能内容	関連システムデータ	必要オプション
1	システム一時停止	設定解除ボタンの３秒連続押下のより、システムを一時的に停止する		

◆テレコントロール機能

テレコントロール機能は、電話機(DTMF(PB)信号送出可能であるもの)または専用受信機(センタ装置)から各種のサービス番号(コマンド)送出によって、遠隔操作を行う機能です。
本装置には、以下3つのテレコントロール機能があります。
どのテレコントロール機能を起動するかは、自動応答後の暗証番号(「種別(21):暗証番号」で設定)によって決まります。

①音声制御・・・・・・・・・・音声によるテレコントロール
②センタ制御・・・DTMFデータによるテレコントロール
③エレベータ本制御・・・エレベータホン専用のテレコントロール

各テレコントロールの操作方法は、以下の通りです。

①音声制御

例:「出力接点01を動作させる(外部機器の制御)」の場合

注1. 録音メッセージは、[種別(20):自動応答」で設定して下さい。
注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21):暗証番号/項目(09):暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。
注3. 誤った暗証番号やサービス番号を受信すると「ピッピッピ」というエラー音を電話機に送出します。
注4. サービス番号の受信可能な時間は、「種別(22):テレコントロール/項目(01):サービス番号待ちタイマ」で設定して下さい。

音声制御サービス番号

No	機能名称	機能内容	サービス番号
1	センサ情報収集 個別情報	指定したセンサ入力端子の状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（異常）」／「録音（復旧）」 ・ｎｎの４１～５６がｱﾅﾛｸﾞの場合：「アナログｎｎです」 ・ｎｎが外部ｽｲｯﾁや外部停止ﾎﾞﾀﾝの場合：「異常ありません／録音（復旧）」	[#１１ｎｎ] （ｎｎ：センサＮｏ）
	センサ情報収集 全端子情報	全センサ入力端子の状態を以下の音声で送出する ・異常端子がない場合：「異常ありません」 ・異常端子がある場合：「センサｎｎ・・・センサｎｎが異常です」または 「録音(異常）＋録音（異常）・・・＋センサｎｎ・・が異常です」	[#１１９９]
	センサ情報収集 積算値情報	指定したセンサ入力端子の積算値と状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「（積算値）」＋「異常です／異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「（積算値）」＋「録音（異常）／録音（復旧）」 ・ｎｎの４１～５６がｱﾅﾛｸﾞの場合：「アナログｎｎです」　（積算値：最大5桁）	[#１２ｎｎ] （ｎｎ：センサＮｏ）
2	アナログ情報収集 個別情報	指定したアナログ入力端子の状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「異常です」／「（しきい値Ｎｏが異常です」／「異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（異常）」／「録音（しきい値２または３の復旧）」 ・ｎｎの０１～１６がｾﾝｻの場合　：「センサｎｎです」　（しきい値Ｎｏ：１～４）	[#２１ｎｎ] （ｎｎ：アナログＮｏ）
	アナログ情報収集 全端子情報	全アナログ入力端子の状態を以下の音声で送出する ・異常端子がない場合：「異常ありません」 ・異常端子がある場合：「アナログｎｎの（しきい値Ｎｏ）・・・アナログｎｎが異常です」または 「録音(異常）＋録音（異常）・・・＋アナログｎｎ・・が異常です」	[#２１９９]
	アナログ情報収集 ｱﾅﾛｸﾞ値（積算値）情報	指定したアナログ入力端子の積算値と状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「ｱﾅﾛｸﾞ(積算)値」＋「異常です／mが異常です／異常ありません」 ・録音音声の設定ありの場合　：「ｱﾅﾛｸﾞ(積算)値」＋「録音（異常）／録音（しきい値２また復旧）」 ・ｎｎの０１～１６がｾﾝｻの場合　：「センサｎｎです」　（ｱﾅﾛｸﾞ値：最大3桁　積算値：最大8桁）	[#２２ｎｎ] （ｎｎ：アナログＮｏ）
3	出力接点情報収集 個別情報	指定した出力接点端子の状態を以下の音声で送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「オンです」／「オフです」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（オン）」／「録音（オフ）」	[#３１ｎｎ] （ｎｎ：出力接点Ｎｏ）
	出力接点情報収集 全端子情報	全出力接点端子の状態を以下の音声で送出する ・オン端子がない場合：「オンありません」 ・オン端子がある場合：「出力接点ｎｎ…出力接点ｎｎがオンです」または 「録音(オン）＋録音（オン）・・・＋接点ｎｎ・・がオンです」	[#３１９９]
4	出力接点制御 ＯＮ／ＯＦＦ	指定した出力接点端子をオンまたはオフし、以下の音声を送出する ・録音音声の設定なしの場合　：「オンしました」／「オフしました」 ・録音音声の設定ありの場合　：「録音（オン）」／「録音（オフ）」	オン：[#４１ｎｎ] オフ：[#６１ｎｎ] （ｎｎ：出力接点Ｎｏ）
5	集音マイク制御 ＯＮ／ＯＦＦ ゲイン調整	指定したマイクをオンまたはオフする ・オンの場合：「オンしました」を送出後、マイクをオンする ・オンの場合：マイクをオフし、「オフしました」を送出する 集音マイクＯＮ中、[０]～[３]の受信により、マイクのゲインを制御する	オン：[#４２０ｎ] オフ：[#６２９９] （ｎｎ：マイクＮｏ）
6	スピーカ制御 ＯＮ／ＯＦＦ	指定したスピーカをオンまたはオフする ・オンの場合：「オンしました」を送出後、スピーカをオンする ・オフの場合：スピーカをオフし、「オフしました」を送出する	オン：[#４３０ｎ] オフ：[#６３９９] （ｎｎ：スピーカＮｏ）
7	屋外電話機呼出 音声／ベル	・音声の場合：接続中の屋外電話機を個別または一斉に「ピンポーン」送出後音声で呼出す ・ベルの場合：接続中の屋外電話機を個別または一斉にベルで呼出す	音声：[#７１０ｎ] ベル：[#７１１ｎ] （ｎ：屋外電話機Ｎｏまたは０で一斉）
8	時計設定 月日／時刻／曜日	時計（月日／曜日／時刻）を設定し、設定完了後「ピー」を送出する	月日：[#８１mmdd] （mm：月，dd：日） 時分：[#８２hhmm] （hh：時，mm：分） 曜日：[#８３w] （w：曜日，日(1)～土(7)）
9	積算値クリア センサ／アナログ	センサ・アナログ端子の積算値をクリアし、クリア完了後「ピー」を送出する	センサ　：[#０１ｎｎ] （ｎｎ：センサＮｏまたは９９でオールクリア） アナログ：[#０２ｎｎ] （ｎｎ：アナログＮｏまたは９９でオールクリア）
10	制御方式切替 音声／センタ	テレコントロール制御方式を（音声制御／センタ制御）を切り替える 音声→センタに切替えた場合、ＤＴＭＦ[**]を送出する	センター→音声：[#９１０１] 音声→センタ：[#９１０２]
11	テレコン終了	テレコントロールを終了し、回線を開放する	[#９９９９]

②センター制御

注1. 録音メッセージは、「種別(20)：自動応答」で設定して下さい。

注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21)：暗証番号／項目(09)：暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。

注3. 誤った暗証番号やコマンドを受信すると「＃＃」(エラーコマンド)をセンター装置に送出します。

注4. コマンドの受信可能な時間は、「種別(23)：オンラインメンテナンス／項目(01)：コマンド待ちタイマ」で設定して下さい。

センタ制御コマンド

No	機能名称	機能内容	コマンド
1	センサ全端子情報収集	全センサ入力端子の状態をDTMF信号で送出する （送出データは次ページ参照）	〔#1199〕
2	アナログ全端子情報収集	全アナログ入力端子の状態をDTMF信号で送出する（送出データは次ページ参照）	〔#2199〕
3	出力接点全端子情報収集	全出力接点端子の状態をDTMF信号で送出する（送出データは次ページ参照）	〔#3199〕
4	出力接点制御 ON／OFF	指定した出力接点端子をオンまたはオフし、DTMF〔**〕を送出する	オン：〔#41nn〕 オフ：〔#61nn〕 （nn：出力接点No）
5	積算値クリア センサ／アナログ	センサ・アナログ端子の積算値をクリアし、DTMF〔**〕を送出する	センサ　：〔#01nn〕 （nn：センサNoまたは 99でオールクリア） アナログ：〔#02nn〕 （nn：アナログNoまたは 99でオールクリア）
6	履歴アップロード	履歴データをアップロードする	〔#5xnn〕 x　：履歴種別 [1]（ｾﾝｻ）　[2]（ｱﾅﾛｸﾞ） [3]（出力接点）[4]（通報） [5]（回線断） nn：通知ﾃﾞｰﾀ種別 [00]（未通知ﾃﾞｰﾀ） [99]（全ﾃﾞｰﾀ）
7	制御方式切替 音声／センタ	テレコントロール制御方式を（音声制御／センタ制御）を切り替える 音声→センタに切替えた場合、DTMF〔**〕を送出する	センター→音声：〔#9101〕 音声→センタ：〔#9102〕
8	テレコン終了	テレコントロールを終了し、回線を開放する	〔#9999〕

センタ制御送出データ

センタ制御において、情報収集コマンド([＃1199]等)を受信した場合、以下のようなDTMFデータを送出します。

1. データフォーマット

データフォーマットは、通報形態、システムデータ設定により、以下のようになります。

開始コード		------		終了コード
A	端子データ		端子データ	A

端子データ	
種別コード	情報データ
Bxx	

2. 端子データ

端子データは、受信コマンドにより、以下のようになります。

①センサ全端子情報収集[＃1199]

[＃1199]の受信により、全てのセンサ入力(アナログをセンサとして使用しているものを含む)とANDを以下の順に送出する

送出順:センサ01…センサ32……センサ41…センサ56……AND01…AND05

(センサ41～44がアナログ入力の端子やAND通報が設定されていない場合は、送出しない)

送出情報	異常モード(注1)	通報内容(注1)	端子データ 種別	端子データ 情報データ	状態(2桁)データ
センサ001～032 センサ041～056 (注2)	メーク/ブレーク	－	11	端子No(3桁)＋状態(2桁)	00:復旧(正常) 01:異常 09:実装異常
	パルス積算	異常通報	12	端子No(3桁)＋状態(2桁)	
		積算値通報	13	端子No(3桁)＋状態(2桁)＋積算値(5桁)	
	時間積算	異常通報	14	端子No(3桁)＋状態(2桁)	
		積算値通報	15	端子No(3桁)＋状態(2桁)＋積算値(5桁)	
AND001～005	－	－	41	端子No(3桁)＋状態(2桁)	

注1. 各通報要因のシステムデータ設定によります。

注2. 外部スイッチ及び外部停止ボタンとして使用している端子の状態は正常(00)を送出する。

②アナログ全端子情報収集[＃2199]

[＃2199]の受信により、全てのアナログ入力を以下の順に送出する

送出順:アナログ01…アナログ16

(アナログ01～16がセンサ入力の端子は、送出しない)

送出情報	異常モード(注1)	通報内容(注1)	端子データ 種別	端子データ 情報データ	状態(2桁)データ
[＃2199] アナログ001～016	しきい値	異常通報	31	端子No(3桁)＋状態(2桁)	00:復旧(正常) 01:異常(積算値の場合) X1:異常(X:しきい値1～5) 09:実装異常
		アナログ値通報	32	端子No(3桁)＋状態(2桁)＋アナログ値(3桁)	
	積算値	異常通報	33	端子No(3桁)＋状態(2桁)	
		積算値通報	34	端子No(3桁)＋状態(2桁)＋積算値(8桁)	

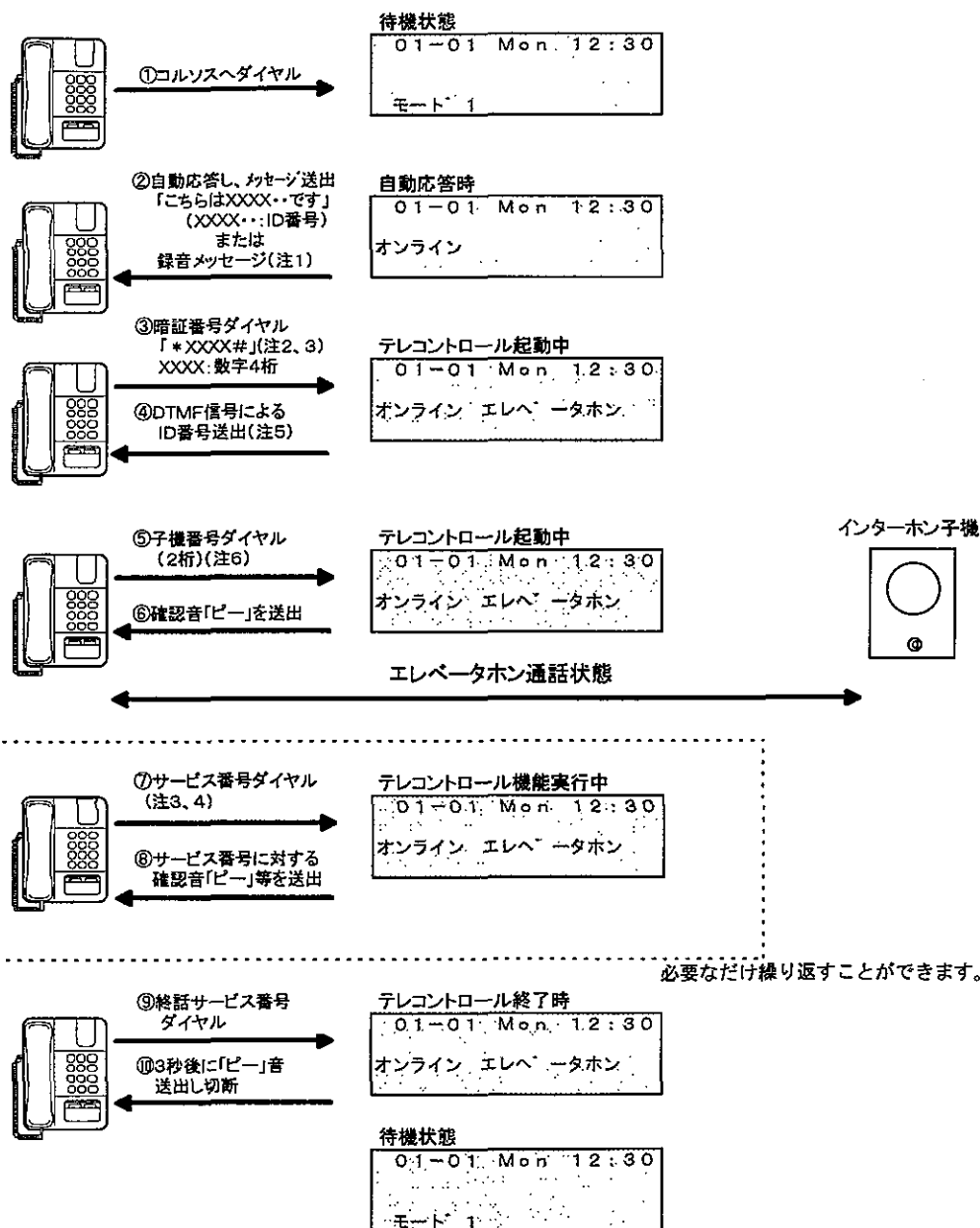
注1. 各通報要因のシステムデータ設定によります。

③出力接点全端子情報収集[＃3199]

[＃3199]の受信により、全ての出力接点を以下の順に送出する

送出順:出力接点01…出力接点16

送出情報	異常モード(注1)	通報内容(注1)	端子データ 種別	端子データ 情報データ	状態(2桁)データ
[＃3199] 出力接点001～016	－	－	91	端子No(3桁)＋状態(2桁)	00:オフ 01:オン 09:実装異常

③エレベータホン制御

注1. 録音メッセージは、[種別(20):自動応答」で設定して下さい。
注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21):暗証番号/項目(09):暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。
注3. 誤った暗証番号やサービス番号を受信すると「ピッピッピ」というエラー音を電話機に送出します。
注4. サービス番号の受信可能な時間は、「種別(22):テレコントロール/項目(01):サービス番号待ちタイマ」で設定して下さい。
注5. ID番号は「種別(01):IDコード/項目(01):ID番号」で設定して下さい。
注6. 子機番号の受信可能な時間は、「種別(22):テレコントロール/項目(02):子機番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。

エレベータホン制御サービス番号

No	機能名称	機能内容	サービス番号
1	自動応答による エレベータホン通話	エレベータ暗証番号受信後のエレベータ子機番号の受信により、エレベータ子機と個別にエレベータホン通話をする	
2	プレストーク送話	エレベータホン通話をプレストーク送話に切り替える	[2]
3	プレストーク受話	エレベータホン通話をプレストーク受話に切り替える	[3]
4	通話延長	エラー音を送出し、エレベータホン通話を延長する	[4] または [#]
5	終話	3秒後に確認音「ピー」を送出し、回線を開放する	[6]
6	一斉受話	全エレベータ子機でプレストーク受話をする	[7]
7	再送要求	1秒後に端末情報を送出する	[8]
8	ハンズフリー通話	3秒後に確認音「ピー」を送出し、エレベータホン通話をハンズフリー通話へ切替える	[9]
9	ハンズフリー 受話レベル調整	ハンズフリー受話レベルを調整し、システムデータ設定値を変更する	[92n] (n：0～7)
10	ハンズフリー 受話感度調整	ハンズフリー受話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	[93n] (n：0～7)
11	ハンズフリー 送話感度調整	ハンズフリー送話感度を調整し、システムデータ設定値を変更する	[94n] (n：0～7)
12	テレコン切替	エレベータホン通話を終了し、テレコン音声制御へ遷移する	[1]

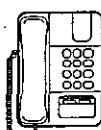
◆オンラインメンテナンス機能(保守機能)

オンラインメンテナンス機能は、電話機(DTMF(PB)信号送出可能であるもの)または専用受信機(センタ装置)から各種のコマンド送出によって、遠隔操作を行う機能です。

また保守端末(保守用FDが動作可能なパソコン)を使用してシステムデータのアップ/ダウンロード等も行えます。

注意:保守機能を実行する場合は、入力及び出力端子が動作していないことを確認してから行って下さい。
動作している場合は、以下のような動作になります。
出力端子(出力接点等)が動作している場合は、保守機能実行時に接点等が待機状態(設定)に戻ります。
入力端子(センサやアナログ)が動作している場合は、保守機能終了時に再通報します。

また、保守機能の実行中は異常通報等ができません。保守機能実行中は、通常の監視機能が作動しませんので必ず保守機能が終了するまで監視先の状態に注意して下さい。特にオンラインメンテナンスは時間がかかる場合がありますので、監視先に人が立ち会うなどして十分注意して下さい。

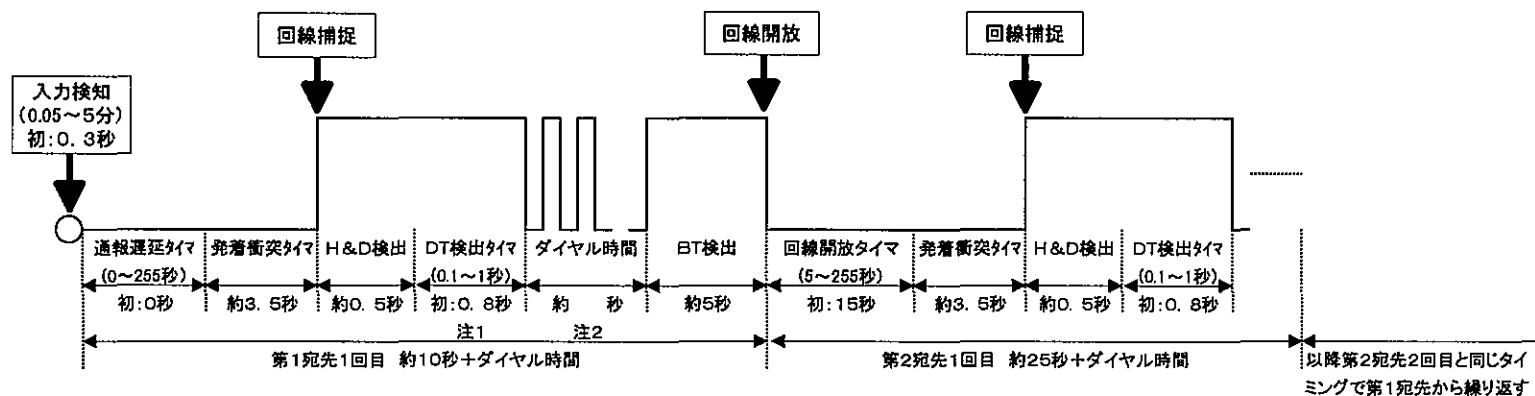
①電話機からのオンラインメンテナンス機能

注1. 録音メッセージは、[種別(20):自動応答」で設定して下さい。
注2. 暗証番号の受信可能な時間は、「種別(21):暗証番号/項目(09):暗証番号受信待ちタイマ」で設定して下さい。
注3. 誤った暗証番号やサービス番号を受信すると「ピッピッピ」というエラー音を電話機に送出します。
注4. コマンドの受信可能な時間は、「種別(23):オンラインメンテナンス/項目(01):コマンド待ちタイマ」で設定して下さい。

オンラインメンテナンスコマンド

No	機能名称	機能内容	コマンド
1	システムデータ設定 アップ/ダウンロード	保守端末を使用し、システムデータをアップ/ダウンロードする	－
2	音声メッセージの制御 録音/再生/消去	本装置の録音メッセージフレーズを制御する 録音の場合：指定されたフレーズが録音済みの場合、エラー音「ピッピッピッ」を送出する 再生の場合：指定されたフレーズが未録音の場合、エラー音「ピッピッピッ」を送出する 消去の場合：指定されたフレーズが未録音の場合、エラー音「ピッピッピッ」を送出する 消去完了後「ピー」を送出する 注意：録音の場合、録音終了コマンド［*］音が５０ｍｓ程度フレーズに録音されます。	録音：［*１１ｘｘ］後２０秒以内に［*］で録音開始、再度［*］で録音終了 再生：［*１２ｘｘ］ ［*］で再生停止 消去：［*１３ｘｘ］ （ｘｘ：フレーズNo.００～６３）
3	ｺﾏﾝﾄﾞ待ちﾀｲﾏﾘｽﾀｰﾄ	コマンド待ちタイマをリスタートする	［*００００］
4	ｵﾝﾗｲﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ終了	オンラインメンテナンスを終了し、回線を開放する	［*９９９９］

ＣＳ・Ｄ９　音声通報タイミングチャート

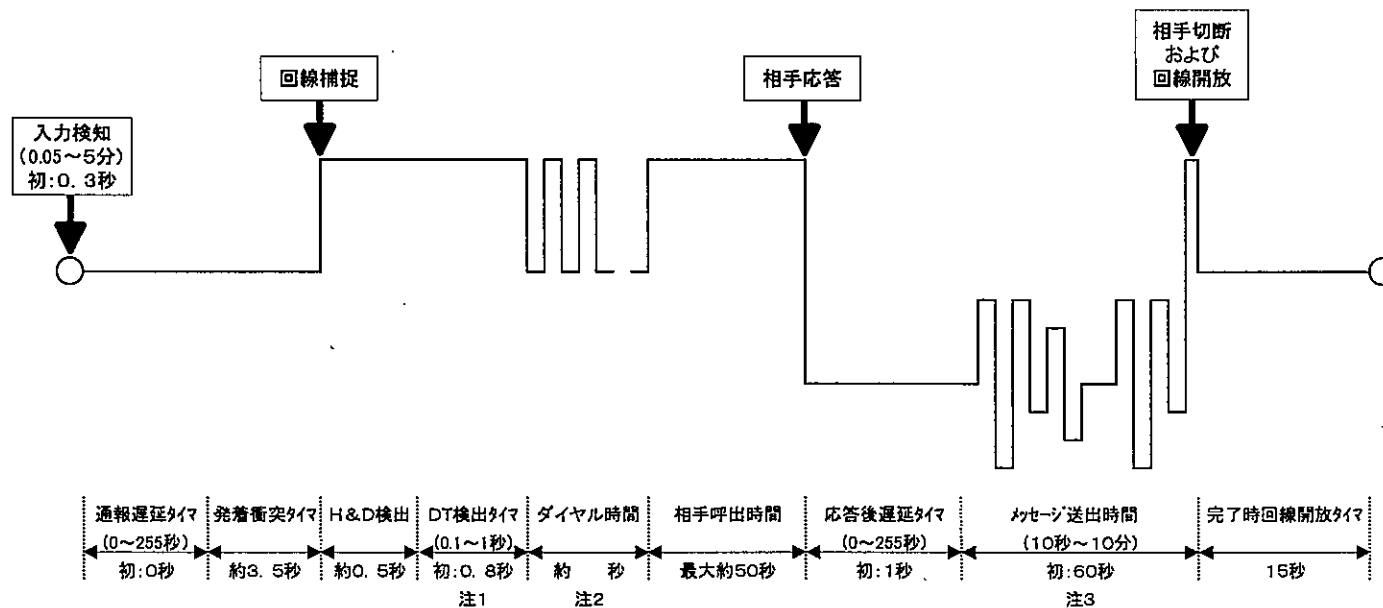
⑤相手話中時の場合(通報先設定:2宛先)

(　　)内はシステムデータで設定可能。「初:XXX秒」はシステムデータ初期値。

注1. DT検出できない場合は、プレポーズタイマ約3.2秒となる。

注2. DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。

ＣＳ・Ｄ９　音声通報タイミングチャート

①正常終了の場合

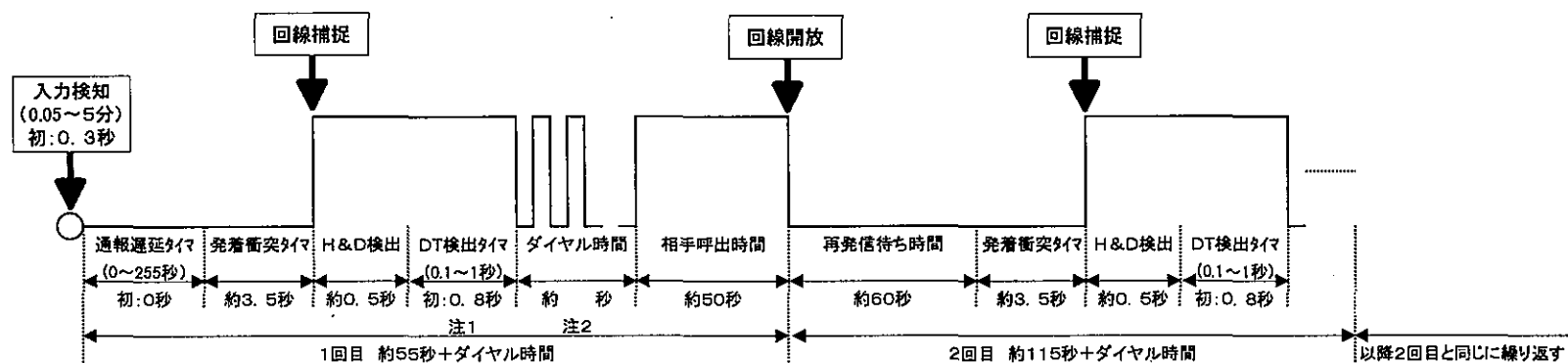
(　　)内はシステムデータで設定可能。「初:XXX秒」はシステムデータ初期値。

注1. DT検出できない場合は、プレポーズタイマ約3．2秒となる。

注2. DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。

注3. メッセージの1フレーズ途中切断は、通信切断となり再通報する。

ＣＳ・Ｄ９　音声通報タイミングチャート

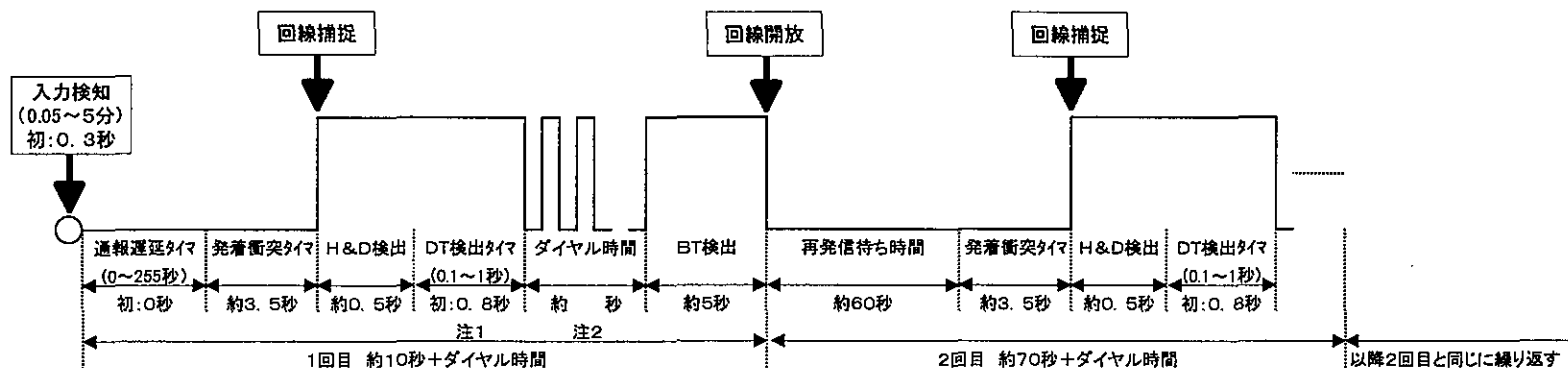
②相手不応答時の場合（通報先設定：1宛先）

（　　）内はシステムデータで設定可能。「初：XXX秒」はシステムデータ初期値。

注1．DT検出できない場合は、プレポーズタイマ約3．2秒となる。

注2．DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。

CS・D9　音声通報タイミングチャート

③相手話中時の場合（通報先設定：1宛先）

（　　）内はシステムデータで設定可能。「初：XXX秒」はシステムデータ初期値。

注1．DT検出できない場合は、プレポーズタイマ約3．2秒となる。

注2．DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。

ＣＳ・Ｄ９　音声通報タイミングチャート

④相手不応答時の場合（通報先設定：2宛先）

（　　）内はシステムデータで設定可能。「初：XXX秒」はシステムデータ初期値。

注1．DT検出できない場合は、プレポーズタイマ約3．2秒となる。

注2．DP、PB、ダイヤル桁数により異なる。